

公益財団法人 日本水泳連盟 飛込委員会資料

2023年12月16日(土): オンライン zoom

< 目 次 >

1. 強化・普及部
競技力向上コーチ委員会
2. 競技部
3. 審判部
4. 総務部
5. 施設用具委員会
6. ブロック

強化部 目次

1	2023年 シニア強化指定選手選出要項	1
2	2024年下期～2025上期 ジュニアナショナル選考基準	2
3	2024年以降のジュニア国際大会派遣方針	4
4	2023年度下期～2024年度上期 強化指定選手一覧	6
5	2023年度下期～2024年度上期強化カレンダー（案）	7
6	2023年度 国際大会派遣成績一覧	8

2023シニア強化指定選手選出要項

1、目 標

2024パリオリンピック及び2028ロスアンゼルスオリンピックにおけるメダル獲得

2、強化期間

2023年10月1日～2024年9月30日

3、選出方法

(1) 2023 日本選手権における個人及びシンクロペアの選考基準達成率（「基準得点の達成率」と「基準難易度の達成率」の平均）の高い順に候補選手を選出。

* 基準得点の達成率は予選・決勝の得点合計の平均、基準難易度の達成率は決勝の難易度合計を採用する。

(2) 選考基準達成率を「5、強化カテゴリー別選出基準」に照らし合わせ強化カテゴリーを決定。

4、選考基準

男子選考基準					
対象大会	内容	3 m 飛板飛込	高飛込	3 m シンクロ	高飛込シンクロ
日本選手権	難易度合計	19.9	20.3	13.4	13.1
	得点合計	425	450	385	380

女子選考基準					
対象大会	内容	3 m 飛板飛込	高飛込	3 m シンクロ	高飛込シンクロ
日本選手権	難易度合計	15.0	15.4	9.0	9.4
	得点合計	305	315	280	290

5、強化カテゴリー別選出基準と強化内容

	強化カテゴリー別選出基準	強化内容
シニア A	「基準得点の達成率」と「基準難易度の達成率」の合計平均が 100% を満たした者及びペア	・国内強化合宿 ・NTC 利用 ・JISS サポート
シニア B	「基準得点の達成率」と「基準難易度の達成率」の合計平均が 95% を満たした者及びペア	・国内強化合宿（※参加費一部負担） ・NTC 利用 ・JISS サポート
シニア C	「基準得点の達成率」と「基準難易度の達成率」の合計平均が 90% を満たした者及びペア	・NTC 利用 ・JISS サポート

NTC=ナショナルトレーニングセンター（日環アリーナ栃木）、 JISS=国立スポーツ科学センター

6、その他、

(1) 下記の実績を踏まえ強化選手の選出及び継続、また強化カテゴリーの昇格を行う場合もある。

(2022 世界選手権、2023 ワールドカップ、2023 世界選手権、2023 アジア大会、2022 日本選手権、2023 翼 JAPAN カップ)

(2) シンクロ競技の強化ペアの選出は、2024 年パリオリンピックまでペアを継続する者に限る。

(3) 強化指定選手及び選考基準は、年度ごとに見直しを図る。

2024年下期～2025年上期 ジュニアナショナル選考基準

Men

区分	対象大会	条件	内容	飛板	高飛	目標・参加対象大会
トップ	日本選手権 室内選手権 国際大会選考会	対象大会8位 以上で右記 基準突破者 及び特別推 薦者	D.D	自由6種目 18.9	自由6種目 19.2	(目標) 世界ジュニア入賞 (参加対象大会) FINAグランプリ 国際オープン大会 等
			スコア	359.10	364.80	
セカンド	日本選手権 室内選手権 国際大会選考会	対象大会12 位以上で右 記基準突破 者及び特別 推薦者	D.D	自由6種目 17.6	自由6種目 18.0	(目標) 世界ジュニア入賞 (参加対象大会) 国際オープン大会 Jr国際オープン大会 等
			スコア	334.40	342.00	
サード	高校2年まで インターハイ 全国夏季JOC	8位以上かつ 対象年齢上 位3名かつ基 準突破者	D.D	自由5種目 14.5	自由5種目 15.0	(目標) 世界ジュニア入賞 (参加対象大会) Jr国際オープン大会 等
			自由	268.25	268.25	
			合計	468.30	428.30	
	Group B	全国中学 全国夏季JOC	D.D	自由4種目 10.6	自由4種目 10.7	
			スコア	395.60	357.55	
	Group C	全国夏季JOC	D.D	自由3種目 6.7	自由3種目 7.9	
スコア			309.60	301.80		
小学生	Group C 全国夏季JOC	8位以上の小 学生上位2名 かつ右記基 準突破者	スコア	295.50	274.20	(目標) ・早期タレント強化 ・タレント発掘 ・基本技術の共有 ・Nジュニアへの連結 ・指導者の育成 ・生活習慣の育成
			Group D 優勝者のみ	スコア	220.00	

2024年下期～2025年上期 ジュニアナショナル選考基準

Women

区分	対象大会	条件	内容	飛板	高飛	目標・参加対象大会
トップ	日本選手権 室内選手権 国際大会選考会	対象大会8位 以上で右記 基準突破者 及び特別推 薦者	D.D	自由5種目 14.0	自由5種目 14.5	(目標) 世界ジュニア入賞 (参加対象大会) FINAグランプリ 国際オープン大会 等
			スコア	266.00	275.50	
セカンド	日本選手権 室内選手権 国際大会選考会	対象大会12 位以上で右 記基準突破 者及び特別 推薦者	D.D	自由5種目 13.4	自由5種目 14.0	(目標) 世界ジュニア入賞 (参加対象大会) 国際オープン大会 Jr国際オープン大会 等
			スコア	254.60	266.00	
サード	高校2年まで インターハイ 全国夏季JOC	8位以上かつ 対象年齢上 位3名かつ基 準突破者	D.D	自由4種目 11.1	自由4種目 11.3	(目標) 世界ジュニア入賞 (参加対象大会) Jr国際オープン大会 等
			自由	195.36	195.36	
			合計	395.36	355.36	
	Group B	全国中学 全国夏季JOC	D.D	自由3種目 8.1	自由3種目 8.4	
			スコア	349.35	315.00	
	Group C	全国中学 全国夏季JOC	D.D	自由2種目 4.4	自由2種目 5.2	
スコア			269.40	254.40		
小学生	Group C	8位以上の小 学生上位2名 かつ右記基 準突破者	スコア	255.50	232.20	(目標) ・早期タレント強化 ・タレント発掘 ・基本技術の共有 ・Nジュニアへの連結 ・指導者の育成 ・生活習慣の育成
	Group D	優勝者のみ	スコア	220.00		

2024年度以降の飛込競技ジュニア国際大会派遣方針

- 1 目的 国際大会を経験することを通して、次世代選手を育成・強化するための派遣とする。代表としての規範を学び、自覚を促すことで日頃からの活動の質を高め強化を促進する。ジュニア選手がより高い強化基準をクリアし、ナショナル強化につながるよう支援する。
- 2 方針 ①チーム編成については、大会ごとに決定する。
②複数の「4.選考大会」の結果で選考を行う。
③ジュニア強化基準(D.D)及び強化ランク上位者を優先する。
④2023年度大会の実績からを参考とし2024年度派遣より適用する。
- 3 派遣計画 2023年3月時点では以下の大会とする。WA 及びアジア競技団体、開催国・主催団体が計画を変更した場合は、それに伴い変更することとする。また、強化に有効と判断される大会が開催される場合は、派遣対象大会を変更・追加することがある。

年度	派遣対象大会 (2029年度以降は今後検討し発表する。)	派遣予定人数	
		選手	コーチ
2024年	World Junior Diving Champion Ships	8名程度	3名程度
2025年	アジアエイジ<実施されない場合は Camo Inter National(Canada)>	8名程度	3名程度
2026年	World Junior Diving Champion Ships	8名程度	3名程度
2027年	アジアエイジ<実施されない場合は Camo Inter National(Canada)>	8名程度	3名程度
2028年	World Junior Diving Champion Ships	8名程度	3名程度
上記大会について開催状況等に変更があった場合、代替大会を計画する。その他、状況をみて検討することとする。			

- 5 基準 (既に公開されている強化基準から対象大会を編集し、条件に※を追記)

ジュニア強化基準 別紙参照

4 選考大会

内容	派遣大会	World Junior Diving Champion Ships	アジアエイジ その他大会
	派遣対象 Group	A B	A B (C)
	選考大会	i 主要大会 ii ジュニア全国大会	

選考基準	i 主要大会:2nd強化基準 達成率上位者より	
	ii ジュニア大会: 3rd強化基準達成率上位者より	
備考	①	Group A:当該年16～18歳 Group B:当該年14～15歳
	②	i 主要大会:翼ジャパンダイビングカップ・日本選手権 ii ジュニア大会:a 全国中学・b IH・c 全国夏季JOC
	③	ジュニア大会は、ii c 全国夏季JOC大会を重視する。

6 選考方法

①選考大会ごとに各Group・各種目上位3名の基準達成率を算出し、複数大会の結果を参考にランキングを作成して選考を行う。

②Group A及びBについては、i 主要大会予選・決勝競技及びii ジュニア全国大会決勝競技結果も参考にして選考を行う。

※②について、前年度の結果(過去2大会)も参考とする。万が一、選考期限までに主要大会が開催されなかった場合は、別途選考大会を指定することがある。

③主要大会の基準点は、i 主要大会:2nd基準、ii ジュニア大会:3rd基準とする。(ジュニア強化基準参照)

④選考にあたっては、ジュニア強化基準(D.D)及び強化ランク上位者を優先(各種目1名)をし、残りについては総合判断で選考する。

7 その他

①中学1年生以上のGroup Cについては、i 主要大会とii c 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会の実績によっては選考対象とすることがある。

②高校1年生でBグループの選手については、Bグループの種目数に換算した上で算出する。

③本派遣方針は、2024年4月から適用することとし、参考とする大会は2023年度日本選手権からとする。

2023年下期～2024年上期 強化指定選手一覧

※強化指定選手は2024年8月27日までとする

強化指定選手	名前	学年	所属1	所属2	担当コーチ	強化指定ランク
強化統括 野村 孝路 ナショナルヘッドコーチ 安田 千万樹 コーチ (13名) 強化指定選手A (11名) 強化指定選手B (3名) 強化指定選手C (5名)	玉井陸斗	高3	JSS宝塚	須磨学園高校	馬淵崇英	A
	須山晴貴		NSP宇都宮	栃木DC	松本行夫	A
	西田玲雄		岡三リビック(株)	大阪水泳学校	徳本奈保美	A
	山田周汰		IK!IK! Diving Club		坂田和也	A
	伊熊扇李	大1	日本体育大学	JSS宝塚	恵 元	A
	三上紗也可	大4	日本体育大学	米子DC	安田千万樹	A
	榎本遼香		栃木トヨタ自動車(株)	栃木DC	松本行夫	A
	板橋美波		JSS宝塚	(公財) 滋賀県スポーツ協会	馬淵崇英	A
	荒井祭里		JSS宝塚		馬淵崇英	A
	金戸凜	大2	日本大学	セントラルスポーツ	金戸恵太	A
	山崎佳蓮	大2	高知工科大学	高知SC	瓶子勇治郎	A
	金戸快		セントラルスポーツ		金戸恵太	B
	荒木宥函		(株) 日本水泳振興会		荒木駿函	B
坂井丞		ミキハウス		坂井弘靖	B	
大久保柗		昭和化学工業(株)	東京SC	毒島泰士	C	
二羽倅駕	高3	小松大谷		樋口まゆみ	C	
馬淵優佳		ミキハウス		松本行夫	C	
乗松飛羽	高3	健康福祉大学高崎高校	群馬DC	野村孝路	C	
近藤花菜	大4	前橋国際大学	群馬DC	野村孝路	C	
Jr強化指定選手	名前	学年	所属1	所属2	担当コーチ	Group
Jrナショナルヘッドコーチ 瓶子 勇治郎 ジュニア担当 徳本奈保美・坂田和也 コーチ(10名) トップ・セカンド (0名) セカンド (1名) サード (12名)	杉本 琉音	高2	小松大谷高校		樋口まゆみ	Group A・セカンド
	池辺 寛人	高2	別府翔青高校	大分DC	茶木 康寛	Group A・サード
	瓶子 礼智	高2	高知SC	佐賀DC	瓶子勇治郎	Group A・サード
	片岡 三亮	高1	ルネ豊田	コンセント	森岡 大成	Group A・サード
	石沢 遥斗	中3	長岡DC		荒木 駿函	Group B・サード
	茶木 琉聖	中1	大分DC		茶木 康寛	Group C・サード
	浜田 悠希	中1	高知SC		瓶子勇治郎	Group C・サード
	古戒 徠人	小6	神辺SPC		重永美希子	Group C・サード
	浜田 晃希	小4	高知SC		瓶子勇治郎	Group D・サード
	坂田 丹寧	高2	常総学院	IK!IK! Diving Club	坂田 由貴	Group A・サード
	嶋崎 菜乃	高2	土佐塾高等学校	高知SC	瓶子勇治郎	Group A・サード
	千葉 優奈	中1	郡山DC		西川 友章	Group C・サード
	井上 優奈	中1	高知SC		瓶子勇治郎	Group C・サード

2023年			2023年			2024年			2024年			2024年					
月	日	曜	月	日	曜	月	日	曜	月	日	曜	月	日	曜	月	日	曜
10	1	日	1	水	木	12	1	金	1	月	2	木	3	1	金		
	2	月	2	木	金		2	土		2	火	3	金		2	土	
	3	火	3	金	土		3	日		3	水	4	土		3	日	
	4	水	4	土	日		4	月		4	木	5	日		4	月	
	5	木	5	日	月		5	火		5	金	6	月		5	火	
	6	金	6	月	火		6	水		6	土	7	火		6	水	
	7	土	7	火	水		7	木		7	日	8	水		7	木	
	8	日	8	水	木		8	金		8	月	9	木		8	金	
	9	月	9	木	金		9	土		9	火	10	土		9	日	
	10	火	10	金	日		10	月		10	水	11	日		10	月	
	11	水	11	土	月		11	火		11	木	12	月		11	火	
	12	木	12	日	火		12	水		12	金	13	火		12	水	
	13	金	13	月	木		13	土		13	日	14	水		13	木	
	14	土	14	火	金		14	月		14	火	15	木		14	金	
	15	日	15	水	土		15	火		15	日	16	金		15	土	
	16	月	16	木	日		16	月		16	土	17	月		16	日	
	17	火	17	金	月		17	火		17	日	18	火		17	月	
	18	水	18	土	火		18	水		18	月	19	水		18	火	
	19	木	19	日	水		19	木		19	火	20	木		19	水	
	20	金	20	月	木		20	金		20	土	21	日		20	木	
	21	土	21	火	金		21	月		21	日	22	月		21	金	
	22	日	22	水	土		22	火		22	火	23	水		22	土	
	23	月	23	木	日		23	水		23	木	24	木		23	日	
	24	火	24	金	月		24	土		24	金	25	日		24	月	
	25	水	25	土	火		25	日		25	月	26	火		25	火	
	26	木	26	日	水		26	月		26	火	27	水		26	水	
	27	金	27	月	木		27	火		27	木	28	木		27	木	
	28	土	28	火	金		28	日		28	金	29	日		28	金	
	29	日	29	水	土		29	月		29	土	30	月		29	土	
	30	月	30	木	日		30	火		30	日	31	火		30	日	
	31	火	31	金	月		31	水		31	月		31	日		31	火

2024年			2024年			2024年			2024年			2024年					
月	日	曜	月	日	曜	月	日	曜	月	日	曜	月	日	曜	月	日	曜
4	1	月	5	1	水	6	1	土	7	1	月	8	1	木	9	1	日
	2	火	2	木	2	2	日	2	2	火	2	2	金	2	2	月	
	3	水	3	金	3	3	月	3	3	水	3	3	土	3	3	火	
	4	木	4	土	4	4	火	4	4	木	4	4	日	4	4	水	
	5	金	5	日	5	5	水	5	5	金	5	5	月	5	5	木	
	6	土	6	月	6	6	木	6	6	土	6	6	火	6	6	金	
	7	日	7	火	7	7	金	7	7	日	7	7	水	7	7	土	
	8	月	8	水	8	8	土	8	8	月	8	8	木	8	8	日	
	9	火	9	木	9	9	日	9	9	火	9	9	金	9	9	月	
	10	水	10	金	10	10	月	10	10	水	10	10	土	10	10	火	
	11	木	11	土	11	11	火	11	11	木	11	11	日	11	11	水	
	12	金	12	日	12	12	水	12	12	金	12	12	月	12	12	木	
	13	土	13	月	13	13	木	13	13	土	13	13	火	13	13	金	
	14	日	14	火	14	14	金	14	14	日	14	14	水	14	14	土	
	15	月	15	水	15	15	土	15	15	月	15	15	木	15	15	日	
	16	火	16	木	16	16	日	16	16	火	16	16	金	16	16	月	
	17	水	17	金	17	17	月	17	17	水	17	17	土	17	17	火	
	18	木	18	土	18	18	火	18	18	木	18	18	日	18	18	水	
	19	金	19	日	19	19	水	19	19	金	19	19	月	19	19	木	
	20	土	20	月	20	20	木	20	20	土	20	20	火	20	20	金	
	21	日	21	火	21	21	金	21	21	日	21	21	水	21	21	土	
	22	月	22	水	22	22	土	22	22	月	22	22	木	22	22	日	
	23	火	23	木	23	23	日	23	23	火	23	23	金	23	23	月	
	24	水	24	金	24	24	月	24	24	水	24	24	土	24	24	火	
	25	木	25	土	25	25	火	25	25	木	25	25	日	25	25	水	
	26	金	26	日	26	26	水	26	26	金	26	26	月	26	26	木	
	27	土	27	月	27	27	木	27	27	土	27	27	火	27	27	金	
	28	日	28	火	28	28	金	28	28	日	28	28	水	28	28	土	
	29	月	29	水	29	29	土	29	29	月	29	29	木	29	29	日	
	30	火	30	木	30	30	日	30	30	火	30	30	金	30	30	月	
			31	金		31	月	31	31	水		31	土		31	日	

2023 年度 国際大会派遣成績一覧

1.AQUA ワールドカップ 第1戦報告 中国・西安

大会期間 2023年4月14日(金)～16日(日)

役職	氏名	所属1				
コーチ	馬淵 崇英	JSS宝塚				
トレーナー	桐山 大輔	からだりカバリールーム				
種目	氏名	所属1	予選	得点	決勝	得点
高飛込	玉井 陸斗	JSS宝塚 須磨学園高等学校(2年)	4位	443.70	3位	433.80
3m飛板飛込	三上 紗也可	日本体育大学(4年) 米子DC	3位	322.25	3位	302.30

2.AQUA ワールドカップ 第2戦 カナダ・モントリオール

大会期間 2023年5月5日(金)～7日(日)

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	決勝順位	得点	総合ランキング			
							第1戦	第2戦	合計p	ランキング
男子3m飛板飛込	須山晴貴	22	9	384.05	10	396.20		24p	24p	17位
女子3m飛板飛込	三上紗也可	23	8	302.30	5	322.10	40p	29p	69p	3位
	榎本遼香	23	12	279.15	10	291.45		24p	24p	17位
男子高飛込	玉井陸斗	17	1	519.85	2	513.45	40p	45p	85p	2位
	大久保柊	17	13	379.60				21p	21p	17位
女子高飛込シンクロ	板橋・荒井	7			6	285.18		8p	8p	6位
男子3m飛板飛込シンクロ	須山・荒木	10			3	410.07		20p	20p	4位

【第3戦 FINAL進出条件】 個人種目＝総合ランキング18位以内 シンクロ種目＝総合ランキング8位以内

3.AQUA ワールドカップ第3戦 ドイツ・ベルリン

大会期間 2023年8月4日(金)～6日(日)

女子 3m 飛板飛込 三上紗也可 第2位 342,60

男子 3m 飛板飛込 須山晴貴 第16位 321.10

男子 3m シンクロ 須山晴貴/荒木育図 第7位 351.03

4.世界選手権 福岡・アクション

大会期間 2023年7月14日(金)～30日(日)

種目	氏名	予選	得点	準決勝	得点	決勝	得点
1m飛板飛込	玉井陸斗	31/67	298.60				
3m飛板飛込	須山晴貴	24/31	365.60				
高飛込	玉井陸斗	12/40	298.60	7	427.70	WD	
	大久保柊	29/40	336.65				
3m飛板飛込	三上紗也可	2/50	316.05	3	340.55	7	305.25
	榎本遼香	34/50	232.80				
高飛込	荒井祭里	7/36	314.10	7	313.95	11	288.85
シンクロ飛板飛込	須山晴貴	8/27	359.04			7	375.9
	荒木有凶						
シンクロ高飛込	板橋美波	6/12	289.32			5	284.75
	荒井祭里						
MIXシンクロ高飛込	板橋美波					3/14	305.34
	伊藤光輝						
HIGH DIVING	荒田恭兵					20/23	222.65

5.ユニバーシティゲームズ 中国・成都

大会期間 7月31日(月)～8月7日(月)

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
女子1m飛板飛込	近藤 花菜	23	6	231.05	3	227.95	6	224.10
女子3m飛板飛込	近藤花菜	22	15	219.90	11	240.9	7	243.30
男子3m飛板飛込	金戸 快	20	10	339.10	15	307.65		
	山田 周汰	20	14	312.70	14	309.3		
女子高飛込	近藤 花菜	12	5	243.35	3	285.3	10	202.85
	山崎 佳蓮	12	3	261.30	8	208.15	5	250.25
男子1m飛板飛込	金戸 快	20	9	329.60	3	344.75	5	349.50
	山田 周汰	20	17	265.10				
男子高飛込	金戸快	13	9	321.25	7	330.6	5	405.30
	西田 玲雄	13	7	368.60	5	372.8	7	348.00
MIX3m飛板シンクロ決勝	山田 周汰						3	254.40
	近藤 花菜							
男子高飛シンクロ決勝	山田 周汰						3	380.76
	西田玲雄							
MIX高飛シンクロ決勝	山崎佳蓮						2	310.44
	西田玲雄							
男子3mシンクロ決勝	西田玲雄						5	324.6
	山田周汰							
チームイベント	西田玲雄						2	342.15
	山崎佳蓮							
国別男子団体総合							3	

6.アジア競技大会 中国・杭州 ※パリオリンピッククウォリファイに変更
 大会期間 2023年9月30日(土)～10月4日(水)

2023 杭州アジア大会成績一覧

種目名	出場者名	参加人数	予選順位	得点	決勝順位	得点
男子高飛込	玉井陸斗	18	3	438.20	3	480.50
女子3m飛板飛込	三上紗也可	10	4	301.05	3	304.00
	榎本遼香	10	5	277.55	5	270.35
女子1m飛板飛込	榎本遼香	12	/	/	5	247.30
女子高飛込	荒井祭里	12	3	290.90	4	279.50
男子3m飛板飛込	荒木宥囃	18	9	322.65	7	369.95
	須山晴貴	18	棄権	/	/	/
女子高飛込シンクロ	荒井/板橋美波	5	/	/	2	290.04
男子3mシンクロ	須山/荒木	6	/	/	4	368.31

7.2024 ドーハ世界選手権 カタール・ドーハ 後日
 大会期間 2024年2月2日(金)～10日(土)

8.2023 アジアエージ フィリピン・ニュークラークシティー 後日
 大会期間 2024年2月26日(月)～3月1日(金)

普及部資料

- 1 ニチレイ飛込検定制度について . . . 2～14
- 2 飛込技術検定報告について . . . 15
- 3 令和5年度飛込競技者登録数及び飛込教室について
. . . 16～18
- 4 補足資料について . . . 19・20

飛込検定制度

Nichirei Challenge Diving Badge Test

飛込検定実施の手引き（抜粋）

公益財団法人 日本水泳連盟

令和3年9月版

I. 飛込検定実施マニュアル

1. 飛込検定の目的

飛込検定の目的は、飛込の普及および競技の特性と楽しさを体験を通して知っていただき、選手としての競技活動を目指す一助とすることです。マイナー競技としてのイメージ、危険性や特殊性により、距離をおいてしまうスポーツではなく、安全で通常経験の出来ない「高さ」や「水深の深さ」、身体だけで「表現」する素晴らしさを伝えたいと思います。やってみたいが難しいのではと考える方も多いためです。また、練習環境がないために、どこで活動しているのか分からない方もいると思います。

本連盟では、飛込を通して水泳のより一層の安全性向上と普及のために「全国統一の飛込の力量（技能）を測る基準」が必要と考え、発足させたのが「(公財)日本水泳連盟飛込検定制度」です。

2. 飛込検定

①基礎から応用まで、飛込技術を段階的に判定できる級設定

飛込検定は、15～1級に分かれており、15級から基本を身につけ、段階的な技術の習得を目指し目標設定をしています。1級まで合格すると、大会出場に必要な種目構成が身につけ、選手として活動することも出来ます。

②生涯スポーツとしての楽しみを体験できる級設定

様々な基本技術から、宙返りや捻り種目など、挑戦意欲をかき立てる内容であり、生涯スポーツとして幅広い年齢層の方々にも、安全を第一に取り組める環境と指導者を検定者としています。

3. 飛込検定の実施

初めて飛込検定を実施する場合、参加者の有無が心配ですが、ポスターや「認定証見本」「検定基準」を提示することと、指導者による適切な説明と誘いがあれば充分です。検定会も特別に競技会形式のものを計画する必要はなく、練習会や飛込教室と兼ねて行えば特別に「検定会」として新たに大会を構える必要はありません。なお、飛込検定への参加に(公財)日本水泳連盟の選手登録等は必要ありません。

4. 飛込検定の企画と準備

①飛込検定会実施の公表

受検者のほとんどは、所属する学校・スイミングクラブ・サークル以外からの参加者であり、飛込検定会を実施する団体または検定者は、検定開催日2週間前までには、対象者へ「検定日」「検定会場」「検定方法」等、検定内容を公表し、広く検定受検者を公募します。それにより、地域との交流にも大いに役立ちます。

②飛込検定受検者の負担する費用

飛込検定受検者の負担する費用は、検定料+認定証・バッジ代=受検料で構成されます。受検者からの申し込みを受け付ける際、「検定申込書」と同時に、受検料を受け取り、検定主催者が収納します。ただし、検定料は一般的なものであり、会場使用料等の諸費用が必要な場合、必要最小限の範囲で諸費用を追加して徴収することが出来ます。

飛込検定では、事前に全受検者の認定証およびバッジ（15～1級）を製作するため、検定結果の合否に関わらず、受検者への認定証・バッジ代の返金は行いません。

③飛込検定会の実施要項

検定会を行う場合の必要条件是、(公財)日本水泳連盟飛込有資格者(コーチ)または(公財)日本水泳連盟飛込審判有資格者1名を含む検定者であることです。検定者は通常の講習会や競技会を行う場合と同様、必要に応じて補助役員を動員し、受検者への「安全」「健康」「保険加入(殆どの施設が賠償責任保険に加入していると思いますが、不加入の場合は加入する)」等を確認の上、必要用品を整えることが必要です。

④飛込判定合否基準

別に定める「飛込検定基準」を満たしていることが必要です。但し、身体不自由者の場合は受検者の状態に応じた技術判定が認められています。検定受検者の年齢区分はありません。飛込検定を実施するに当たり最も重要なことは、「厳正かつ公平の原則を厳守する」ことにあります。

⑤合格者氏名の公表

合格者氏名は「月刊水泳」(一部)、「(公財)日本水泳連盟ホームページ

(<https://swim.or.jp>)」、「スイミングマガジン」(一部)に掲載されます。掲載には、毎月末までに本連盟に到着した分を翌20日迄に編集し、各所に原稿を送付し掲載して頂いています。その関係上、報告書発送即掲載とはならないことをご承知おきください。また、旧字体などPCで変換できない文字は新字体表示とさせていただきます。(例)高(旧字体)→高(新字体)

5. 認定証およびバッジの交付

飛込検定では、検定実施終了後、合格者に対して、認定書と認定バッジを授与します。所定の払込取扱票(郵便局)にて下記宛に送金してください。

なお、振込金額は検定参加者数ではなく、合否にかかわらず検定実施数となります。

例) 検定参加者数：8名、検定実施数：10件(1級2名、2級5名、3級3名)
 実施数内訳：1級2名、2級3名、2級と3級を複数受検2名、3級1名
 上記の場合の払込金額は、検定実施数10件×1,000円となり、
 合計払込金額は、10,000円となります。

<送金先>

口座番号(東京) 00130-1-5178
 加入者名 (公財)日本水泳連盟

(注) 払込人となる検定者の住所は、認定証等の送付希望先の住所となりますので楷書体にて明確に記入し、所属する都道府県水泳連盟(協会)名とコーチ・飛込審判資格登録番号および有効期限を必ず記入してください。

払込取扱票(記入例)

00 東京		払込取扱票	
口座記号		口座番号(右詰めで記入)	
00130	1	5178	
金額		金額	
¥10000		¥10000	
加入者名		料	
公益財団法人日本水泳連盟		備考	
*【飛込検定】▼下記の通り代金を添えて申し込み致します。(消費税含む)			
検定実施数	10	件 × 1,000円 =	合計金額 10,000 円
《検定実施日》 2021年8月14日		コーチ・飛込審判資格	登録番号 0046231
所属都道府県水泳連盟(協会) 東京都		有効期限	2022年9月
〒160-0013		日	
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号		附	
日の丸ダイビングクラブ		印	
日本太郎 様			
(ご連絡先電話番号) 03-6812-9061			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) 此れより下部には何も記入しないでください。			

振替払込請求書兼受領証	
口座記号番号	00130-1
金額	5178
加入者名	公益財団法人日本水泳連盟
金額	¥10000
おなまえ	東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 日の丸ダイビングクラブ
依頼人	日本太郎 様
(消費税込み)	日 附 印
料金	円
備考	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
 切り取らないでお出しください。

この受領証は、大切に保管してください。

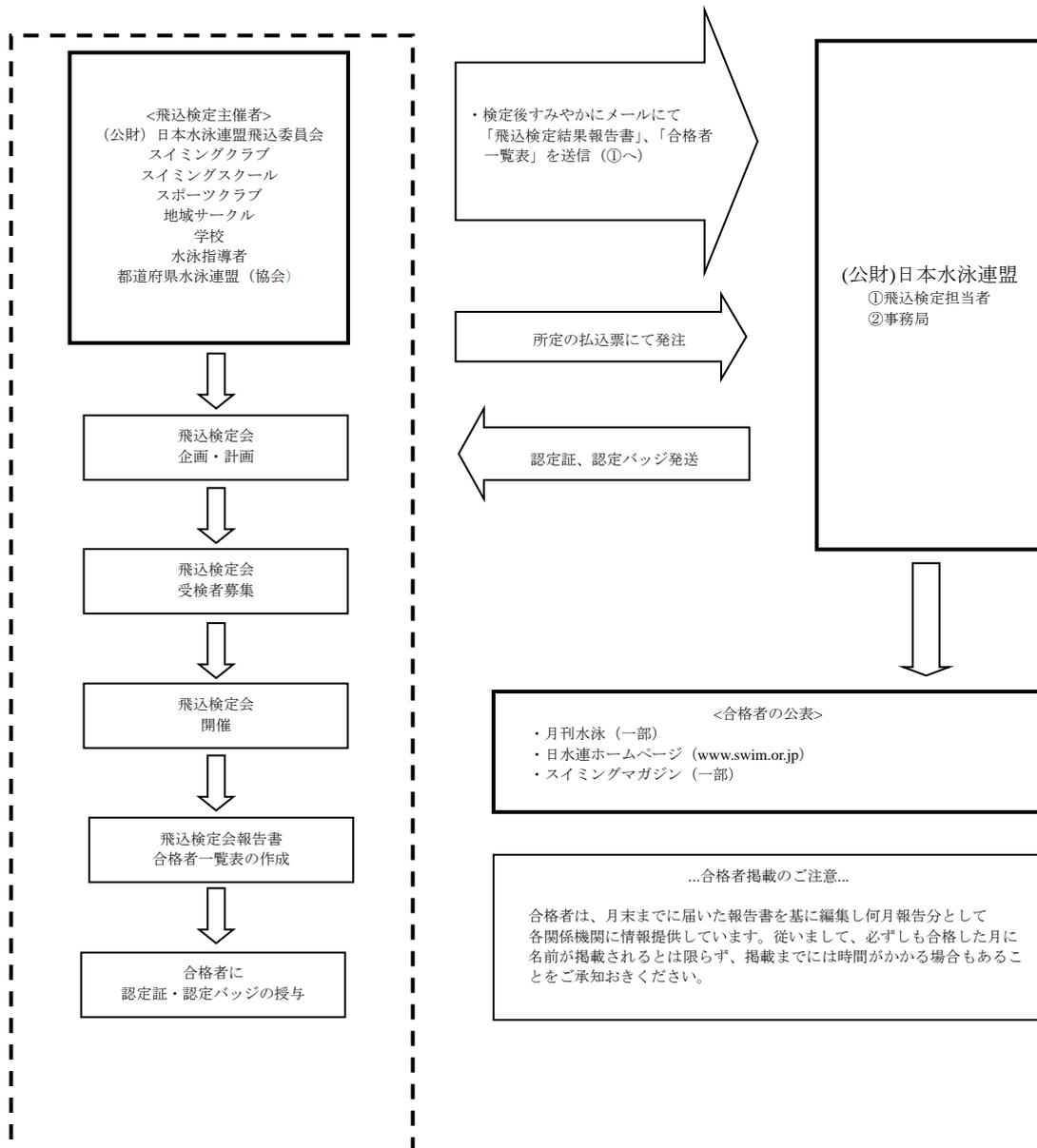
6. 飛込検定会の結果報告

飛込検定会の実施後、すみやかに日本水泳連盟飛込検定担当宛に、「飛込検定会結果報告書」(様式-1) 及び「合格書一覧表」(様式-2) を提出してください。「飛込検定会結果報告書」及び「合格者一覧表」は、「(公財) 日本水泳連盟ホームページ (<https://swim.or.jp>)」よりダウンロードし、記入後メール添付送信での提出を原則とします。

飛込検定会 結果報告用アドレス	jasf-diving-cert@googlegroups.com
--------------------	---

※なお、手書きによる記入は不可とします。

II. 飛込検定制度の流れ



飛込検定基準表

公 認 飛 込 進 級 テ ス ト					
<目標>					
15級	前棒飛AとC/Bのいずれかができる	6級	後飛A/B/Cのいずれかができる		
14級	後棒飛AとC/Bのいずれかができる	5級	前逆飛A/B/Cのいずれかができる		
13級	助走の棒飛A/B/Cのいずれかができる	4級	前宙返りC/B1回または後宙返り1回		
12級	前もしくは後棒飛1/2回以上捻りができる		A/Cのいずれかができる		
11級	前入水A/座りC/Bのいずれかができる	3級	前逆宙返り1回Cまたは後踏切前宙返り		
10級	後入水A/座りC/ジャンプAのいずれかができる		1回Cができる		
9級	前飛A/B/Cのいずれかができる	2級	前宙返り1回半Cができる		
8級	助走から前飛A/B/Cのいずれかができる	1級	前宙返り1回1回捻り/後宙返り1回半回		
7級	後踏切前飛A/B/Cのいずれかができる		捻りのいずれかの捻りができる		
(A 伸び型 B えび型 C かかえ型 D 自由型)					
級	得点	練習の目標	級	得点	練習の目標
15級	A	前 棒 飛	8級		助走から前飛(101)
	C/B		7級		後踏切前飛(401)
14級	A	後 棒 飛	6級		後 飛 (2 0 1)
	C/B		5級		前 逆 飛 (3 0 1)
13級	1m	助 走 の 棒 飛	4級		102C/Bか202C/A
12級	1/2回以上	捻 り 棒 飛	3級		302Cか402C
11級		前 入 水	2級		1 0 3 C
10級		後 入 水	1級		5122Dか5221D
9級		前 飛 (1 0 1)			
ふりがな		男	生年月日		
氏名		女	西暦 年 月 日 ()		

飛込検定会実施要項 (1/2)

- 1.主 催
- 2.検 定 者 (公財) 日本水泳連盟飛込有資格者 (コーチ) または
(公財) 日本水泳連盟飛込審判有資格者
- 3.期 日 年 月 日 () 検定開始時刻 時 分
- 4.会 場
- 5.参加資格
- 6.申込制限 検定は1人1つの級までを原則とするが、技術に応じて複数級の検定も認める。
- 7.検定方法 飛込検定会における合否の判定基準は、別に定める飛込検定基準で求められた技術を実施できることとする。
なお、技術は(公財)日本水泳連盟飛込競技規則に違反しない技術であること。ただし、身体不自由者の場合は、受検者の状態に応じた技術判定をしてもよい。
- 8.申込方法 申込書・誓約書に記入の上(年齢は検定会当日の満年齢)、受検料を添えてお申込みください。
- 9.受検料 1回につき 1,000円(検定料および認定証・認定バッジ)
※複数級を受検する場合、それぞれの級に対して1,000円がかかる。
- 10.キャンセル 年 月 日()迄の場合は無料で受理します。
年 月 日()以降は受検料を負担頂きます。
- 11.申込締切日 令和 年 月 日()
- 12.そ の 他 本検定で取得した個人情報は、個人情報保護法に基づき適正に管理し検定会のプログラム及び合格者公表等の資料として活用されます。

飛込検定会実施要項 (2/2)

飛込検定申込書

フリガナ		男・女	申込年月日			年	月	日
氏名			生年月日	S・H・R		歳		
				年	月			日生
住所				TEL				
緊急連絡先 (家族等の氏名)				(TEL)				
申込をする級に○ をつけてください。	1級	検定料 1,000 円	6級	検定料 1,000 円	11級	検定料 1,000 円		
	2級	検定料 1,000 円	7級	検定料 1,000 円	12級	検定料 1,000 円		
	3級	検定料 1,000 円	8級	検定料 1,000 円	13級	検定料 1,000 円		
	4級	検定料 1,000 円	9級	検定料 1,000 円	14級	検定料 1,000 円		
	5級	検定料 1,000 円	10級	検定料 1,000 円	15級	検定料 1,000 円		
合 計	× 1,000 円							

誓約書

私は、個人情報の活用を承諾し飛込検定会の申込をいたします。
 検定会には自己責任において健康管理を行い万全の体調で参加すること、検定結果（合否）について異議申し立てを一切行わないことを誓約いたします。

申込者氏名

㊞

保護者氏名

㊞

(18歳未満の場合、保護者の承認が必要です。)

飛込検定結果報告書・合格者一覧表の提出方法について

飛込検定結果報告書・合格者一覧表については、その報告書のデータを基に認定証・認定バッジの作成、および日本水泳連盟ホームページや月刊水泳（一部）、スイミングマガジン（一部）に合格者名簿を掲載しております。

つきましては、定型の報告書フォーマットをダウンロードの上、（公財）日本水泳連盟飛込検定担当にメールにて送付いただくようお願いいたします。

記

1. 定型の報告書のフォームのダウンロード先
公益財団法人日本水泳連盟ホームページ (<https://swim.or.jp>)
2. メール送付先
公益財団法人日本水泳連盟飛込検定担当 (jasf-diving-cert@googlegroups.com)
3. メール宛先の誤送信には責任を負いかねます。十分ご注意ください

以上

○この用紙のフォームは日本水泳連盟ホームページ(<https://swim.or.jp>)からダウンロードできます。

記入例 (様式-1)

飛込検定 結果報告書

報告日 (西暦) 2021年8月17日
 開催団体名 日の丸ダイビングクラブ
 報告者 畑岡 飛 ㊞
 TEL 03-3481-2306
 E-Mail mail@nippon.com

○開催日 (西暦) 2021年8月14日 (金)

○会場 名称 日の丸スイミングアリーナ
 プール ダイビングプール
〒160-0013 (住所は都道府県から記入)
 住所 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

○検定者 刀がナ ニホン タウ
 (責任者) 氏名 日本 太郎 ㊞

○級数 参加状況

小学生		中学生		高校生		一般		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1名	0名	0名	1名	1名	1名	2名	2名	4名	4名

受検・合否状況 受検者数 10名 (合格者 7名・不合格者 3名)

1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
2名	5名	3名	名	名	名	名	名
9級	10級	11級	12級	13級	14級	15級	
名	名	名	名	名	名	名	

○合格者一覧表のページ数 (飛込検定結果報告書は含めない) 1 枚

○この用紙のフォームは日本水泳連盟ホームページ(<https://swim.or.jp>)からダウンロードできます。

記入例 (様式-2)

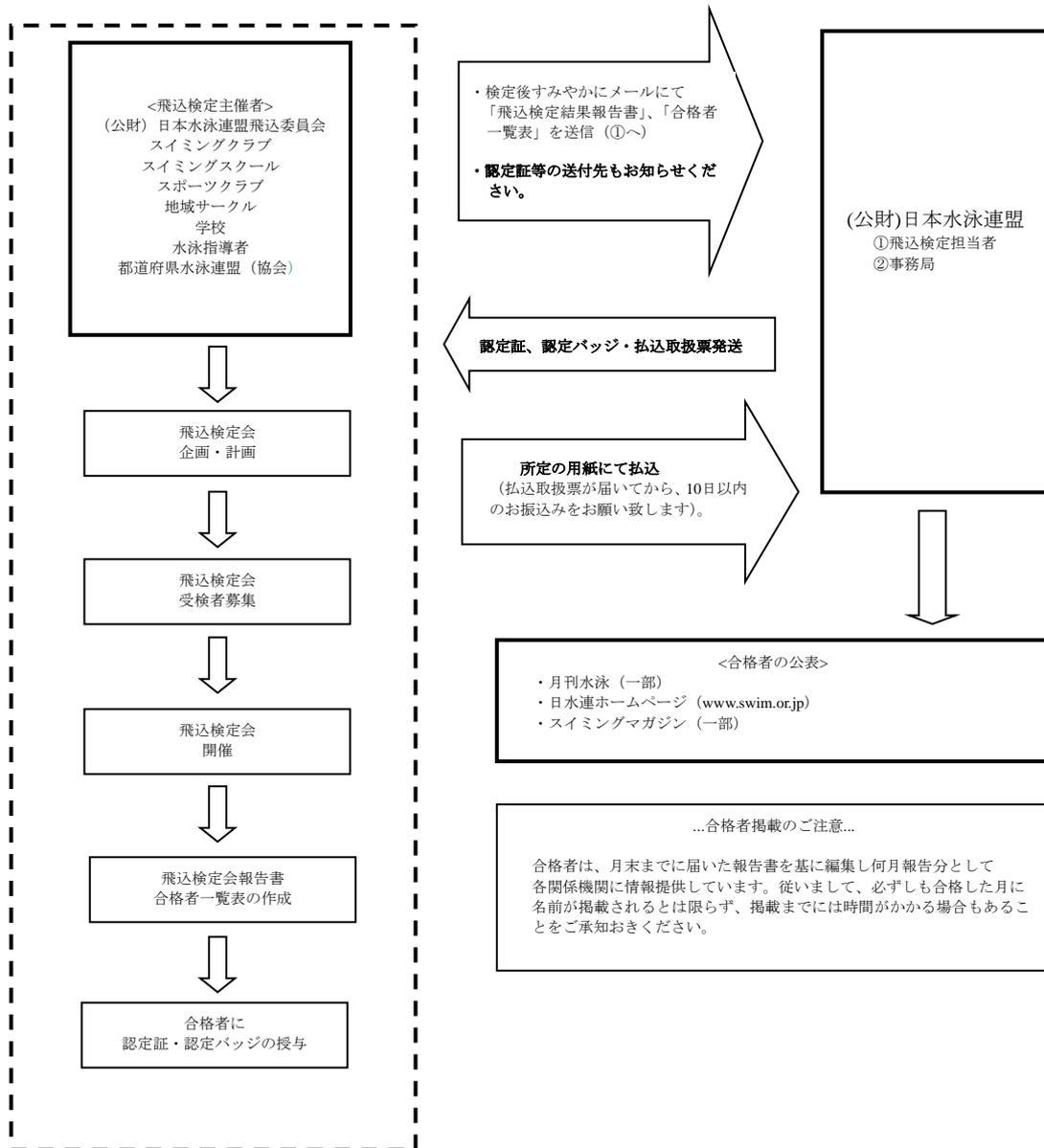
合 格 者 一 覧 表

実施日 2021年 8月14日 開催団体名 日の丸ダイビングクラブ

- ・級は1級から順番に記入してください。 ・級が変わる場合は1行開けてください。
- ・No.は級ごとに1番から入れてください。 ・書体はゴシック体または明朝体をご使用ください。
- ・氏名はJ I S第2水準までとし、苗字と名前には空欄を入れずに記入してください。
- ・フリガナはカタカナ全角にて記入してください。 ・年齢は検定会当日の満年齢です。
- ・性別は男または女で記入してください。
- ・内容は日本水泳連盟にメールにて送信してください。メール宛先の誤送信には責任を負いかねます。十分ご注意ください

級	No.	氏 名	フリガナ	性別	年齢
1	1	日本 一朗	ニホン イチロウ	男	10
1	2	新宿 次郎	シンジユク ジロウ	男	59
2	1	佐藤 三郎	サトウ サプロウ	男	20
2	2	日本 正子	ニホン マサコ	女	20
3	1	佐藤 三郎	サトウ サプロウ	男	20
3	2	渡辺 花子	ワタナベ ハナコ	女	21
3	3	日本 正子	ニホン マサコ	女	20

ニチレイ飛込検定の流れ（現在の対応）



ニチレイ飛込検定の流れにおいて、現在の対応として一部変更をしております。検定終了後、所定の様式において結果を報告していただきます。確認後、認定証及びバッジと振込票を送付させていただきますので、届き次第振込みをお願い致します。なお、認定証等の送付先も合わせてご連絡をお願い致します。

ニチレイ飛込技術検定会結果報告書

2022年12月20日～2023年12月16日現在

参加状況	小学生		中学生		高校生		一般		合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
	42名	62名	6名	6名	3名	2名	105名	52名	156名	122名

受検・合否状況

1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
4	9	4	8	6	9	10	11
9級	10級	11級	12級	13級	14級	15級	
19	23	32	29	28	43	63	

開催県・施設

神奈川県	相模原市立総合水泳場 横浜国際プール
三重県	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
石川県	金沢プール
大阪府	Asue大阪プール
群馬県	閑水電業敷島プール
岐阜県	長良川スイミングプラザ
東京都	東京辰巳国際水泳場
新潟県	ダイエープロビスフェニックスプール
茨城県	山新スイミングアリーナ

令和5年度 飛込競技登録者数一覧

ブロック	競技者登録数											未登録者数										総数						
	番号	都道府県名	小学生		中学生		高校生		一般		合計		合計	小学生		中学生		高校生		一般		合計		合計	男	女	合計	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
北海道	01	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	
東北	02	青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	03	岩手	0	3	1	0	1	2	0	0	2	5	7	3	4	0	0	0	0	0	3	4	7	5	9	14		
	04	宮城	2	1	0	0	0	1	1	0	3	2	5	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3	3	6		
	05	秋田	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	3	2	1	0	0	0	5	4	9	5	5	10		
	06	山形	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	5		
	07	福島	0	1	3	5	1	2	1	1	5	9	14	4	3	1	1	0	0	0	5	4	9	10	13	23		
	関東	08	茨城	0	4	0	1	5	3	1	0	6	8	14	1	5	0	0	0	3	3	4	8	12	10	16	26	
09		栃木	0	4	0	3	1	4	1	3	2	14	16	2	0	0	1	0	0	0	2	1	3	4	15	19		
10		群馬	1	2	0	2	0	2	0	2	1	8	9	3	3	0	0	0	7	2	10	5	15	11	13	24		
11		埼玉	0	3	2	2	0	0	0	0	1	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	7		
12		千葉	1	3	1	2	0	0	0	0	2	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	7		
13		東京	3	11	3	6	0	1	3	2	9	20	29	0	0	0	0	0	9	3	9	3	12	18	23	41		
14		神奈川	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	1	3		
15		山梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
北信越	16	長野	0	2	2	0	0	0	1	0	3	2	5	1	3	1	0	0	3	1	5	4	9	8	6	14		
	17	新潟	2	3	4	5	1	0	1	0	8	8	16	15	15	0	0	0	0	0	15	15	30	23	23	46		
	18	富山	0	2	0	1	2	1	0	0	2	4	6	1	1	0	0	0	1	0	2	1	3	4	5	9		
	19	石川	2	9	1	3	3	2	1	0	7	14	21	3	3	0	0	0	1	0	4	3	7	11	17	28		
	20	福井	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	1	0	0	0	1	1	2	2	3	5		
東海	21	静岡	3	7	0	0	0	2	2	0	5	9	14	0	3	0	0	1	0	5	6	6	9	15	11	26		
	22	愛知	0	0	0	0	3	1	0	1	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5		
	23	三重	3	7	0	2	2	2	1	0	6	11	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	11	17		
	24	岐阜	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4	1	4	1	5	6	1	7		
近畿	25	滋賀	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	3	0	1	3	0	1	0	1	0	5	1	6	6	2	8	
	26	京都	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2	3	3	1	0	0	0	0	0	3	1	4	4	3	7		
	27	大阪	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	2	3	2	2	4	
	28	兵庫	0	4	0	1	1	0	0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6		
	29	奈良	0	0	1	1	0	3	0	0	1	4	5	0	2	0	0	0	1	1	1	3	4	2	7	9		
	30	和歌山	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2	4	2	6		
中国	31	鳥取	1	2	0	1	0	2	0	0	1	5	6	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	6	7		
	32	島根	2	2	2	2	1	0	2	0	7	4	11	4	5	0	1	0	0	0	4	6	10	11	10	21		
	33	岡山	0	1	1	0	0	1	0	0	1	2	3	1	0	0	0	0	1	0	2	0	2	3	2	5		
	34	広島	3	5	3	1	0	0	1	1	7	7	14	10	10	2	1	0	0	0	12	11	23	19	18	37		
	35	山口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
四国	36	香川	0	3	0	1	0	0	0	0	4	4	0	2	0	0	0	1	0	1	2	3	1	6	7			
	37	徳島	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
	38	愛媛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	39	高知	2	2	1	2	2	2	0	1	5	7	12	1	5	0	0	0	0	0	1	5	6	6	12	18		
九州	40	福岡	0	0	1	2	1	2	0	0	2	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6		
	41	佐賀	0	0	2	0	2	0	0	0	4	0	4	3	0	0	0	0	0	1	3	1	4	7	1	8		
	42	長崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	43	熊本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	44	大分	0	1	1	0	2	0	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	2	5		
	45	宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	46	鹿児島	2	1	2	2	1	1	1	2	6	6	12	1	1	0	0	0	1	1	2	2	4	8	8	16		
	47	沖縄	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
合計				32	87	32	50	29	36	21	15	113	189	302	63	77	9	7	2	1	38	20	112	105	217	225	294	519

令和5年度 飛込教室参加数一覧

ブロック	番号	都道府県名	実施対象(その他)		参加人数
			対象者	人数制限	
北海道	01	北海道	年齢制限を設けていない	人数制限を設けていない	8
東北	02	青森			
	03	岩手	年齢制限を設けていない	人数制限を設けていない	19
	04	宮城			
	05	秋田	小学生, 中学生	人数制限を設けていない	20
	06	山形	小学生	人数制限を設けていない	30
	07	福島	小学生, 中学生	30名以下	21
	関東	08	茨城	小学生, 中学生, 高校生, 一般	人数制限を設けていない
09		栃木	小学生	30名以下	20
10		群馬	年齢制限を設けていない	20名以下	23
11		埼玉	小学生, 中学生		30
12		千葉	年齢制限を設けていない	人数制限を設けていない	18
13		東京	小学生, 中学生, 高校生, 一般	30名以下	232
14		神奈川	小学生, 中学生, 高校生, 一般	30名以下	49
15		山梨			
北信越	16	長野	年齢制限を設けていない	20名以下	8
	17	新潟	小学生	20名以下	30
	18	富山	小学生, 中学生, 高校生, 一般	20名以下	42
	19	石川	小学生	20名以下	21
	20	福井	小学生・中学生	10名以下	4
東海	21	静岡	小学生, 中学生, 高校生, 一般	20名以下	40
	22	愛知	改修工事のため開催できず		
	23	三重	小学生	30名以下	30
	24	岐阜	小学生, 中学生	10名以下	5
近畿	25	滋賀			
	26	京都	小学生	10名以下	7
	27	大阪	年齢制限を設けていない	人数制限を設けていない	21
	28	兵庫			
	29	奈良			
	30	和歌山	小学生	20名以下	5
中国	31	鳥取	小学生	20名以下	22
	32	島根	小学生	人数制限を設けていない	50
	33	岡山			
	34	広島	小学生, 中学生, 高校生, 一般		50
	35	山口			
四国	36	香川			
	37	徳島			
	38	愛媛			
	39	高知	小学生	人数制限を設けていない	6
九州	40	福岡			
	41	佐賀	小学生	30名以下	60
	42	長崎			
	43	大分	小学生	人数制限を設けていない	11
	44	熊本			
	45	宮崎			
	46	鹿児島	年齢制限を設けていない	20名以下	60
	47	沖縄	年齢制限を設けていない	人数制限を設けていない	
合計					954

令和5年度 飛込競技者総数			
	男	女	合計
競技登録者	113	189	302
競技未登録者	112	105	217
大学生	18	21	39
合計	243	315	558
飛込教室	954		954
総合計(人数)			1,512
【加盟大学】			
東北支部	仙台大学		
関東支部	日本体育大学		
	慶応義塾大学		
	筑波大学		
	日本大学		
	早稲田大学		
	国士舘大学		
	昭和女子大学		
	前橋国際大学		
	日本女子体育大学		
	法政大学		
	明治大学		
	白鷗大学		
中部支部	長岡技術科学大学		
	石川県立大学		
	中京大学		
関西支部	近畿大学		
	武庫川女子大学		
	奈良工業高等専門学校		
中国・四国支部	福山平成大学		
	島根大学		
	四国大学		
	高知工科大学		
	倉敷芸術科学大学		

補足資料1

◎過去の数値

年度	男女	競技者登録	競技未登録者	大学生	飛込教室	総計
2022	男	109	108	17	868	234
	女	183	134	20		337
	合計	292	242	37	868	1,439
2021	男	128	124	19	692	271
	女	179	150	28		357
	合計	307	274	47	692	1,320
2020	男	108	103	19	527	230
	女	173	123	23		319
	合計	281	226	42	527	1,076
2019	男	153	76	21	941	250
	女	194	104	22		320
	合計	347	180	43	941	1,511
2018	男	164	108	22	1,203	294
	女	210	137	31		378
	合計	374	245	53	1,203	1,875
2017	男	139	109	24	1,484	272
	女	192	129	25		346
	合計	331	238	49	1,484	2,102

補足資料 2
教室・ニチレイ検定に関する内容
飛込教室を開催して、何か課題等ありましたら、内容を記述してください。
○指導者・スタッフ不足。他 4
○3年前から傷害保険の関係で、3mまでしか飛べなくなったのが残念である。
○一般の方の参加が多かった。
○参加者と実施回数を増やしたいが、教室担当指導者の確保が課題。結局、強化コーチが選手強化の合間に行っているのが現状で、負担が大きい。
○10月からスタートするのでまだ人数が把握できない。
○参加者が集まらない。他 1
○指導者一人に対して 10 人ほどが適正かと考える。根本的に指導者が不足している現状で、体験を実施したいがプールの使用スケジュールの問題で複数回実施することが難しい。
○継続回数と指導内容の調整が大変なので補助指導員をお願いしています。
○教室に参加してくれる人数は、増えつつありますが、中々継続してもらえる人数は少ないように感じます。面白そうだと参加してみたが、思っていたのと違うと中には1回でやめてしまう子もいます。できるだけ無理をさせないように、楽しく進めているのですが継続までには至らないことが多々あるので、教室、体験からの継続を目標に進め方を考えたいと思います。
○指導者の不足、教室実施回数（屋外プールなので実施できる時期が限られる。概ね 7 月、8 月のみ利用可能）、参加費用の高額（今年度は県から補助を受けて受益者負担は 5 回で 6000 円）、ニチレイ検定は 1 5 級から申請すると高額な振り込みになる人もいらっしゃるのでは、もう少しなんとかならないのか。
○現在プールがないので近隣のプールをお借りして不定期に実施している。
○大人の方が勝手に練習内容を決め行うので教室として成り立たなくなる。他
○天理プールが利用できなくなることと、開催日程や指導者不足が課題です。
○体験（教室）からの移行（継続）。他 1
ニチレイ飛込検定について何かございましたら自由に記述ください。
○実施されている都道府県の状況を教えていただきたい。
○申込方法や実施に係わる注意事項等詳細が分からないため、マニュアルがあれば提示して欲しい。そこで実施について判断したい。
○1. 1 級から 1 5 級までの具体的なマニュアルが必要。 2. 主催するプール側への報酬が必要では？ 3. 主催するプール側の振込手数料の「免除」を考える。 4. 主催者側にも任せの負担が大きいのではないでしょうか。
○合格の基準が良くわかりません。たとえば棒飛が出来るといわれても、ただ足から飛べば良いのか、あるいはジャッジ評定の 5 点くらいなのか曖昧です。審判員研修の時に検定の基準についてもお話しいただくとよいですね。全国で差が出てはまずいと思います。
ASはバジテスト何級以上でないと出れない大会があるそうです。
○競泳のような特別検定がない。費用負担が大きすぎる。
○教室参加者の成長が開催を提案するまでに至らないです。
特に静岡は条例があってダイビングプールの一般開放が少ないので自由に練習が出来る環境が確保しづらいです。飛込競技の普及に対するバックアップがあれば広く普及できるので県政や水泳場への働きかけをそれなりの立場のある所からお願いたいです。
競技に対するムーブメントを起こしやすい環境があれば検定開催の環境が確保できると思います。
○1 シーズンに飛び級する人は少ないが、他のスポーツなどでできる子が入ってきたときに、一度に申請する級が多いと負担が多いので、何とかならないだろうか。大人の方で改めて受ける人は一度に高額なるケースがあった。夏休みに実施してすぐに発送してもらえたので良かった。振込用紙などはインターネットからダウンロードできるようになるとよい。模範演技などの動画が公開されていると参加者に見せれると思いました。
○内容が初心者には危険と感じる。
○競泳のように飛込でも全国的に特別検定の日（検定料無料）を設定してほしい。

競技力向上コーチ委員会

1. 水泳コーチ資格取得方法・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
2. 基礎水泳指導員養成講習会・・・・・・・・・・・・ P2-4
3. アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請・・・・ P5-6
4. 免除適応校コース設置大学（在学中に資格を取得）・・ P7
5. 水泳コーチ3養成講習希望申請・・・・・・・・・・・・ P8
6. 水泳コーチ4への昇格について・・・・・・・・・・・・ P9
7. 水泳コーチ3・4規定・・・・・・・・・・・・・・・・ P10～18
8. 規定についての補足事項・・・・・・・・・・・・ P19

以上

水泳コーチ資格（水泳コーチ3）取得について

○2024年10月頃 水泳コーチ3養成講習会を実施予定

※飛込競技の専門科目講習会を実施予定

<受講資格>

4月1日現在 20歳以上で「基礎水泳指導員」資格を有するもの

方法Ⅰ 基礎水泳指導員指導員を取得する

※各都道府県水泳連盟（協会）へお問合せください。

※アスリート免除対象者について

※スキップ制度対象者について

方法Ⅱ 免除適応コース設置大学にて在学中にコーチ資格（水泳コーチ3）を取得する

※水泳コーチ3養成講習会の受講必要はありません

（2025年度入学の学生迄に限る。それ以降入学者は新規定により養成講習会への参加が必要。）

※免除適応コース設置大学について

No.	加盟団体	養成講習会						更新研修会											
		基礎水泳指導員		コーチ1		コーチ2		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		講習	検定日	講習	検定日	講習	検定日												
1	北海道	10/7、8	11/5.									24							9
2	青森県					11/3~5、11	11/12.						15						
3	岩手県	11/5、12、23、12/3	12/3.			9/15、16、17、23、24	9/24.											11	
4	宮城県	9/24~11/26 予定	11/26.															18	
5	秋田県	R6/2/3、10、17	R6.2.24													17			
6	山形県																		
7	福島県			9/3、24、10/1	10/1.										19				
8	茨城県	11/23、12/9、16	12/17.															17	
9	栃木県	12/3、17、1/21	1/21.															4	
10	群馬県	10/8、29、11/12 (予備日12/2)	12/3												26				
11	埼玉県	①4/16、23、5/7 ②10/1、8、29	①5/14. ②11/12									24	22						
12	千葉県	①8/5、6、12 ②12/17、23、24	①8/12 ②12/24								13			3				3	
13	東京都	①6/17、18、20、21、22、23 ②10/7、8、10、11、12	①7/2 ②10/22						21				15						3
14	神奈川県	10/22、28、29	11/4.													3			10
15	山梨県	10/8、15、29 中止	11/12.								16								
16	長野県															3			
17	新潟県			7/2、9/17、10/15	10/29.						20	3		5					
18	富山県	9/10、17、24、10/1	10/22.												26				
19	石川県	10/1、8	10/15.																10
20	福井県	5/7、14、21	5/21.						代				22						
21	静岡県	11/4、5、19	12/17.															11	
22	愛知県	11/3、5、19	11/23.													3			
23	三重県																		
24	岐阜県			9/10.	12/10.							3							
25	滋賀県			7/15、16	7/23.										19				
26	京都府	実施しない										30							
27	大阪府	10/8、15、22、 29	11/5.												26				
28	兵庫県	10/15、11/5、12	11/26.							4					12				
29	奈良県	9/16、17、23、24	9/24.												18				
30	和歌山県	R6/1月																未定	
31	鳥取県	11/11、12	12/3.										22						
32	島根県	10/29、11/5、12	11/23.							7、21									
33	岡山県	8/12~13	8/20.												3				
34	広島県	9/23、24、10/14、15	10/15.												26				
35	山口県	10/21、22、11/4、12	11/12.								4、5	8、9			12	10			
36	香川県			11/18、23、12/2 中止	12/2.										14				
37	徳島県															26			
38	愛媛県			11/3~12/3	12/3.								10	12					
39	高知県	R6/1/28.	R6/3/17																
40	福岡県	11/26~12/24	12/24.										22						
41	佐賀県	11/12、19、26	12/5.															11	
42	長崎県	10/28、29、11/25	11/26.									24							
43	熊本県	10/1~11/23	11/23.															11	
44	大分県																		
45	宮崎県	10/15~	12/10.																3
46	鹿児島県																		
47	沖縄県	10/1.	12/17.																18

30:更新研修会を○月30日に開催

代:代替措置

2023年度 第2回基礎水泳指導員養成講習会

1. 受講資格

- (1) 100m個人メドレーの泳力を有するとともに、基礎水泳指導員をめざす方で検定試験当日18歳以上の方。
- (2) 補講（未修了の方）、補強（修了者で更に学びたい方）は講習会担当者へお問い合わせください。

2. 申込み方法

封書で下記の①②を同封し（公財）東京都水泳協会指導者委員会宛へ申込みしてください。（申込期限必着）定員を超えた場合は、抽選とします。

- ① 基礎水泳指導員養成講習会申込書（ホームページの「申込書」をA4サイズ横でダウンロードした用紙）
※ダウンロード出来ない方は、郵送（注1）にて取り寄せることができます。
- ② 84円切手を貼った（長形3号）返信用封筒（自分の住所・氏名〇〇〇〇様を記入）同封してください。

3. 注意事項

- (1) 主催者は、傷病、その他の事故に際し、応急処置を除いて一切の責任を負いません。
参加者は事前に健康診断を受けるなど、万全な健康管理のもとに講習会を受講してください。
（講習会期間中は必ず健康保険証を持参してください。）
- (2) 車での来場はお断りします。
- (3) 会場内は禁煙です。

4. その他

本講習会の実技に関する免除規定があります。

（公財）日本水泳連盟ホームページ、地域指導者委員会から基礎水泳指導員免除規定の項を参照講習会申し込み時にお申し出ください。（備考欄に記入）また講習の免除を証明できる書類（プログラムやリザルト、各種資格証）の写しを講習会初日までにご準備ください。

5. 受講料・検定料 20,000円 ・ 8,000円

- ① （公財）東京都水泳協会が扱います。
- ② 納入方法は「受講決定通知書」でお知らせします。

なお、講習会開始後のキャンセルは出来ませんので、受講資格・日程等をご確認の上、お振り込みください。

申込み・問い合わせ先

（公財）東京都水泳協会 指導者委員会「基礎水泳指導員養成講習会担当」

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-3-18 広尾オフィスビル8階 TEL03-5422-6147 FAX 03-5422-6241
月曜～金曜（休日を除く）13時～17時

（注1）講習会申込用紙をダウンロードできない方は、上記へ郵送にてお申込み下さい。

84円切手を貼った（長形3号）返信用封筒（自分の住所、氏名（〇〇〇〇様）を記入）を同封し
※申込み封筒の左スミに“基礎水泳指導員養成講習会申込書申請”と赤字で明記すること。

[第2回]基礎水泳指導員養成講習会

1. 主催 (公財) 東京都水泳協会
2. 会場 【学科会場】 東京アクアティクスセンター 第1会議室
〒135-0053 東京都江東区辰巳 2-2-1
JR 京葉線 潮見駅 徒歩 15 分・東京メトロ有楽町線 辰巳駅 徒歩 10 分
【実技会場】 東京アクアティクスセンター サブプール・ダイビングプール
3. 定員 60名 (定員を超えた場合は抽選とします)

4. 日程及び内容

期日	受付	科目	時間	内容	会場
2023年 10月7日(土)	9:10		9:40	開講式	東京アクアティクスセンター 第1会議室
		学科	9:50~1h	水泳指導員の役割(指導員制度含む) 指導者とは(体罰、ドーピング、薬物)	〃
		学科	11:00~1h	初心者指導法	〃
	昼休憩(50分)				
	12:50	学科	13:00~1h	水泳の歴史	〃
		実習	14:10~2h	指導メニュー・立案	〃
10月8日(日)	9:10	学科	9:30~1.5h	水泳・水中運動の科学	〃
		学科	11:10~1.5h	バイオメカニクス	〃
	昼休憩(50分)				
	13:30	学科	13:40~2h	水泳プールにおける安全(水の安全 水泳事故、飛込み、溺水など)	〃
10月10日(火)	18:45	実技	19:00~2h	各種泳法	サブプール
10月11日(水)	18:45	実習	19:00~2h	指導実習①	〃
10月12日(木)	18:45	実習	19:00~2h	指導実習②	〃
10月13日(金)	18:45	実技	19:00~2h	各種泳法(スタート・ターン含む)・閉講式	ダイビングプール

※会場・内容・時間等、一部変更することもあります

5. 申込期日・受講料 2023年8月28日(月)～9月4日(月)必着 受講料 20,000円(教本代含む)
※定員に達するまで受付しますのでお問い合わせください

※ 講習会開始後のキャンセルは返金できません。

6. 検定日・検定料 2023年10月22日(日) 目黒日本大学中学校・高等学校
検定料 8,000円 (講習会受講料と合わせてお支払いください)
※講習会をすべて受講修了された方のみ受験可能です
※実技:100m個人メドレー(飛込み有) 学科:3科目

申請者各位

(公財) 日本水泳連盟
地域指導者委員会

アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請について

この免除申請は、公益財団法人 日本水泳連盟（以下「本連盟」という。）、公益財団法人 日本スポーツ協会公認水泳コーチ 1・水泳コーチ 2 規則第 10 条 2 項および本連盟公認基礎水泳指導員規則第 9 条の規程に基づき実施する。

〈申請方法〉

1. 申請書：「アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請書」に必要事項を記入し、写真を貼付すること（縦 3.5cm×横 2.5cm）。
*選手本人及び選手を育成した監督・コーチについては、大会への出場および順位が証明できる資料（写し可）を添付する。
2. 審査料：5,000 円を納入し、振込用紙（写し可）を申請書に貼付すること。
振込先：
 - ① みずほ銀行 渋谷中央支店 普通 2732293
口座名義：公益財団法人 日本水泳連盟指導者養成事業
 - ② 郵便振替：振替預金口座 00100-5-542045
口座名義：公益財団法人日本水泳連盟指導者養成事業*振込用紙伝言欄に「アスリート免除申請」と記入すること。
*審査料の納入は振込のみとなります。現金での受け付けはしません。
3. 申請書送付先：公益財団法人 日本水泳連盟 地域指導者委員会
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8F
4. 審査結果の通知
 - ① 審査により申請が認められた場合
→本連盟 地域指導者委員会から申請者の現住所の加盟団体へ書面にて連絡の後、加盟団体を通じて登録申請をする（規程の登録料が必要）。
 - ② 審査により申請が認められなかった場合
→本連盟 地域指導者委員会から申請者に書面にて通知する。

■注意事項

1. 本資格申請の該当者は、満 20 歳に達した者で、各競技（競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング、オープンウォータースイミング）において、本連盟が選考して国際大会に出場した選手および選手を育成した監督・コーチ、ならびに日本選手権等において入賞した選手および選手を育成した監督・コーチとする。
2. 競技実績については、平成 19（2007）年度以降のものを対象とする。なお、これ以前に国際大会に日本代表選手として出場し、現在水泳指導者として活動している者については、特別枠として申請することができる。
3. 本資格申請は、コーチ 3 資格の受講を要件とするものである。
4. 本資格の審査は、8月と12月を除き1ヶ月に1回の審査日を行う。審査結果については、本人ならびに本人が所属する加盟団体および競技力向上コーチ委員会委員長に通知する。

アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請書

◇本人の実績は「アスリート対象 基礎水泳指導員免除申請」に該当いたしますので、申請をいたします。

現住所	〒	電話	
氏名（ふりがな）	()	男・女	携帯電話
勤務先			勤務先電話
生年月日	西暦 年 月 日 (歳)	備考	

*本免除申請には要件があります。別紙免除規定をご覧ください。

*審査の結果、免除が認められた基礎水泳指導員の登録は、原則現住所地の加盟団体とします。

【選手用】 出場した免除対象大会名(国内大会は決勝順位まで記載すること)

西暦	年	大会名：	種目：	順位：
----	---	------	-----	-----

*大会への出場・順位が証明できる資料（写し可）を添付すること。

【監督・コーチ用】 出場した免除対象大会名(国内大会は決勝順位まで記載すること)

西暦	年	大会名：	種目：	順位：
指導した選手名				
選手と関わった時期		西暦 年 月 ～ 西暦 年 月		

指導した選手の署名、捺印

以上の通り相違ありません。 氏名 _____ (印)

*審査料5,000 円の振込用紙を貼付すること（写し可）。

写真貼付
3.5×2.5

*申込先（郵送で受け付ける）

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4 番2 号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8F
公益財団法人 日本水泳連盟 地域指導者委員会 宛

*封筒に「免除申請書在中」と書くこと。

*申請書の個人情報については、本申請以外に使用いたしません。

免除適応コース設置大学 ※2023年11月現在

1	仙台大学	体育学部
2	筑波大学	体育専門学群
3	早稲田大学	スポーツ科学部
4	順天堂大学	スポーツ健康科学部
5	国土館大学	体育学部
6	東京学藝大学	教育学部
7	日本女子体育大学	体育学部
8	日本体育大学	体育学部
9	日本大学	スポーツ科学部
		文理学部
10	至学館大学	健康科学部
11	新潟医療福祉大学	健康科学部
12	山梨学院大学	スポーツ科学部
13	中京大学	スポーツ科学部
14	東海学園大学	スポーツ健康科学部
15	大阪体育大学	体育学部
16	天理大学	体育学部
17	九州共立大学	スポーツ学部
18	西日本短期大学	健康スポーツコミュニケーション学科
19	福岡大学	スポーツ科学部
20	鹿屋体育大学	体育学部

2024年度 水泳コーチ3養成講習希望申請について

競泳・飛込・水球・AS・OWS コーチ3取得のための2024年度コーチ3養成講習会受講希望申請の受付を開始いたします。

下記 Google forms にて仮申し込みをしてください。



<https://forms.gle/bmGmsKcnB8kVaCjx9>

仮申し込みをされた方に2024年3月初旬に本申込みのご案内をお送りします。

問い合わせ先 mail: jasfcoache@googlegroups.com

受付期間: 2023年10月19日～2024年1月末日

※公認コーチ3資格取得の養成講習会受講希望条件は、下記をご覧ください。

公認水泳コーチ3資格取得 養成講習会受講希望条件

2023年10月

年齢	2024年4月1日現在 20歳以上		
競泳 飛込 水球 AS OWS	1	基礎水泳指導員	資格証
	2	公認水泳コーチ1	資格証
	3	公認水泳コーチ2	資格証
	4	公認水泳コーチ3 (現在おもちの種目以外のコーチ3資格にトライする方)	資格証
	5	公認水泳コーチ4 (現在おもちの種目以外のコーチ3資格にトライする方)	資格証
	6	公認水泳教師	資格証
	7	公認水泳上級教師	資格証
	8	水泳指導に関する基礎的な知識・技能と100m個人メドレーの基準(男子1分40秒0、女子1分50秒0、36歳以上1秒加算)の泳力を有する方	証明書類
飛込のみ	9	ニチレイ飛込検定5級以上の認定者 またはニチレイ飛込検定5級と同等に、競技会において異群4種目以上の演技をしたことがある方	証明書類

- 注意事項
- 上記のいずれかの条件を満たしていること
 - 競泳・水球・AS・OWSコーチ3については1～8のうち1つ
 - 飛込コーチ3については1～9のうち1つ

- 書類提出
- 資格証・証明書類は仮申し込み時のGoogleFormに添付していただき提出いただきます
 - 8と9に対する証明書類は競技会リザルツ又はニチレイ検定認定証が対象となります

<注意事項>

- ① アスリート申請による基礎水泳指導員資格取得者は、基礎水泳指導員登録後、コーチ受講希望者申請を提出してください。
- ② 基礎水泳指導員・水泳コーチ1・2資格者は、水泳コーチ3資格を取得することで資格変更となります。
- ③ スキップ制度をご使用の方(上記8・9)に対する証明書類は競技会リザルツ又は検定認定証が対象となります。

公認水泳コーチ4への昇格について（2023年度用）

公認飛込コーチ4昇格をみだし昇格基準を満たし、同資格の取得を希望する方は下記手順により昇格審査を受けてください

下記の方法で昇格審査を受けてください。

昇格用実務報告書をダウンロード後、必要事項を記入し下記宛て提出する。

郵送先：〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE8 階

（公財） 日本水泳連盟 競技力向上コーチ委員会

mail: jasfcoache@googlegroups.com

2024年度の公認コーチ4養成講習会を受講希望の方は

2024年1月末日までに実務報告書を提出してください。

・実務報告書は[こちら](#)



・さらに詳しくお知りになりたい方は[こちら](#)



公認水泳コーチ 3・コーチ 4 規定

[総 則]

第 1 条 (目 的)

日本水泳界の競技力を向上し、世界の水泳界をリードする競技者を発掘・育成・指導するためには、その指導者もまた世界トップレベルの技量・人格の持ち主であることが求められる。本規定はかかる指導者が輩出することを期するとともに水泳指導者の社会的地位の向上を図ることを目的とする。

第 2 条 (公認水泳コーチの種類)

(公財)日本水泳連盟(以下、本連盟)が公認する水泳コーチは、各競技種目(競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング・オープンウォータースイミング)とも、コーチ 3 およびコーチ 4 の二種類とする。

1. コーチ 3

科学的・合理的な水泳指導理論を身につけており、競技者の発掘・育成・指導に当たることができる能力を備えたものであることを本連盟が公認したコーチをいう。またジュニア遠征派遣コーチは、この資格が必要となる。

2. コーチ 4

豊かな実戦経験あるいは優秀競技者・チーム等の育成実績をもち、かつ高度な専門知識・技量・指導力を有し日本を代表する競技者の育成・指導の経験を有するとともに、人格・識見とも優れた日本を代表するコーチとして本連盟が公認したコーチをいう。

またジュニア遠征派遣ヘッドコーチおよびナショナルチーム遠征派遣コーチは、この資格が必要となる。

第 3 条 (コーチ 3 受講資格および資格取得と免除規定)

4月1日現在満20歳以上で、(公財)日本スポーツ協会が行う共通科目講習会、本連盟が行う専門科目講習会を受講し、検定試験およびレポート審査に合格した場合にコーチ 3 の資格を取得することができる。

専門科目講習の免除および免除適応校については、別に定めるものとする。

第 4 条 (コーチ 4 受講資格および資格取得と免除規定)

4月1日現在満22歳以上で、コーチ 3 資格を有するものが、各競技種目ごとに定め

た基準を充たす競技者・チーム等を育成し、本連盟が行う資格審査会に合格後、(公財)日本スポーツ協会が行う受講者審査および共通科目講習会、本連盟が行う専門科目講習会を受講し検定試験およびレポート審査に合格した場合にコーチ4へ昇格することができる。ただし、4年以内に講習会を受講しないものは受講資格を取り消すものとする。

専門科目講習の免除については、別に定めるものとする。

第5条 (研修の義務)

1. 本連盟に登録しているコーチ3・4は、毎年本連盟が主催する研修会に出席しなければならない。

2. 4月1日現在満65歳に達したコーチ3・4は、研修の義務を免除することができる。(要申請)

ただし、コーチ3登録後、5年未満のものは除く。

3. コーチ3・4資格を有するものが、研修会および養成講習会の講師を務めた場合、その年のコーチ3・4の研修義務を免除する。

第6条 (登録)

1. コーチ3・4として資格を認められたものは、本連盟に登録することができる。

2. 複数の資格を有するものは、その複数の資格を登録しなければならない。

3. 登録は、すべて所属する(公財)日本スポーツ協会を通して行わなければならない。

4. 登録・再登録については別に定める。

5. 登録情報に変更(改姓、転居、メールアドレスの変更等)が生じた場合は、速やかに(公財)日本スポーツ協会の指導者マイページの情報を変更しなければならない。

第7条 (登録の更新)

登録年より4年毎に登録の更新をしなければならない。

第8条 (資格の取り消し)

1. 本連盟公認コーチとしての名誉を傷つける行為があった場合。

2. 登録更新の手続きをしなかった場合。

3. 毎年行う研修会への出席を怠った場合。

第9条 (細則・附則)

この規定実施のための細則は別に定める。

第10条（施行）

この規定は1979年4月1日から施行する。

この規定は1983年4月1日に改正する。

この規定は1984年5月24日に改正する。

この規定は1986年2月16日に改正する。

この規定は1988年4月1日に改正する。

この規定は1989年4月1日に改正する。

この規定は1991年4月1日に改正する。

この規定は1992年4月1日に改正する。

この規定は2000年2月25日に改正する。

この規定は2005年4月1日に改正する。

この規定は2009年4月1日に改正する。

この規定は2010年4月1日に改正する。

この規定は2011年4月1日に改正する。

この規定は2012年4月1日に改正する。

この規定は2013年4月1日に改正する。

この規定は2014年4月1日に改正する。

この規定は2016年4月1日に改正する。

この規定は2017年4月1日に改正する。

この規定は2018年4月1日に改正する。

この規定は2019年4月1日に改正する。

この規定は2021年10月1日に改正する。

この規定は2022年7月1日に改正する。

公認水泳コーチ 3・コーチ 4 規定実施細則

Ⅱ. 飛込コーチ 3 規定実施細則

1. 規定 第 3 条 (コーチ 3 受講資格および資格取得と免除規定)

(1) 受講資格

4 月 1 日現在 20 歳以上で『基礎水泳指導員』資格を有するもの。

または、水泳指導に関する基礎的な知識・技能を有し、100m 個人メドレーの基準

(男子 1 分 40 秒 0、女子 1 分 50 秒 0、36 歳以上の場合、1 歳に加齢につき 1 秒加算する) となる泳力を本連盟に認められた者。この場合、模範となる泳ぎであること、競泳競技規則に違反しないこと。

または、ニチレイ飛込検定 5 級以上の認定者であること。(申請時にニチレイ飛込検定の結果コピーを添付する)

またはニチレイ飛込検定 5 級と同等に、競技会において異群 4 種目以上の演技をしたことがあること。(リザルツを提出)

※ニチレイ飛込検定 5 級とは、1 群～4 群の半回飛びができる事に相当する。

(2) 専門科目講習会、学科試験およびレポート審査

① 専門科目講習会の内容

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
①種目の特性に応じた基礎理論	①	競技概説	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	②	トレーニング科学(水泳の生理学)◆	2.00 h	0.66 h	8.00 h
		トレーニング科学(バイオメカニクス・水泳の力学)◆	2.00 h	0.67 h	
		トレーニング科学(バイオメカニクス・各種目の力学)	2.00 h	0.67 h	
	③	心理学(水泳の心理学)◆	2.00 h	1.00 h	6.00 h
		心理学(メンタルトレーニング)◆	2.00 h	1.00 h	
	④	メディカルコンディショニング(栄養学)◆	2.00 h	1.50 h	14.00 h
		メディカルコンディショニング(医学)◆	2.00 h	1.50 h	
		メディカルコンディショニング(トレーナーの基礎知識)	2.00 h	1.50 h	
		メディカルコンディショニング(各種目における障害予防と対処法)	2.00 h	1.50 h	
	小計		20.00 h	12.00 h	32.00 h
②指導理論	①	トレーニング法Ⅰ(選手育成に必要なトレーニング法の基礎)	2.00 h	2.00 h	8.00 h
		トレーニング法Ⅱ(選手育成に必要なトレーニング法の応用)	2.00 h	2.00 h	
	②	コーチング法Ⅰ(重要な指導のポイント、陸上練習)	2.00 h	1.00 h	12.00 h
		コーチング法Ⅱ(重要な指導のポイント、基本技術)	2.00 h	1.00 h	
		コーチング法Ⅲ(重要な指導のポイント、高等技術)	2.00 h	1.00 h	
		コーチング法Ⅳ(重要な指導のポイント、種目への発展)	2.00 h	1.00 h	
	小計		12.00 h	8.00 h	20.00 h
③実技指導実習	①	指導実習(トレーニング法の実践)	0.00 h	4.00 h	4.00 h
	②	指導実習(コーチング法の実践)	0.00 h	4.00 h	4.00 h
	小計		0.00 h	8.00 h	8.00 h
※◆印部分については、全競技種目(競泳、飛込、水球、AS、OWS)共通で講義を実施する。			32.00 h	28.00 h	60.00 h

②検定試験

- A. 全科目を実施。
- B. 問題は各講義規定の問題数とする。

③レポート審査

- A. 全科目を実施。
- B. 問題は各講義1問とする。

④免除規定

別紙コーチ4昇格基準同様、日本選手権・国際大会派遣選手選考会・翼JAPANダイビングカップ決勝8位以内(1mは3位以内)で基準点を突破した競技者を育成したもの、および本連盟主催の指定した強化合宿に指導者として全日程参加したものに対し、その他のレポート20h、指導実習8hを免除する。

なお、免除の条件を充たしているものは本連盟制定の免除申請書に所要事項を記入し、本連盟競技力向上コーチ委員会に送付する。

(3) 期日・会場

評議員会で決定次第、本連盟ホームページに掲載公開する。

2. 規定 第4条(コーチ4受講資格および資格取得と免除規定)

(1) 受講資格

①4月1日現在 22歳以上で、コーチ3資格を有し資格審査会に合格しているもの。なお、本連盟が制定した昇格認定基準は、次表の通りとする。

<飛込コーチ4昇格認定基準点・順位>

2017年～2020年の平均点を参考とする

(2021年度～2024年度)

	男子			女子		
種目	1m	3m	高飛込	1m	3m	高飛込
点数	293	341	352	234	228	231

②順位と基準点数

日本選手権・国際大会派遣選手選考会・翼 JAPAN ダイビングカップ決勝8位以内で基準点を突破した競技者を育成。ただし1mは3位以内とする。※昇格基準の見直しは、4年毎に行うものとする。

③国際競技会とは下記に定めるものをいう。

- A. オリンピック
- B. FINA 世界選手権
- C. FINA ワールドカップ
- D. FINA ワールドシリーズ
- E. ワールドユニバーシティゲームズ
- F. アジア大会
- G. アジア選手権
- H. FINA グランプリ

※なお、全て NF または JOC の派遣のみとし、所属で参加した場合は不可とする。

④前項①・②の条件を充たしたものは、本連盟制定のコーチ3実務報告書に所要事項を記入し、本連盟競技力向上コーチ委員会に送付。確認後、本連盟資格審査会に提出する。

資格審査会合格者には(公財)日本スポーツ協会による受講者審査の後、コーチ4受講資格を与える。

(2) 専門科目講習会、学科試験およびレポート審査

①専門科目講習会の内容

区分	カリキュラム内容		時間数		
	№	科目	集合	その他	計
①種目の特性に応じた基礎理論	①	競技情報・分析(国内・国際大会の競技情報を紹介し内容を分析)	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	②	ナショナルレベルにおける心理学(ナショナルレベルの選手育成に必要な心理学)◆	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	③	メディカルコンディショニング(水泳の医学・最前線)◆	2.00 h	2.00 h	12.00 h
		メディカルコンディショニング(トレーナーの知識)	2.00 h	2.00 h	
		メディカルコンディショニング(アンチ・ドーピング)◆	2.00 h	2.00 h	
	④	トレーニング科学Ⅰ(最先端の専門的トレーニング、体力的課題)◆	2.00 h	2.00 h	12.00 h
		トレーニング科学Ⅱ(最先端の専門的トレーニング、技術的課題)◆	2.00 h	2.00 h	
トレーニング科学Ⅲ(最先端の専門的トレーニング、メンタル的課題)◆		2.00 h	2.00 h		
	小計	16.00 h	16.00 h	32.00 h	
②指導理論	①	コーチング法V(ナショナルコーチによる指導技術の紹介と習得)	2.00 h	2.00 h	8.00 h
		コーチング法VI(ナショナルコーチによるトレーニング計画立案と作成法)	2.00 h	2.00 h	
	小計	4.00 h	4.00 h	8.00 h	
③実技指導実習	①	指導実習(トレーニング法の実践)	0.00 h	20.00 h	20.00 h
	②	指導実習(コーチング法の実践)	0.00 h	20.00 h	20.00 h
	小計	0.00 h	40.00 h	40.00 h	
※◆印部分については、全競技種目(競泳、飛込、水球、AS、OWS)共通で講義を実施する。			20.00 h	60.00 h	80.00 h

②検定試験

- A. 全科目を実施。
- B. 問題は各講義規定の問題数とする。

③レポート審査

- A. 全科目を実施。
- B. 問題は各講義1問とする。

④免除規定

(1)受講資格に定める、②日本選手権・翼 JAPAN ダイビングカップ 3位以内
(1mは優勝)および③国際競技会代表となる競技者を育成したのに対し、その他のレポート 20h、指導実習 8h を免除する。

なお、免除の条件を充たしているものは本連盟制定の免除申請書に所要事項を記入し、本連盟競技力向上コーチ委員会に送付する。

(3) 期日・会場

評議員会で決定次第、本連盟ホームページに掲載公開する。

3. 規定 第5条 (研修の義務)

研修会規定は下記の通りとする。

(1) 目的

公認コーチ 3・4 規定第5条にもとづき開催されるもので、日本水泳界の競技力を向上し、世界の水泳界をリードする競技者を発掘・育成・指導するためには、その指導者もまた世界をリードする技量・人格の持ち主であることが求められる。また指導者の社会的地位の向上を図ることを目的として研修を義務づけるものである。

(2) 研修企画会

研修の企画、運営のための水泳コーチ 3・4 研修企画会を設け、競技力向上コーチ委員長、研修に関連のある各委員会の代表で構成する。

(3) 開催日程および代替について

①開催について

コーチ3研修会は年10回以上開催する。またコーチ4研修会は年2回開催する。

②研修会の代替について

前①項にやむを得ない事情で参加できない場合は、下記の代替を認める。

A. コーチ3

原則的に代替は認めない。ただし、委員会が別途定める代替措置を講ずることができる。

B. コーチ4

本連盟主催の主要競技会および国際競技会を観戦し、そのレポートを（原稿用紙800字以内手書き）を指定期日までに提出した場合。ただし、2年連続でのレポートによる代替は認めない。

※主要競技会・国際競技会とは規定細則第4条(1)③④参照または、委員会が別途定める代替措置を講ずることができる。

③研修内容および参加費

開催要項の決定次第、本連盟ホームページに掲載公開する。

また、コーチ3・4資格保持者には別途通知する。

④その他：社会情勢により①が困難な場合には別途定める研修会を開催することができる。

(4) 義務不履行について

年1回の研修会への出席を怠ったものは、資格を取り消されるものとする。ただし、欠席したもので、審査の結果やむを得ない理由であったと認められたものは、次年度の研修会に参加することとレポート提出を条件に、1年間資格の喪失を猶予する。以上の条件を充たさない場合、自動的に資格を喪失する。

4. 規定 第6条（登録）

(1) 第1項 コーチ3登録に必要な手続きは下記の通りとする。

①本連盟の専門科目合格者は、(公財)日本スポーツ協会の実施する共通科目修了後に、(公財)日本スポーツ協会より送付される申請者カードに必要な事項を記入の上、指定期日内に(公財)日本スポーツ協会へ送付する。

②登録料は(公財)日本スポーツ協会の指示する方法で送付する。

(2) 第1項 コーチ4登録に必要な手続きは下記の通りとする。
前規定①、②に準ずる。

5. 規定 第7条（登録の更新）

(1) 資格は4年ごとに更新登録をしなければならない。(認定は4月1日・10月1日)

(2) 登録の更新に必要な手続きは下記の通りとする。

①(公財)日本スポーツ協会より送付される申請カードに必要事項を記入の上、指定期
日内に(公財) 日本スポーツ協会へ送付する。

②登録料は(公財)日本スポーツ協会の指示する方法で送付する。

(3) 登録料等については、前規定4.に準ずる。

6. 規定 第8条(施行)

(1) この規定は2005年4月1日から施行する。

(2) この規定は2009年4月1日から施行する。

(3) この規定は2010年4月1日に改正する。

(4) この規定は2011年4月1日に改正する。

(5) この規定は2012年4月1日に改正する。

(6) この規定は2013年4月1日に改正する。

(7) この規定は2014年4月1日に改正する。

(8) この規定は2016年4月1日に改正する。

(9) この規定は2017年4月1日に改正する。

(10) この規定は2018年4月1日に改正する。

(11) この規定は2019年4月1日に改正する。

(12) この規定は2021年10月1日に改正する。

(13) この規定は2022年7月1日に改正する。

コーチ 4 昇格規程の補足事項

2. 規定 第 4 条(コーチ 4 受講資格および資格取得と免除規定)

(1) 受講資格

3 国際競技会とは下記に定めるものをいう。

- A. オリンピック
- B. FINA 世界選手権
- C. FINA ワールドカップ
- D. FINA ワールドシリーズ
- E. ワールドユニバーシティゲームズ
- F. アジア大会
- G. アジア選手権
- H. FINA グランプリ

※なお、全て NF または JOC の派遣のみとし、所属で参加した場合は不可とする。

<補足事項 1 >

・昨今、国際大会の名称が変更されているため、下記の組織による主催大会とする。

(規定内容の改定は 2024 年以降である為、下記は共通認識事項として定める)

- ① IOC 国際オリンピック委員会
- ② FINA 国際水泳連盟
- ③ World Aquatics
- ④ AASF アジア水泳連盟
- ⑤ Asia Aquatics
- ⑥ FISU (国際大学スポーツ連盟)

以上

競技部目次

1. 2024年度以降 主要競技会「日程・開催予定地」
2. 2023年 飛込委員会決定事項（5点）
 - ① 主要競技大会出場資格について
 - ② 『推薦願い』要領について
 - ③ 国民スポーツ大会（水泳・飛込）の予備エントリー要領
 - ④ 競技会におけるダイブシート提出期限の運用について
 - ⑤ 国民スポーツ大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者選出要領について
3. 2024年度 主要競技会「競技会要項（案）抜粋」

1. 2024年度以降 主要競技会「日程表」

2023年11月末作成

競技会名	2024	2025	2026	2027
オリンピック	フランス・パリ			
	7/27～8/10			
世界選手権		シンガポール		
FISU ワールドユニバーシティゲームズ		ドイツ		
		7/16～27		
アジア競技大会			日本・名古屋	
世界ジュニア選手権				
ユースオリンピック				
アジア大会	●未定			
アジア AGE				
世界マスターズ				
日本選手権	滋賀・草津市			
	8/30～9/1			
翼ジャパソング化ソングカップ 兼国際大会派遣選手選考会	東京・江東区			
	2025/3/20～23			
日本学生選手権	東京・江東区	大阪	大阪	未定
	9/7・8			
JOC ジュニアオリンピック カップ（夏季）	滋賀・草津市	大阪	大阪	大阪
	8/22～25	8/22～25（予定）	8/22～25（予定）	8/22～25（予定）
JOC ジュニアオリンピック カップ（春季）	栃木・宇都宮市	未定	未定	未定
	3/29～30			
高等学校体育大会	大分・別府市	広島県・福山市	近畿ブロック	
	8/17～20	8/17～20	8/17～20	
全国中学校体育大会	石川・金沢市	鹿児島・鹿児島市		
	8/17～19	8/17～19		
国体 (2024より国民スポーツ大会)	佐賀・佐賀市	滋賀・草津市	青森(宮城・仙台市)	宮崎
	9/14～16			

主要競技大会出場資格について

本要領により、日本水泳連盟が主催する競技会の出場資格について、飛込委員会の方針を明示することとする。

なお、2020年度以降の競技会において、新型コロナウイルス感染症流行による予選会実施も確実ではなかった状況を鑑みて変更していた内容についても、本要領で改めることとする。

※本資料では競技者登録および団体登録に関することは記載しない。

1. 日本選手権

●個人種目

①当該年度下記競技会の当該競技種目において標準点数（※1）を突破（同点可）した者。

関東選手権／関西選手権

②前年度日本選手権終了後に、翼ジャパンダイビングカップが開催された場合、その翼ジャパンダイビングカップにおいて、標準点数（※1）を突破（同点可）した者。

③(公財)日本スポーツ協会が定める「当該年度トップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

④飛込委員会において各加盟団体からの推薦に基づき、承認された者。

●シンクロナイズド競技種目 以下のいずれかを満たすチーム（※2）

①エントリーするチームの両名の内1名は、当該競技種目の個人競技種目出場資格を持っている事。

②飛込委員会によって承認された推薦チームであること。

※1 標準点数

	種目	自由選択飛		種目	自由選択飛
男子	1 m飛板	240	女子	1 m飛板	170
	3 m飛板	280		3 m飛板	200
	高飛込	280		高飛込	200

※2 参加申込締め切り後やむを得ない事由により、どちらかの選手が出場できない場合、監督者会議以前であれば選手の交替を認める。

2. 翼ジャパンダイビングカップ

●個人種目

①当該年度下記競技会の当該競技種目において、下記の成績をおさめた者。

（当該年度に下記競技会が本競技会エントリーまで未実施の場合は、前年度に読み替える）

・全国中学校水泳競技大会において、当該競技種目1位～3位の者。

・日本高等学校選手権水泳競技大会において、当該競技種目1位～3位の者。

・全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会（※）において、当該競技種目1位～3位の者。

※14歳～15歳区分・16歳～18歳区分に限る。

・日本学生選手権大会において、予選競技または決勝競技1位～6位の者。

・国民スポーツ大会少年の部において、当該競技種目1位～3位の者。

・国民スポーツ大会成年の部において、当該競技種目1位～8位の者。

・日本選手権において、当該競技種目1位～12位までの者。

②(公財)日本スポーツ協会が定める「当該年度トップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

③飛込委員会において各加盟団体からの推薦に基づき、承認された者。

●シンクロナイズド競技種目

『1. 日本選手権』に準じる。

3. 日本学生選手権

以下の条件のいずれかに該当すること。

①前年度日本学生選手権以降に開催された公認競技会（ブロック大会以上および本連盟の主催する大学対抗戦）において以下の標準点数を突破した者。なお、学生委員会加盟校登録が1回目の者は、前年度全国JOC夏季ジュニアオリンピックカップ・全国高校総体・国民体育大会の自由選択飛の記録でも可とする。

男子飛板飛込 210点/男子高飛込 200点/女子飛板飛込 150点/女子高飛込 140点

②(公財)日本スポーツ協会が定める「当該年度トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

※日本学生選手権については、学生委員会が主管であることから、本方針はあくまでも飛込委員会方針であり、適宜変更等の可能性はある。

※コロナ禍により対象とする競技会を拡大したが、大学生の学生生活の実態(実習や就職活動)を鑑み、これを維持することとした。但し、全国高校総体等の種目数が不足している点については、特段の配慮はせず、1演技種目少なくとも標準点数を超えていることを求める。

4. 全国JOC夏季ジュニアオリンピックカップ

●個人種目

・当該年度各ブロック予選会において以下の標準点を突破(同点可)した者で、各ブロックの参加枠の範囲内でエントリーできる。

性別	区分	種目	標準点数	性別	区分	種目	標準点数
男子	9~11歳	1m飛板飛込	150点	女子	9~11歳	1m飛板飛込	150点
	12~13歳	1m飛板飛込	220点		12~13歳	1m飛板飛込	190点
		高飛込	195点			高飛込	165点
	14~15歳	3m飛板飛込	275点		14~15歳	3m飛板飛込	250点
		高飛込	255点			高飛込	225点
	16~18歳	3m飛板飛込	370点		16~18歳	3m飛板飛込	305点
		高飛込	340点			高飛込	275点

※各ブロック参加枠については、各ブロック3名に加えて、前年度本大会において8位までの入賞選手を輩出したブロックにその人数の枠数を付与したものである。

●シンクロ種目

・参加するチームは両名ともに、個人競技種目の出場権を満たしているチーム。

※参加制限：12~18歳無差別とする。

5. 全国JOC春季ジュニアオリンピックカップ

①当該年度JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会にエントリーする資格を有する競技者。

②当該年度の全国中学校体育大会・日本高等学校体育大会・国民スポーツ大会・日本選手権に出場した者。

③本大会において男女各1名の参加がない都道府県は、男女各1名をエントリー資格者として各都道府県水泳連盟(協会)から推薦できる。またエントリー資格者が男女どちらか一方の場合は、資格者がいない方について推薦できる。

※全国JOCジュニアオリンピックカップについては、JOC実行委員会が主管であることから、本方針はあくまでも飛込委員会方針であり、適宜変更等の可能性はある。

以上

日本水泳連盟飛込委員会『競技会推薦願』受領要領について

本要領により、日本選手権・翼ジャパンダイビングカップにおける競技会推薦願の受領、審査、承認、回答について飛込委員会の方針を明示することとする。

1. 受領について

●個人種目

各加盟団体より、以下の①～③のいずれかに該当する者が推薦された場合、受領する。

① 推薦される者が、当該競技会の出場資格を獲得する競技会（予選会等）へ出場が出来なかった理由が、怪我や疾病、海外遠征等によるもので、当該競技会の実施最終日から遡って、2年以内に、以下の競技会での競技実績を有することを原則とする。なお推薦する競技種目と同一であること。

1. 日本選手権8位以内
2. 翼ジャパンダイビングカップ8位以内
3. 学生選手権6位以内
4. 高等学校選手権3位以内
5. 全国中学3位以内
6. 全国J0 3位以内（9-11歳のクラスを除く）
7. 国民スポーツ大会少年の部3位以内/成年の部8位以内

② 過去にオリンピック大会および世界水泳大会等、日本代表として出場した実績がある者。

③ ①②には該当しないが、飛込委員会強化部より推薦することが推奨された者。

●シンクロ種目

各加盟団体より、以下の①～③のいずれかに該当するチームが推薦された場合、受領する。

① 推薦されるチームは、当該競技会の出場資格を獲得する競技会（予選会等）へ出場が出来なかった理由が、怪我や疾病、海外遠征等によるもので、当該競技会の実施最終日から遡って、2年以内に、以下の競技会での競技実績を有することを原則とする。なお推薦する競技種目と同一であること。

1. 日本選手権優勝
2. 翼ジャパンダイビングカップ優勝
3. 全国J0 優勝

※該当競技会の競技種目が公開競技の場合は、最上位の記録であること。

② 過去にオリンピック大会および世界水泳大会等、日本代表として出場した実績があるチーム。

③ ①②には該当しないが、飛込委員会強化部より推薦することが推奨されたチーム。

2. 審査・承認について

飛込委員会強化部は、以下の審査項目を参考に、推薦可否の原案を作成し、飛込委員会に提案する。

- ・成長著しいと認められる若手選手・チーム。
- ・国際大会派遣選手選考会を兼ねる場合は、選考対象になると見込める選手・チーム。

なお、回答までに飛込委員会の開催が出来ない場合は、飛込委員会強化部の原案を、委員長・副委員長が承認することで、飛込委員会の決定事項とする。

3. 回答について

加盟団体に文書をもって回答する。

以上

国民スポーツ大会（水泳・飛込）の予備エントリー要領

本要領により、全国の加盟団体に統一見解を持たせ、予備エントリーの手順および予備エントリー選出選手の取扱について明示するものとする。

1. 予備エントリー実施の目的について

（公財）日本スポーツ協会より定められ『水泳・飛込競技』に付与された参加者枠数98名（選手・監督）を日本水泳連盟飛込委員会が定めた基準で審査し、本エントリーできる枠数を各都道府県に配分するものである。

2. 予備エントリーの手順について

予備エントリーの方法・手順については、全国の加盟団体に改めて周知するが、飛込委員会競技部が委託したシステムを用いて行う。予備エントリー締切日や結果の回答日については別途通達する。

3. 予備エントリーできる選手について

各加盟団体は、以下のいずれかに該当する者を予備エントリーできる。

- ①本大会の競技会要項に記載された予選対象大会で標準点数を突破した者。
- ②開催年度の国民スポーツ大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者。

（制限）

- ・各都道府県は、最大4名までしか予備エントリーできない。
- ・各都道府県は、1種目につき1名までしか予備エントリーできない。
- ・上記②に該当する選手は、対象種目に限らず、飛板飛込・高飛込両方に予備エントリーできる。
- ・選手兼任監督である者は、予備エントリー時からその旨申請すること。

4. 予備エントリー選出選手の選出方法

予備エントリーされた者の中から以下の基準で順に選出を行う。

基準1 開催都道府県の選手

基準2 「3. 予備エントリーできる選手について」の②に該当する選手。

基準3 基準2で選出した選手を除き、予備エントリーした各都道府県の達成率(※)最上位者

基準4 基準1～3までの対象者選手がいる都道府県に監督枠1を配分する。

基準5 基準1～4での枠数を98から差し引いた枠数分、残りの対象者の内達成率(※)の上位の者
※達成率・・・予選会得点を標準点数で割ったもの。2種目エントリーしている者は、高い方を採用する。

※なお、基準4の時点で98名を上回る場合、基準3に遡り、その対象者の中でランキング順にし、上位より選出する。基準4での監督者枠配分は、必ず参加都道府県には配分されるように配慮する。

5. 予備エントリー結果の回答について

日本水泳連盟飛込委員会は、予備エントリーした都道府県の加盟団体に、「4. 予備エントリー選出選手の選出方法」に基づき決定した選手枠数（監督者数+選手数）を回答する。

6. 本エントリーについて

各加盟団体は、日本水泳連盟飛込委員会から回答のあった選手枠数に基づき、本大会競技会要項のとおりエントリーを行う。その際、予備エントリーしていない選手であっても、競技会要項の申込規定を満たし、配分された選手枠数（監督者数含む）の範囲内であれば、本エントリーすることができる。

以上

競技会におけるダイブシート提出期限の運用について

本要領により、2024 年度競技会より、原則ダイブシートの提出期限を各競技開始時刻 24 時間前とすることに伴い、各競技会の初日に実施される競技会は、前日の公式練習の実施状況によることとあり、また提出忘れの対応も開門時間によることから、以下のとおり運用する。

1. ダイブシートの提出期限について

- ・競技会第 1 日目 15 時までに開始される競技について
『前日の 15 時まで提出とする。』
- ・競技会第 1 日目 15 時以降から最終日までに開始される競技について
『当該競技開始の 24 時間前まで提出とする。』

2. ダイブシート提出時刻超過後の受付について

- ・各日開門後 3 時間 30 分以内に開始される競技について
『当日開門後 30 分以内まで受け付ける。』
- ・各日開門後 3 時間 30 分超過以降に開始される競技について
『当該競技開始の 3 時間前まで受け付ける。』

なお、申請手数料として、20,000 円を徴収する。

ただし、2024 年度に開催される競技会については、申請手数料の徴収を免除し、競技会審判長の嚴重注意のもと受け付けることとする。

3. その他

- ・ダイブシート提出時は提出時刻を記載すること。(競技役員がその場で記載することが望ましい)
- ・ダイブシートの提出場所は、常設することになるため、プールサイドや記録席に限らず、受付や記録本部等、競技会の実情に合わせて対応できることとする。

上記事項は、日本水泳連盟主催競技大会において運用するが、その他競技会においても広く準用いただくことを要望する。但し、その競技会の実情に合わせて、修正を加えることは差し支えないこととし、その場合は、競技会要項等で周知すること。

上記事項を採用した際の競技会要項への記載については、例文として以下を示す。

『ダイブシートは所定のものを使用し必要事項を記入の上、当該競技開始時刻の 24 時間前までに提出すること。なお、競技会 1 日目 15 時までに開始される競技については前日 15 時までの提出を可とする。』

また、当該競技提出期限超過後であっても競技開始 3 時間前までに記録席本部に申し出ることで、審判長嚴重注意のもと受け付ける場合がある。なお各日競技開始 3 時間 30 分前に競技会会場の開門時刻となっていない場合は、開門後 30 分間は同様の対応をする。

なお提出場所および各競技の提出時刻については、二次要項で周知する。』

以上

国民スポーツ大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者 選出要領について

本要領により、毎年度4月頃に日本スポーツ協会に提出する当該年度の「トップアスリート参加資格特例措置対象者」について、以下のとおり飛込委員会内の方針を明示することとする。

前提) スポーツ協会からの条件

1. 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- 1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会（冬季競技はオリンピック冬季競技大会）に参加した者。
- 2) 大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。
 - (1) JOC オリンピック強化指定選手
 - (2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - (3) 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

上記、スポーツ協会からの条件を基に、飛込競技においては以下のとおり対象者は選出している。

- ① 「1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会に参加した者」を採用し、直近のオリンピック競技大会に参加した者。
- ② 2)の(2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者にに基づき、直近の翼ジャパンダイビングカップまたは国際大会派遣選手選考会または日本選手権の各種目上位8名に入った者。

ここで改めて、2023年5月飛込委員会競技部協議事項より、翼ジャパンダイビングカップが国際大会派遣選手選考会を兼ねた開催時期が流動的な競技会であると位置づけられたため、トップアスリートを選出する競技会も流動的になってしまうことを避けるために、固定した競技会での選出について検討した結果、日本選手権に固定して、対象者を選出することを飛込委員会の方針とする。

以下のとおり飛込委員会としての選出対象基準とする。

- ① 「1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会に参加した者」に基づき、直近のオリンピック競技大会に参加した者。
- ② 2)の(2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者にに基づき、前年度の日本選手権の各種目上位8名に入った者。

以上

2. 2024年度 主要競技会「要項案」

以下は、主要競技会の要項案です。この要項案は2023年12月時点に作成し、各競技会の競技種目、競技方法、競技日程、申込規定等を提示するものです。正式な競技会要項は日本水泳連盟HP（2024年4月頃公表予定）よりご確認ください。

第100回（2024年度）日本選手権水泳競技大会飛込競技

開催場所：滋賀県・草津市立プール

競技期間：8月30日（金）～9月1日（日）

競技種目

以下の競技種目を男女それぞれ行う。※ 高飛込の高さは、10mに限る。

- 1) 1m飛板飛込 2) 3m飛板飛込 3) 高飛込（※）
4) 3mシンクロ飛板飛込 5) 10mシンクロ高飛込（※）

競技方法

各種目以下のとおり行う。

- 1) 1m飛板飛込
決勝競技のみ行う。
- 2) 3m飛板飛込、高飛込
・予選競技、決勝競技を行う。
・決勝競技進出者は予選競技上位12位までの選手とし、13位、14位の選手をリザーブとする。決勝競技進出者決定後、棄権者が出た場合にはリザーブより繰上げを行い、12名を確保する。
・決勝競技における競技順は予選競技下位の選手からとする。
・最終順位は、決勝競技の得点合計により決定する。
- 3) シンクロナイズド3m飛板飛込、シンクロナイズド高飛込
・決勝競技のみ行う。
・男女同時進行にて競技を行う。
・出場チーム数が3組未満の場合は、公開競技として行う。（公式競技決定については、二次要項で確認すること。）

競技日程

8月30日（金）	1. 女子	3m飛板飛込	予選	2. 男子	1m飛板飛込	決勝
	3. 女子	3m飛板飛込	決勝	4. 男女	3mシンクロ飛板飛込	決勝
8月31日（土）	5. 男子	3m飛板飛込	予選	6. 女子	高飛込	予選
	7. 男子	3m飛板飛込	決勝	8. 女子	高飛込	決勝
9月1日（日）	9. 男子	高飛込	予選	10. 女子	1m飛板飛込	決勝
	11. 男子	高飛込	決勝	12. 男女	10mシンクロ高飛込	決勝

申込規定

1) 資格

●個人競技種目 以下の①～③を全て満たす者。

- ① 競技者は(公財)日本水泳連盟競技者登録（2024年度）完了者で中学生以上であること。
② ①と同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了していること。
③ 以下の条件のいずれかに該当する者。

イ. 2024年度下記競技会の当該競技種目において標準点数（下表）を突破（同点可）した者。

関東選手権・関西選手権

ロ. (公財)日本スポーツ協会が定める「2024年度トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

ハ. 各加盟団体からの推薦に基づき、飛込委員会で承認された者。

⇒『『推薦願』要領について』を参照すること。

●シンクロ競技種目 以下の①～②の全てを満たすチーム

①エントリーするチームの両名は、個人競技種目①②を満たすこと。

②以下の条件のいずれかに該当するチーム

イ. エントリーするチームの両名の内1名は、当該競技種目の個人競技種目③の条件を満たしていること。

ロ. 各加盟団体からの推薦に基づき、飛込委員会で承認されたチームであること。

⇒『『推薦願』要領について』を参照すること。

《標準点数》

	1m 飛板飛込	3m 飛板飛込	高飛込
男子	240	280	280
女子	170	200	200

以上

※競技日程については、同時開催となる日本選手権競泳競技との調整が必要なため、継続して調整を行う。

2024年度翼ジャパンダイビングカップ 兼 国際大会派遣選手選考会

開催場所：東京都・東京アクアティクスセンター

競技期間：2025年3月20日（木）～3月23日（日）

競技種目

以下の競技種目を男女それぞれ行う。※高さは10mに限る

- 1) 3m飛板飛込 2) 高飛込 3) 3mシンクロ飛板飛込 4) 10mシンクロ高飛込 (※)
5) MIX 3mシンクロ飛板飛込 6) MIX 10mシンクロ高飛込 (※)

なお、5) 6) は公開競技として実施する。

競技方法

各種目以下のとおり行う。

- 1) 3m飛板飛込、高飛込
- ・予選競技、決勝競技を行う。
 - ・決勝競技進出者は予選競技上位12位までの選手とし、13位、14位の選手をリザーブとする。決勝競技進出者決定後、棄権者が出た場合にはリザーブより繰上げを行い、12名を確保する。
 - ・決勝競技における競技順は予選競技下位の選手からとする。
 - ・最終順位は、決勝競技の得点合計により決定する。
- 2) 3mシンクロ飛板飛込、10mシンクロ高飛込、MIX 3mシンクロ飛板飛込、MIX 10mシンクロ高飛込
- ・決勝競技のみ行う。
 - ・男女同時進行にて競技を行う。
 - ・出場チーム数が3組未満の場合は、公開競技として行う。(公式競技決定については、二次要項で確認すること。)

競技日程

- ・同時開催となる日本選手権競泳競技との調整が必要なため、継続して調整を行う。

申込規定

1) 資格

●個人競技種目 以下の①～③を全て満たす者。

- ① 競技者は(公財)日本水泳連盟競技者登録(2024年度)完了者で中学生以上であること。
② 競技者が所属する団体も同様に団体登録が完了していること。
③ 以下の条件のいずれかに該当する者。

イ. 2024年度下記競技会の当該競技種目において下記の成績をおさめた者。

- ・全国中学校水泳競技大会において、当該競技種目1位～3位の者。
- ・日本高等学校選手権水泳競技大会において、当該競技種目1位～3位の者。
- ・全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会(※)において、当該競技種目1位～3位の者。

※グループA・Bに限る。

- ・国民体育大会少年の部において、当該競技種目1位～3位の者。
- ・国民体育大会成年の部において、当該競技種目1位～8位の者。
- ・日本学生選手権大会において、予選競技または決勝競技1位～6位の者。
- ・日本選手権において、当該競技種目1位～12位までの者。

ロ. (公財)日本スポーツ協会が定める「2024年度トップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

ハ. 各加盟団体からの推薦に基づき、飛込委員会で承認された者。

⇒『『推薦願い』要領について』を参照すること。

●シンクロ競技・MIXシンクロ競技 以下の①～②の全てを満たすチーム

- ①エントリーするチームの両名は、個人競技種目①②を満たすこと。
②以下の条件のいずれかに該当するチーム

- イ. エントリーするチームの両名の内1名は、当該競技種目の個人競技種目③の条件を満たしていること。
ロ. 各加盟団体からの推薦に基づき、飛込委員会で承認されたチームであること。
⇒『『推薦願い』要領について』を参照すること。

以上

第100回（2024年度）日本学生選手権

開催場所：東京都・東京アクアティクスセンター

競技期間：9月7日（土）～9月8日（日）

競技種目

男子 3m飛板飛込 自由選択飛（各群より6演技種目） / 高飛込 自由選択飛（各群より6演技種目）
女子 3m飛板飛込 自由選択飛（各群より5演技種目） / 高飛込 自由選択飛（異群より5演技種目）

競技方法

- 1) 予選競技、決勝競技を行う。
- 2) 決勝競技進出者は、予選競技上位12位までの選手とする。ただし決勝進出者は1校3名以内とする。
- 3) 決勝競技進出者決定後、棄権者が出た場合には繰上げを行い、12名を確保する。
- 4) 順位は決勝競技の得点合計により決定する。

競技日程

9月7日（土） 1. 男子 3m飛板飛込 2. 女子 高飛込
9月8日（日） 3. 女子 3m飛板飛込 4. 男子 高飛込

申込規定

1) 資格

以下の①～③を全て満たす者。

- ① 競技者は(公財)日本水泳連盟競技者登録（2024年度）完了者であること。
- ② ①と同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了しており、学生委員会加盟校であること。
- ③ 以下の条件のいずれかに該当すること。

イ. 前年度日本学生選手権以降に開催された公認競技会（ブロック大会以上および本連盟の主催する大学対抗戦）において以下の標準点数を突破した者。なお、上記②の登録が1回目の者は、前年度全国JOC夏季ジュニアオリンピックカップ・高校総体、国民体育大会の自由選択飛の成績でも可とする。

男子飛板飛込 210点 女子飛板飛込 150点
男子高飛込 200点 女子高飛込 140点

ロ. (公財)日本スポーツ協会が定める「2024年度トップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置」における当該競技種目の対象者。

団体表彰

各競技種目の予選競技および決勝競技における各校3名までの総得点合計の数値が最も多い大学を選手権校とする。総得点と同じ場合は、次の順序に従って決定する。

- ①入賞者の多い大学（個人競技6位まで）
- ②個人競技1位の数の多い大学
- ③個人競技2位の数の多い大学（以下、最後までこれにならう。決勝に進出できなかった者は予選の順位による）
- ④予選競技・決勝競技の各校出場選手の上位3名までの得点平均値が高い大学（総得点合計÷総演技数）
（平均値は小数点第3位を四捨五入し、第2位まで算出する）
- ⑤予選競技・決勝競技の各校出場選手の上位3名までのなかで、1演技について最も高い得点を得た者の所属する大学。

以上

第47回（2024年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ（夏季大会）

開催場所：滋賀県・草津市立プール

競技期間：8月22日（木）～8月25日（日）

年齢区分

以下の4区分で実施する。（参加年齢の決定は2024年12月31日における満年齢による。）

- 1) 9歳～11歳 2) 12歳～13歳 3) 14歳～15歳 4) 16歳～18歳

競技種目

・男子

- 1) 9～11歳 1m飛板飛込 6演技種目（4つ以上の群より選択）
制限選択飛（難易度合計 5.4以内） 異群より3演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 2) 12～13歳 1m飛板飛込 8演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 3) 12～13歳 高飛込 7演技種目（高さは5m、7.5mに限る）
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 4) 14～15歳 3m飛板飛込 9演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 5) 14～15歳 高飛込 8演技種目（5つ以上の群より選択）
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 6) 16～18歳 3m飛板飛込 10演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 各群より5演技
- 7) 16～18歳 高飛込 9演技種目（6つ以上の群より選択）
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より5演技
- 8) 12～18歳 3mシンクロ飛板飛込 5演技種目（4つ以上の群より選択）
指定難易度2.0とみなす2演技、自由選択飛（難易度下限6.0）3演技

・女子

- 1) 9～11歳 1m飛板飛込 6演技種目（4つ以上の群より選択）
制限選択飛（難易度合計 5.4以内） 異群より3演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 2) 12～13歳 1m飛板飛込 7演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より2演技
- 3) 12～13歳 高飛込 6演技種目（高さは5m、7.5mに限る）
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より2演技
- 4) 14～15歳 3m飛板飛込 8演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 5) 14～15歳 高飛込 7演技種目（5つ以上の群より選択）
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 6) 16～18歳 3m飛板飛込 9演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 7) 16～18歳 高飛込 8演技種目（5つ以上の群より選択）
制限選択飛（難易度合計 7.6以内） 異群より4演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 8) 12～18歳 3mシンクロ飛板飛込 5演技種目（4つ以上の群より選択）
指定難易度2.0とみなす2演技、自由選択飛（難易度下限6.0）3演技

競技方法

・9～11歳および12～13歳区分

決勝競技のみ行う。

競技順は、ブロック予選会の得点合計の下位選手からとする。

最終順位は、決勝競技の得点合計により決定する。

・14～15歳および16～18歳区分

予選競技・決勝競技を行う。

予選競技の競技順は、ブロック予選会の得点合計の下位の選手からとする。

予選競技は、制限選択飛と自由選択飛で行う。

決勝競技進出者は、予選競技上位8名までの選手とする。

決勝競技は、自由選択飛で行い、予選競技と同一同順で行う。

決勝競技における競技順は、予選競技の下位の選手からとする。

最終順位は、予選競技における制限選択飛と決勝競技における自由選択飛との得点合計により決定する。

競技日程

8月22日（木）

- 1. 男子（14～15歳） 3m飛板飛込 予選 4. 女子（12～13歳） 高飛込 決勝
- 2. 女子（16～18歳） 高飛込 予選 5. 男子（14～15歳） 3m飛板飛込 決勝
- 3. 男子（9～11歳） 1m飛板飛込 決勝 6. 女子（16～18歳） 高飛込 決勝

8月23日（金）

- 7. 女子（14～15歳） 高飛込 予選 10. 女子（9～11歳） 1m飛板飛込 決勝
- 8. 男子（16～18歳） 3m飛板飛込 予選 11. 女子（14～15歳） 高飛込 決勝
- 9. 男子（12～13歳） 高飛込 決勝 12. 男子（16～18歳） 3m飛板飛込 決勝

8月24日（土）

- 13. 男子（14～15歳） 高飛込 予選 16. 男子（14～15歳） 高飛込 決勝
- 14. 女子（16～18歳） 3m飛板飛込 予選 17. 女子（16～18歳） 3m飛板飛込 決勝
- 15. 女子（12～13歳） 1m飛板飛込 決勝 18. 19. 男女（12～18歳） 3mシンクロ飛板飛込 決勝

8月25日（日）

- 20. 女子（14～15歳） 3m飛板飛込 予選 23. 女子（14～15歳） 3m飛板飛込 決勝
- 21. 男子（16～18歳） 高飛込 予選 24. 男子（16～18歳） 高飛込 決勝
- 22. 女子（12～13歳） 1m飛板飛込 決勝

申込規定

1) 資格

●個人種目

以下の①から③の全てを満たす者で、各ブロックの参加枠数（別表記載）の範囲でエントリーすることができる。

- ① 競技者は(公財)日本水泳連盟競技者登録（2024年度）完了者であること。
- ② ①と同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了していること。
- ③ ブロック予選会において以下の標準点を突破（同点可）していること。

	区分	種目	標準点数		区分	種目	標準点数
男子	9～11歳	1m飛板飛込	150点	女子	9～11歳	1m飛板飛込	150点
	12～13歳	1m飛板飛込	220点		12～13歳	1m飛板飛込	190点
		高飛込	195点			高飛込	165点
	14～15歳	3m飛板飛込	275点		14～15歳	3m飛板飛込	250点
		高飛込	255点			高飛込	225点
	16～18歳	3m飛板飛込	370点		16～18歳	3m飛板飛込	305点
		高飛込	340点			高飛込	275点

● 3mシンクロ飛板飛込

エントリーするチームの両名ともに、個人競技種目の条件を満たしていること。

※参加申込締め切り後やむを得ない事由により、どちらかの選手が出場できない場合、監督者会議以前であれば選手の交替を認める。ただし、競技参加基準を満たしていること。

個人表彰・団体表彰

1) 個人表彰

最優秀選手賞 男女各1名にJOCジュニアオリンピックカップを授与する。

優秀選手賞 男女各1名に優秀選手賞を授与する。

その選考基準は次の通りとする。

- ①各競技種目優勝者および2位の選手の標準点数達成率（得点合計÷標準点×100）を算出し、男女別に、その数値の最も高い者を最優秀選手、次の数値を得た者を優秀選手とする。（小数点第3位を四捨五入し、小数第2位まで算出する）
- ②標準点達成率が同じ場合は次の順に従って決定する。
ア. 得点の平均値（得点合計÷演技数）が高い者。 イ. 1演技種目について最も高い得点を得た者。

2) 団体表彰 クラブ対抗とし、男女各総得点の1位には優勝カップ、2位には準優勝カップを授与する。

①個人競技は、1位10点、2位7点……8位1点を与える。

シンクロ競技は、1位12点、2位10点、……6位2点を与え、所属が異なる場合は得点を2分割する。

②総得点と同じ場合は次の順に従って決定する。

- ア. 入賞者の多いクラブ（個人競技8位まで）
 イ. 個人競技1位の数が多いクラブ
 ウ. 個人競技2位の数が多いクラブ（以下8位までこれにならう。但し、シンクロ競技は6位までとする）
 エ. クラブの入賞者の得点合計の平均値が高いクラブ（小数第3位は四捨五入し、小数第2位まで算出する。但し、シンクロ競技は対象外とする）
 オ. クラブの入賞者の中で一演技について最も高い得点を得た者が所属するクラブ（但し、シンクロ競技は対象外とする）
 補1）ア、イ、ウについては、対象チームを構成する「クラブ所属数」を当該入賞者数とする（同一クラブの2人で構成するチームは、所属人数「2」をチームの当該数とする）

(別表)

		9-11歳	12-13歳		14-15歳		16-18歳	
		飛板	飛板	高飛	飛板	高飛	飛板	高飛
男子	北海道	3	3	3	3	3	3	3
	東北	3	3	3	3	3	3	3
	関東	3	4	4	4	4	3	4
	北信越	4	3	5	5	4	7	7
	東海	4	3	3	5	5	4	5
	近畿	5	3	3	3	3	3	3
	中国	5	6	5	5	5	3	3
	四国	4	4	4	3	3	4	4
	九州	3	6	5	4	5	5	3
女子	北海道	3	3	3	3	3	3	3
	東北	3	5	5	3	5	3	3
	関東	4	3	5	5	6	6	6
	北信越	3	4	5	4	4	3	4
	東海	4	4	3	3	3	4	4
	近畿	4	4	3	4	3	3	3
	中国	4	4	3	4	4	4	4
	四国	6	5	5	4	3	5	4
	九州	4	3	3	4	4	4	4

この別表は各ブロック3名に加えて、2023年度本大会において8位までの入賞選手を輩出したブロックにその人数の枠数を付与したものである。

以上

第47回（2024年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ（春季大会）

開催場所：栃木県・日環アリーナ栃木

競技期間：3月29日（土）～3月30日（日）

年齢区分

以下の4区分で実施する。（参加年齢の決定は2024年12月31日における満年齢による。）

- 1) 9歳～11歳 2) 12歳～13歳 3) 14歳～15歳

競技種目

・男子

- 1) 9～11歳 1m飛板飛込 6演技種目（4つ以上の群より選択）
制限選択飛（難易度合計 5.4以内） 異群より3演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 2) 12～13歳 1m飛板飛込 8演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 3) 12～13歳 3m飛板飛込 8演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 4) 14～15歳 1m飛板飛込 9演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より4演技
- 5) 14～15歳 3m飛板飛込 9演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より4演技

・女子

- 1) 9～11歳 1m飛板飛込 6演技種目（4つ以上の群より選択）
制限選択飛（難易度合計 5.4以内） 異群より3演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 2) 12～13歳 1m飛板飛込 7演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より2演技
- 3) 12～13歳 3m飛板飛込 7演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 異群より5演技 / 自由選択飛 異群より2演技
- 4) 14～15歳 1m飛板飛込 8演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.0以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技
- 5) 14～15歳 3m飛板飛込 8演技種目
制限選択飛（難易度合計 9.5以内） 各群より5演技 / 自由選択飛 異群より3演技

競技日程

3月29日（土）

1. 女子（9～11歳）1m飛板飛込 2. 男子（12～13歳）3m飛板飛込 3. 女子（12～13歳）1m飛板飛込
4. 男子（14～15歳）3m飛板飛込 5. 女子（14～15歳）1m飛板飛込

3月30日（日）

6. 男子（9～11歳）1m飛板飛込 7. 女子（12～13歳）3m飛板飛込 8. 男子（12～13歳）1m飛板飛込
9. 女子（14～15歳）3m飛板飛込 10. 男子（14～15歳）1m飛板飛込

競技方法

- 1) 決勝競技のみ行う。
2) 最終順位は、決勝競技の得点合計により決定する。

申込規定

1) 資格

以下の①～③の基準を満たす者。（1m・3mに限らず該当者は両種目にエントリーできる。）

- ① 競技者は（公財）日本水泳連盟競技者登録（2024年度）完了者であること。
② ①同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了していること。
③ 以下の基準のいずれかを満たすこと。

イ. 2024年度JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会にエントリーする資格を有する競技者。

ロ. 2024年度全国中学校体育大会・日本高等学校体育大会・国民スポーツ大会・日本選手権に出場した者。

ハ. 本大会において男女各1名上記イ・ロの基準を満たす者がいない都道府県は、男女各1名をエントリー資格者として各都道府県水泳連（協会）から推薦できる。またイ・ロの資格を満たす者が男女どちらか一方いる場合でも、資格を満たす者がいない方について推薦できる。

個人表彰・団体表彰

1) 個人表彰（最優秀、優秀選手賞の決定）

- ① 男女別に各競技種目の1位と2位の選手の得点合計を標準点数で割った数値を算出し、その数値のもっとも高い男女各1名に最優秀選手賞、次の数値を得た男女各1名に優秀選手賞を授与する。
- ② 得点率が同じ場合の順位決定
 - ア. 得点の平均値の高いもの。（得点合計を演技数で割る）
 - イ. 1演技の得点の最も高いもの。

2) 団体表彰

- ① クラブ対抗とし、男女各総得点の1位には優勝カップ、2位には準優勝カップを授与する。
- ② 個人競技は、1位10点、2位7点……8位1点を与える。
- ③ 総得点と同じ場合は次の順に従って決定する。
 - ア. 入賞者の多いクラブ（個人競技8位まで）
 - イ. 個人競技1位の数が多いクラブ
 - ウ. 個人競技2位の数が多いクラブ（以下8位までこれにならう。）
 - エ. 当該入賞者の得点合計の平均値が高いクラブ（小数第3位は四捨五入し、小数第2位まで算出する。）
 - オ. 当該入賞者の中で1演技について最も高い得点を得た者が所属するクラブ

以上

第92回（2024年度日本高等学校選手権）

開催場所：大分県・別府市営青山プール

実施期間：8月17日（土）～20日（火）

競技種目

男子	3m飛板飛込	10演技種目（制限選択飛	難易計 9.5以内	各群より5演技／自由選択飛	各群より5演技）
	高飛込	9演技種目（制限選択飛	難易計 7.6以内	異群より4演技／自由選択飛	異群より5演技）
女子	3m飛板飛込	9演技種目（制限選択飛	難易計 9.5以内	各群より5演技／自由選択飛	異群より4演技）
	高飛込	8演技種目（制限選択飛	難易計 7.6以内	異群より4演技／自由選択飛	異群より4演技）

競技方法

- 1) 参加選手16名以上の競技種目は、予選競技を行う。
- 2) 予選競技における演技種目は、自由選択飛とする。
- 3) 予選競技の競技順は、地域大会における得点の低い順に行う（抽選は行わない）。
- 4) 決勝競技進出者は予選競技上位12位までの選手とし、13位、14位の選手をリザーブとする。決勝競技進出者に棄権者が出た場合は、リザーブより繰上げを行い、12名を確保する。
- 5) 決勝競技における演技種目は、制限選択飛・自由選択飛で行う。ただし、決勝競技における自由選択飛演技種目は予選競技終了後30分以内であれば変更を認める。
- 6) 最終順位は、決勝競技の得点合計によって行う。

競技日程

8月17日（土）	女子高飛込／男子3mシンクロナイズド飛板飛込（公開競技）
8月18日（日）	男子3m飛板飛込／女子3mシンクロナイズド飛板飛込（公開競技）
8月19日（月）	女子3m飛板飛込
8月20日（火）	男子高飛込

申込規定

- 1) 資格 以下の①～③の全てを満たす者。
 - ① 競技者は日本水泳連盟競技者登録（2024年度）完了者であること。
 - ② ①同様に競技者が所属する団体も団体登録が完了していること。
 - ③ 以下のいずれかにも条件を満たす者。
 - イ. 地域大会の当該競技種目において、以下の標準点を突破（同点可）していること。
《標準点数》

男子3m飛板飛込	293点	女子3m飛板飛込	256点
男子高飛込	259点	女子高飛込	231点
 - ロ. 全国大会開催都道府県特別措置
地域大会において全国大会開催都道府県に本大会出場資格者がいない場合、その当該競技種目において成績上位の選手男女1名を全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟および加盟団体で推薦することができる。
 - ハ. 全国大会特別出場処置
国際大会の代表選手は地域予選会を経なくとも出場できる。
- 2) エントリー制限 1校1種目3名以内

第64回（2024年度）全国中学水泳競技大会 案（抜粋）

開催場所：石川県・金沢プール

実施期間：8月17日（土）～8月19日（月）

競技種目

男子	3m飛板飛込	9演技種目（制限選択飛	難易計 9.5以内	各群より5演技／自由選択飛	異群より4演技）
	高飛込※	8演技種目（制限選択飛	難易計 7.6以内	異群より4演技／自由選択飛	異群より4演技）
女子	3m飛板飛込	8演技種目（制限選択飛	難易計 9.5以内	各群より5演技／自由選択飛	異群より3演技）
	高飛込※	7演技種目（制限選択飛	難易計 7.6以内	異群より4演技／自由選択飛	異群より3演技）

※高飛込においては、男女ともに総演技種目において5つ以上の群より選択しなければならない。

※男女高飛込の競技においては、すべての学年で10mまでの高さを選択できる。

競技方法

- 1) 予選競技・決勝競技を行う。
- 2) 予選競技は、制限選択飛と自由選択飛で行う。
- 3) 決勝競技進出者は、予選競技上位12位までの選手とし、13位、14位の選手をリザーブとする。決勝競技進出者決定後、棄権者が出た場合にはリザーブより繰り上げを行い、12名を確保する。
- 4) 決勝競技における競技順は、予選競技の下位の選手からとする。
- 5) 最終順位は、予選競技における制限選択飛と決勝における自由選択飛との得点合計により決定する。

競技日程

8月17日（土）	女子高飛込予選競技／女子高飛込決勝競技
8月18日（日）	男子高飛込予選競技／女子3m飛板飛込予選競技／男子高飛込決勝競技
8月19日（月）	男子3m飛板飛込予選競技／女子3m飛板飛込決勝競技／男子3m飛板飛込決勝競技

申込規定

- 1) 資格 以下の①～③のいずれかを満たす者。
 - ①各都道府県大会の当該競技において標準点数を突破（同点可）した者。
《標準点数》

男子3m飛板飛込	282点（自由選択飛135点）	女子3m飛板飛込	247点（自由選択飛100点）
男子高飛込	255点（自由選択飛140点）	女子高飛込	220点（自由選択飛105点）
 - ②全国大会開催都道府県に限り、当該競技種目の予選会優勝者。
 - ③代表選手特別処置
国際大会等の代表選手は、都道府県予選会を経なくても本大会に出場出来る。

以上

(2024年度) 国民スポーツ体育大会 案 (抜粋)

開催場所：佐賀県・SAGAアクア

競技期間：9月14日(土)～9月16日(月)

競技種目

成年男子 3m飛板飛込 自由選択飛 (各群より6演技種目) / 高飛込 自由選択飛 (各群より6演技種目)
成年女子 3m飛板飛込 自由選択飛 (各群より5演技種目) / 高飛込 自由選択飛 (異群より5演技種目)
少年男子 3m飛板飛込 自由選択飛 (各群より5演技種目) / 高飛込 自由選択飛 (異群より5演技種目)
少年女子 3m飛板飛込 自由選択飛 (異群より4演技種目) / 高飛込 自由選択飛 (異群より4演技種目)

競技方法

決勝競技のみ行う。

競技日程

9月14日(土) 1. 少年女子高飛込 2. 少年男子飛板飛込 3. 成年女子高飛込
9月15日(日) 4. 少年女子飛板飛込 5. 少年男子高飛込 6. 成年男子飛板飛込
9月16日(月) 7. 成年女子飛板飛込 8. 成年男子高飛込

申込規定

1) 資格

1. 当該年度の以下の指定競技会の成績により(公財)日本水泳連盟に予備エントリーをし、各都道府県に配分された枠数の範囲内で、本エントリーできる。

・成年男子、成年女子

①関東選手権 ②関西選手権

・少年男子、少年女子

②高等学校選手権地域大会 ②全国JOC夏季ジュニアオリンピックカップブロック予選会

2. (公財)日本スポーツ協会が定める、国民体育大会参加資格の特例措置で「トップアスリート特別枠」に選出された選手は、予選会を免除する。

⇒予備エントリーに関する取扱は、「国民スポーツ大会(水泳・飛込)の予備エントリー要領」を参照すること。

2) 標準点数 前項の競技会において以下の標準点数を突破(同点可)すること。

種別		演技数	飛板飛込	高飛込
成年	男子	6演技	240	230
	女子	5演技	175	175
少年	男子	5演技	165	165
	女子	4演技	125	125

3) 年齢区分

・成年 2006年4月1日以前に生まれた者。

・少年 2006年4月2日以降、2010年4月1日までに生まれた者。

4) 制限

1 都道府県 各競技種目1名 合計4名以内。

※選手は1人2種目(飛板飛込、高飛込)までエントリーすることができる。ただし、指定された予選会に出場し標準点を突破していること。

以上

審判部 目次

1. 2023 年度 飛込競技公認審判員資格更新手続きについて
2. 2023 年度 審判員登録者の種別と分布
3. 2023 年度 ・ 2024 年度 更新対象者名簿
4. 2023 年度 全国主要競技大会審判員一覧
5. 2022 年-2023 年 審判員研修会・審判実績一覧表
6. 2023 年度 飛込競技公認審判員資格規定
7. 飛込審判員登録申請書_改訂版
8. World Aquatics Judges List
9. 2023 世界選手権福岡大会報告書
10. World University Games - Chengdu Report
11. The 19th Asian Games - Hangzhou Report
12. World Aquatics Diving World Cup 2023 - Montreal Report

1 . 飛込競技公認審判員資格更新手続きについて

登録申請の手続き

1. 登録申請者

申請用紙(A ・ B)に必要事項を記入し、加盟団体飛込競技担当責任者に登録料 4,000 円を添えて手続きをしてください。

2. 加盟団体飛込競技担当者

登録申請者全員の申請用紙ならびに登録料をまとめて加盟団体に提出してください。

3. 下記の書類を 2024(令和6年) 3月末までに公益財団法人日本水泳連盟飛込委員会宛に郵送し、登録料を『登録料等の送付について』に記載の口座に振り込んでください。

- ・ 審判登録申請書 (A ・ B)(押印必須)
- ・ 登録料の送付について
- ・ 振込利用明細のコピー

4. 昇格申請について

事前に資格審査が必要です。「飛込競技公認審判員資格規定」で条件を満たしていることを確認した後、至急日本水泳連盟飛込委員会審判部 金戸 まで連絡をお願い致します。

資格審査委員会は年に2度(10 月と 1 月)しか開催されないため、年度内に昇格したい場合は遅くても 11 月末までに飛込委員会審判部に申請していただき、12 月の飛込委員会の承認を経て 1 月の資格審査委員会へ提出する流れになりますのでご注意ください。

5. 新規登録について

新規申請については資格審査委員会で審査するのではなく飛込委員会で承認されますので希望者がいる場合は審判部 金戸 まで連絡をお願い致します。

6. 申請書及び資格規定について

日本水泳連盟ホームページ右下の「資料 ・ 各種申請書」→審判関係→「【飛込】公認審判員申請書」の PDF ファイルに申請用紙 (A ・ B) 及び「飛込競技公認審判員資格規定」がまとめてアップロードされています。ダウンロードしてご利用ください。

申請者	加盟団体	日本水泳連盟	
		飛込委員会審判部	資格審査委員会
資格・昇格の意向	→	→	
	←	←	
	→	→	
申請書等の提出 (更新も含む)	←	←	
		とりまとめ 結果の連絡 受理 「資格証」の送付	資格審査 (10月・1月)

「申請についての確認事項」

- ① 競技役員の有効期限切れの方は、至急競技役員登録をお願いします。
- ② A・B級は、公認審判員中央研修会受講、C級は中央研修会または伝達研修会受講が必要です。ご注意ください。(伝達研修会を今後実施予定の加盟団体は実施計画書を送ってください。伝達研修会実施後は、1週間以内に伝達研修会報告書を飛込委員会審判部まで送ってください。)

公認審判員中央研修会のブロック開催について

審判技術向上のため、公認審判員は年1回以上の研修を受講する義務があり、特に A・B 級審判員は飛込委員会が主催する中央研修会を必ず受講しなければなりません。しかし、それまで開催していた東京と大阪の2会場だけでは、公務の都合で参加不可能な場合もあり、資格維持が困難な状況も出てきています。

そこで、2009 年度に審判部として中央研修会を希望するブロックに対して開催を可能にしました。

また、C 級の審判員も受講することで、直ちに中央や国際審判の情報も吸収し、さらに審判技術の向上と徹底を図っていただきたいと思います。

記

- ① 各ブロックは、中央研修会開催の申請ができる。
 - ② 実施に関しては、審判部との協議により決定する。但し、実施不可の場合もありえる。研修内容は、講義・テスト・審判実技(模擬審判を含む)をセットとするため、できるだけ競技会時に開催することが望ましい。全国大会開催の前に実施することが望ましいため、7 月までの地域予選会等での実施を推奨する。特に 2024 年はオリンピックが開催される都合から、7 月 20 日(土)までの開催をお願いしたい。
 - ③ 開催希望のブロックは最低でも15名の受講生を募り、受講料は 4,000 円とする。
 - ④ 講師にかかる費用(交通費・食費など)、会場利用料、資料の印刷代などは日本水泳連盟が支払う。
 - ⑤ 希望するブロックは、2 月末までに日本水泳連盟審判部まで申請すること。
 - ⑥ 妊娠中、出産後など研修会に参加が難しい場合は**審判部 金戸**までお知らせください。
- ※ 尚伝達研修会も基本的に、講義＋審判実技＋テストの形式で行うようご協力ください。資料は下記連絡先まで連絡いただければデータでお渡しします。

連絡先 金戸 幸

電話 090-3907-0681

E-mail yukikaneto@me.com

2. 2023年度 審判員登録者の種別と分布

2023.12現在

コード	都道府県	資格			
		A級	B級	C級	計
1	北海道	0	2	2	4
2	青森	0	0	0	0
3	岩手	0	1	2	3
4	宮城	2	1	2	5
5	秋田	0	1	3	4
6	山形	1	1	7	9
7	福島	4	3	8	15
8	茨城	4	6	3	13
9	栃木	3	0	2	5
10	群馬	3	2	7	12
11	埼玉	5	0	6	11
12	千葉	1	2	0	3
13	東京	7	3	4	14
14	神奈川	2	0	2	4
15	山梨	0	0	0	0
16	長野	2	1	2	5
17	新潟	3	1	0	4
18	富山	2	0	13	15
19	石川	6	8	5	19
20	福井	0	0	1	1
21	静岡	4	3	6	13
22	愛知	2	3	9	14
23	三重	1	1	10	12
24	岐阜	0	0	3	3

コード	都道府県	資格			
		A級	B級	C級	計
25	滋賀	0	1	2	3
26	京都	1	1	0	2
27	大阪	5	2	5	12
28	兵庫	7	0	3	10
29	奈良	2	2	1	5
30	和歌山	0	1	1	2
31	鳥取	2	2	2	6
32	島根	1	4	2	7
33	岡山	2	2	8	12
34	広島	1	4	3	8
35	山口	0	0	0	0
36	香川	1	0	1	2
37	徳島	0	0	0	0
38	愛媛	0	0	0	0
39	高知	1	3	1	5
40	福岡	2	2	6	10
41	佐賀	0	2	2	4
42	長崎	0	0	0	0
43	熊本	0	0	0	0
44	大分	1	1	0	2
45	宮崎	0	1	0	1
46	鹿児島	0	2	1	3
47	沖縄	0	2	2	4
合計		78	71	134	283

合計283名

3. 2023年度(公財)日本水泳連盟 主要競技 飛込競技 審判団一覧表

大会名	翼ジャパン		日本高校		全国中学		全国JO夏季		学生選手権		国民体育大会		全国JO春季	
期 日	4月6日(木)～4月9日(日)		8月17日(木)～8月19日(土)		8月17日(木)～8月19日(土)		8月22日(火)～8月25日(金)		9月9日(土)～9月10日(日)		9月18日(月)～9月20日(水)		3月29日(金)～3月30日(土)	
場 所	東京都		栃木県・宇都宮		香川県・高松		大阪府・大阪		大阪府・大阪		鹿児島県・鹿児島		栃木県・宇都宮	
	東京アクアティクスセンター		日環アリーナ宇都宮		県立総合プール		丸善インテック大阪プール		丸善インテック大阪プール		鴨池公園水泳プール		日環アリーナ宇都宮	
飛込委員長	野村 孝路	委員会	野村 孝路	委員会	金戸 幸	委員会	野村 孝路	委員会	金戸 幸	委員会	野村 孝路	委員会	野村 孝路	委員会
審 判 長	金戸 幸	委員会	大久保一司	委員会	金戸 幸	委員会	金戸 幸	委員会	金戸 幸	委員会	大久保一司	委員会	金戸 幸	委員会
副審判長 1	浅田 雅子	委員会	浅田 雅子	委員会	伊藤 正明	委員会	中川 真依	委員会	畑岡 寿	委員会	金戸 幸	委員会	浅田 雅子	委員会
副審判長 2	伊藤 正明	近 県	中山 藍奈	近 県	山崎 雅夫	近 県	山崎 雅夫	近 県	山崎 雅夫	近 県	伊藤 正明	近 県	布村 隆	近 県
ジャッジ 1	布村 隆	近 県	池本 友馬	委員会	都築 正治	近 県	小谷理貴子	委員会推薦	河合 研司	近 県	今堀 雄二	近 県	伊藤 正明	近 県
ジャッジ 2	谷内 覚	近 県	関口 拓朗	近 県	和田 雅	近 県	下山 京子	近 県	増田 圭亮	近 県	西元 敬二	近 県	関口 拓朗	近 県
ジャッジ 3	毒島めぐみ	近 県	佐藤 律樹	北海道	木綿 薫	近 県	三浦 房子	近 県	毒島 泰士	帯 同	柴岡 二郎	近 県		コーチ
ジャッジ 4	鈴木 羊子	東 海	小野寺光喜	東 北	江川 優子	東 北	皆川 義博	帯 同	伊熊 豊和	帯 同	寺田 裕樹	東 北		コーチ
ジャッジ 5	川城 智亮	北信越	田邊佐央理	関 東	鈴木 義雄	関 東	藤原 浩	帯 同	藤井 明光	帯 同	布村 隆	関 東		コーチ
ジャッジ 6	阿部しげの	近 畿	山田 立	東 海	湯浅よしの	東 海	明石 人嗣	帯 同	瓦井 健二	帯 同	鈴木 羊子	東 海		帯 同
ジャッジ 7	小谷理貴子	コーチ	岡部美恵子	北信越	西出 好範	北信越	西川 友章	帯 同	坂井 弘靖	帯 同	西出 好範	北信越		帯 同
ジャッジ 8	水尾 亨	コーチ	中島 勝司	近 畿	瓦井 光子	近 畿	瓦井 健二	帯 同	小林 和真	帯 同	河合 研司	近 畿		帯 同
ジャッジ 9	坂井 弘靖	コーチ	服部 健一	中 国	三浦 房子	中 国	坂田 和也	帯 同	湯浅よしの	帯 同	安永 三郎	中 国		帯 同
ジャッジ 10	松本 行夫	コーチ	笠松真利子	四 国	秋山真有美	四 国	中山 拓弥	帯 同	三浦 房子	帯 同	都築 正治	四 国		帯 同
ジャッジ 11	金戸 恵太	コーチ	柴岡 三郎	九 州	西元 敬二	九 州	岡部 優	帯 同	谷内 覚	帯 同				帯 同
ジャッジ 12	安田千万樹	コーチ					村上 和基	帯 同	松本 行夫	帯 同				帯 同
ジャッジ 13	瓶子勇治郎	コーチ					毒島めぐみ	帯 同	鈴木 羊子	帯 同				帯 同
ジャッジ 14	茶木 康寛	コーチ					大竹 章人	帯 同	横山 健	帯 同				帯 同
ジャッジ 15	内藤 直樹	コーチ					荒木 駿図	帯 同	下山 京子	帯 同				帯 同
ジャッジ 16	内藤 英樹	コーチ					山本 泰子	帯 同	瓦井 光子	帯 同				帯 同
ジャッジ 17	大塚奈保美	コーチ					中しず玖	帯 同	吉田 理知	帯 同				帯 同
ジャッジ 18	坂井由美子	コーチ					横山 健	帯 同	秋山真有美	帯 同				帯 同
ジャッジ 19	岡部 優	コーチ					長谷川英二	帯 同	服部 健一	帯 同				帯 同
ジャッジ 20	荒木 駿図	コーチ					湯浅よしの	帯 同	重永美希子	帯 同				帯 同
ジャッジ 21	中川 真依	コーチ					池田 庸祐	帯 同	荒木 駿図	帯 同				帯 同
ジャッジ 22	百千田幸太郎	コーチ					田邊誠太郎	帯 同						帯 同
ジャッジ 23	原口 進也	コーチ					森岡 大成	帯 同						帯 同
ジャッジ 24							横木 翔	帯 同						
ジャッジ 25							百千田幸太郎	帯 同						
ジャッジ 26							服部 健一	帯 同						
ジャッジ 27							内藤 直樹	帯 同						
ジャッジ 28							瓶子笑里佳	帯 同						
ジャッジ 29							秋山真有美	帯 同						
ジャッジ 30							原口 進也	帯 同						
ジャッジ 31							茶木 康寛	帯 同						
ジャッジ 32							山下万喜子	帯 同						
記 録 1	松野輝美	委員会	伊地知健	委員会	矢作 貴則	委員会	寺前 恵子	委員会	戸田 洋	委員会	伊地 知健	委員会	寺前 恵子	委員会
記 録 2	矢作貴則	委員会	宮路 泉	委員会	黒田美恵子	委員会	矢作 貴則	委員会	齋藤 愛香	委員会	黒田美恵子	委員会	矢作 貴則	委員会
記 録 3	伊地知健	委員会					黒田美恵子	委員会					黒田美恵子	委員会
記 録 4	黒田美恵子	委員会						委員会						委員会

競技会		級	研修実績	翼JAPAN	日本選手権	日本高校	全国中学	全国JO	日本学生	国体	春季JO	国際大会
年度			23	23	23	23	23	23	23	23	22	22・23
氏名	加盟団体	級										
祖根 裕己	北海道	B	北信越									
佐藤 律樹	北海道	B	関東			●						
森木 義雄	北海道	C	伝達									
澤田 猛美	北海道	C	伝達									
駒谷 善吾	岩手	B	東北									
小笠原 大輔	岩手	C										
笠井 学	宮城	A	東北									
跡邊 裕之	宮城	A	東北									
高橋 志歩	宮城	B	レポート									
黒木 美枝	宮城	C										
高橋 一哉	宮城	C										
寺田 裕樹	秋田	B	東北							●		
仲谷 正紀	秋田	C	東北									
田中 克尚	秋田	C	伝達									
松淵 公明	秋田	C	伝達									
藤原 浩	山形	A	東北						●			
松本 克哉	山形	C	東北									
皆川 義博	山形	C	東北						●			
井上 芽依	山形	B	東北									
山田 舞衣子	山形	C										
山本 晃平	山形	C										
町田 裕介	山形	C										
大場 智貴	山形	C										
松本 駿	山形	C										
江川 省吾	福島	A	東北									
小野寺 光喜	福島	A	東北			●						
江川 優子	福島	A	東北				●					
西川 友章	福島	A	関西					●				
矢作 貴則	福島	B	東北									
西川 今日子	福島	C										
大島 恭子	福島	B	東北									
明石 人嗣	福島	B	東北					●				
今野 菜見	福島	C										
川崎 勇太	福島	C	東北									
管 篤	福島	C	東北									
栗田 明海	福島	C	東北									
鷲森 淳	福島	C										
伊藤 強	福島	C										
本田 元彦	福島	C										
畑岡 寿	茨城	A	関東						●			
大久保 一司	茨城	A	関東			●				●		
吉原 直博	茨城	A	免除									
坂田 和也	茨城	A	関東		●			●				
鈴木 義雄	茨城	B	関東				●					
関口 拓朗	茨城	B	関東			●				●		
田邊 佐央理	茨城	B	関東			●						
渡邊 雅子	茨城	C										
畑岡 映美	茨城	B	関東									
中山 拓弥	茨城	C						●				
小林 和真	茨城	B	関東						●			
坂田 由貴	茨城	C	関東									
南雲 尚子	茨城	B	関東									
布村 隆	栃木	A	関東	●	●					●	●	

鈴木 義孝	栃木	A	関東		●								
松本 行夫	栃木	A	関東	●	●				●				
桑川 明史	栃木	C	関東										
上野 太助	栃木	C											
野村 孝路	群馬	A	関東										
高橋 史倫	群馬	A	関東										
岡部 優	群馬	A	関東	●	●			●					
石原 歩	群馬	B	レポート										
高山 愛彩	群馬	B	レポート										
加藤 豪也	群馬	C											
石原 いづ美	群馬	C											
齋藤 恭介	群馬	C											
後藤 福寿	群馬	C											
佐藤 セツ子	群馬	C											
角田 由美子	群馬	C											
二木 大樹	群馬	C	関東										
木村 勉	埼玉	A	伝達										
小谷 理貴子	埼玉	A	関東	●	●			●					
前田 雅博	埼玉	C											
水尾 亨	埼玉	A	レポート	●									
千葉 裕司	埼玉	A	関東										
山岸 勲	埼玉	C	伝達										
保科 美加子	埼玉	C	伝達										
名東 真樹	埼玉	A	レポート										
橋本 光晴	埼玉	C											
石川 剛	埼玉	C	関東										
大久保 剛	埼玉	C	伝達										
谷内 覚	千葉	A	レポート	●	●				●				
関口 大輝	千葉	B	レポート										
森嶋 敏仁	千葉	B	免除										
伊藤 正明	東京	A	関東	●	●		●		●		●		
金戸 幸	東京	A	特免	●	●		●	●	●	●	●	●	●
中村 小松	東京	A	免除										
毒島 泰士	東京	A	レポート						●				
毒島 めぐみ	東京	A	関東	●	●			●					
金戸 恵太	東京	A	関西	●	●								
飯沼 きよみ	東京	B	関東										
藤井 明光	東京	B	関東						●				
中山 藍奈	東京	A	レポート				●						
池本 友馬	東京	B	関東				●						
戸田 洋	東京	C											
藤内 依理子	東京	C	関東										
村上 和基	東京	C	伝達						●				
大久保 柊	東京	C	伝達										
坂井 弘靖	神奈川	A	関東	●	●				●				
坂井 由美子	神奈川	A	関東	●									
黒田 美恵子	神奈川	C	伝達										
渡邊 由稀那	神奈川	C	伝達										
岡部 美恵子	長野	A	関東				●						
寺島 美千代	長野	A	関東										
西山 達也	長野	C											
島田 佐由理	長野	B	関東										
長谷川 英治	長野	C	関東						●				
川城 智亮	新潟	A	北信越	●									
石沢 孝行	新潟	A	北信越										
荒木 駿凶	新潟	A	北信越	●	●			●	●				
大竹 章人	新潟	B	北信越					●					

飛込競技公認審判員資格規程

第1条 目的

この規程は財団法人日本水泳連盟（以下、「本連盟」という）公認競技役員資格規程第2条4項「審判員制度」に基づき、飛込競技公認審判員（以下、「公認審判員」という）の資格に関する基準を定め、判定が公正かつ公平になされるために必要とする知識、技能を習得させ、合わせて飛込競技を奨励し、普及発展に寄与することを目的とする。

第2条 種別

本連盟が公認する審判員資格の種別は次の通りとする。

1. 飛込競技A級審判員（以下、「A級審判員」という）
2. 飛込競技B級審判員（以下、「B級審判員」という）
3. 飛込競技C級審判員（以下、「C級審判員」という）

第3条 種別による競技会参加制限

1. 公認審判員の資格を取得していない者は、本連盟または加盟団体が主催する「公式競技会」、本連盟または加盟団体が公認する「公認競技会」での審判はできない。
2. A級審判員はすべての公式競技会ならびに公認競技会での審判ができる。
3. B級審判員は日本選手権水泳競技大会、翼ジャパンダイビングカップ、国際大会代表選手選考会を除く、公式競技会ならびに公認競技会での審判ができる。
4. C級審判員は日本選手権水泳競技大会、翼ジャパンダイビングカップ、国際大会代表選手選考会、全国中学校水泳競技大会、日本高等学校選手権水泳競技大会、日本学生選手権水泳競技大会、国民体育大会を除く公式競技会ならびに公認競技会での審判ができる。

5. 本連盟が主催する競技会における審判員の年齢は70歳までとする。(誕生日を迎える年度の3月31日まで。但し地域大会はその限りではない。)
6. 特例は別に定める。

第4条 資格審査

1. 資格審査は公認審判員として必要な、競技に関する専門知識、実務経験の有無、および実務内容について行う。
2. 審判実務内容が著しく劣る者は、審査の結果下位の資格に変更することがある。
3. 本連盟飛込委員会で予備資格審査を行い、本連盟資格審査委員会(以下、審査会という)に推薦する。
4. 審査会の審査により適格と認められた者に公認審判員資格証を交付する。

第5条 申請条件

1. C級審判員の資格申請ができる者は次の各号のすべてに該当し、加盟団体の推薦を得た者とする。
 - ①満20歳以上の者。
 - ②本連盟の公認競技役員登録者。
 - ③本連盟主催または公認審判研修会を1年以内に受講した者。
 - ④下記項目のいずれかに該当する者。
 - イ、競技者として公式競技会に出場経験を有する者。
 - ロ、競技役員として実務経験を有する者。
 - ハ、競技者の指導経験を有する者。
 - ⑤本連盟主催の大会または各加盟団体主催の大会のうち、2大会において模擬審判(個人競技、シンクロナイズド競技の両方)をし、飛込委員会の審査によりの確と認められた者。
2. B級審判員に昇格申請ができる者は次の各号のすべてに該当し、加盟団体の推薦を得た者とする。

- ①満 23 歳以上の者。
- ②本連盟の公認競技役員登録者。
- ③中央研修会または伝達研修会を 1 年以内に受講した者。
- ④下記項目のいずれかに該当する者。

イ、C 級審判員登録後 4 年以上経過し、その間に公式競技会で 4 回以上（全国大会で 2 回以上を含む）の審判実務経験を有し、全国大会での審判実務や模擬審判における実務内容が、飛込委員会の審査で適格と認められた者。

ロ、競技者として本連盟主催の全国大会上位入賞の実績を有する者で、C 級審判員として 1 年以上経過し、その間に全国大会で 1 回以上の審判実務を有し、審判実務や模擬審判における実務内容が、飛込委員会の審査で適格と認められた者。

3. A 級審判員に昇格申請ができる者は次の各号のすべてに該当し、加盟団体の推薦を得た者とする。

- ①満 25 歳以上の者。
- ②本連盟の公認競技役員登録者。
- ③中央研修会を 1 年以内に受講した者。
- ④公式競技会における審判実務や模擬審判における実務内容が、飛込委員会の審査で適格と認められた者。
- ⑤下記項目のいずれかに該当する者。

イ、B 級審判員登録後 4 年以上経過し、その間に公式競技会で 6 回以上（全国大会で 4 回以上を含む）の審判実務経験を有する者。なおかつ全国大会において模擬審判と専門知識テストを受け、飛込委員会の審査によりの確と認められた者。

ロ、競技者として本連盟主催の全国大会上位入賞の実績を

有する者で、B級審判員として2年以上の審判実務経験を有し、全国大会での審判実務や模擬審判における実務内容が、飛込委員会の審査で適格と認められた者。

ハ、競技者として国際大会代表選手の実績を有する者で、B級審判員として1年以上の審判実務実績を有し、全国大会での審判実務や模擬審判における実務内容が、飛込委員会の審査で適格と認められた者。

4. 国際審判員の資格取得を新規に申請できる者は次の各号のすべてに該当し、加盟団体の推薦を得た者とする。

①本連盟公認A級審判員。

②World Aquatics主催のダイビング ジャッジ スクールを受講できる者。

第6条 登録

1. 公認審判員資格を認定された者は加盟団体を經由し、本連盟に公認審判員として登録することができる。

2. 公認審判員資格の有効期限は、申請の翌年度4月1日から4年間とする。

第7条 更新登録

1. 更新登録ができる者は、次の各号のすべてに該当しなければならない。

①登録期間中2年間に1回以上の審判実務経験を有する者。

②中央研修会または伝達研修会を1年間に1回以上受講している者。

③特例は別に定める。

2. 特別の理由により更新登録を1年間以上できなかつた場合、資格審査委員会は、下位の資格に変更することがある。

第8条 申請方法

1. 該当者が申請をする場合、申請書に登録料を添えて加盟団体

に提出する。加盟団体は押印の上、申請書 A・B 2 枚を本連盟飛込委員会審判部宛に送付する。

2. 現有公認審判員資格の有効期限内に昇格申請を行う場合、登録料の納付は不要である。この場合昇格後の公認審判員資格の有効期限はそれまで所有していた公認審判員資格の有効期限となる。
3. 資格証を再発行する場合、申請書に再発行手数料を添えて加盟団体に提出する。加盟団体は押印の上、申請書を本連盟飛込委員会審判部宛に送付する。

第9条 審判研修会

1. 公認審判員として必要な飛込競技の専門知識、および審判技術向上のため、中央研修会または伝達研修会を毎年1回以上実施する。
2. A・B級審判員は中央研修会を受講し、専門知識の確認を受けなければならない。
3. C級審判員および新規に資格の取得を希望する者は、中央研修会または伝達研修会を受講しなければならない。
4. 中央研修会を受講したA級、B級審判員は、その資料に基づき都道府県、または地域単位で伝達研修会を開催しなければならない。
5. 中央研修会はC級公認審判員の受講を妨げない。
6. 特例は別に定める。

第10条 資格の取り消し

1. 本連盟または加盟団体より審判員の委嘱を受けたにもかかわらず、特別な事由なく1年間以上審判を行わなかった場合、資格を取消すことがある。
2. 更新登録を特別な事由なく1年間以上怠った場合、その資格は消滅することがある。

3. 審判研修会を特別な事由なく受講しなかった場合、資格を取消すことがある。

第11条 付則

本規程施行のための細則は別に定める。

第12条 施行

本規程は2023（令和5）年4月1日以降開催される競技会に適用される。

＜ 飛込競技公認審判員資格規程 施行細則 ＞

飛込委員会

第1条 全国大会と上位入賞

規程第5条2項、3項にいう、本連盟主催の全国大会ならびに上位入賞とは、次の別表1の記載内容

別表1.

イ、全国大会 ロ、上位入賞

日本選手権水泳競技大会	8位以内(1mは3位)
日本室内選手権水泳競技大会	8位以内(1mは3位)
翼ジャパンダイビングカップ	8位以内
日本学生選手権水泳競技大会	8位以内
日本高等学校水泳競技大会	8位以内
全国中学校水泳競技大会	8位以内
国民体育大会	8位以内
全国JOCジュニアオリンピックカップ	8位以内

(13才以下を除く)

第2条 国際大会

規程第5条3項にいう国際大会とは、次の別表2の記載内容をいう。

別表2.

オリンピック競技大会

World Aquatics Championships

World Aquatics Diving World Cup

World Aquatics Junior Diving Championships

FISU ワールドユニバーシティゲームズ

アジア競技大会

アジア選手権

東アジアユース競技大会

東アジア競技大会

第3条 特例

1. 規程第3条6項にいう特例とは、次の競技会をいう。

本連盟飛込委員会が推薦、あるいは承認したB級審判員は、日本選手権水泳競技大会、翼ジャパンダイビングカップ、国際大会代表選手選考会において審判することができる。

2. 規程第7条1項3にいう特例とは次に定めるものとする。

実務経験のない者は、模擬審判で1回とみなす。模擬審判は日本選手権水泳競技大会、翼ジャパンダイビングカップ、国際大会代表選手選考会の各競技会等で実施する。参加希望者は、当該競技会要項に記載されている、参加申込締切日までに、本連盟飛込委員会審判部宛申し込むこと。

3. 規程第9条6項にいう特例とは次に定めるものとする。

① 本連盟主催または公認の審判研修会をやむを得ぬ事由で受講できなかった者は、その事由書を添えて、本連盟飛込委員会審判部が定めたテーマに基づいたレポートを提出することで、受講とみなす。(ただし、2年連続のレポート提出は、認めない。)

② 71歳以上のA・B級審判員は中央研修会の受講を免除する。

第4条 第8条にいう登録料は4,000円とする。

飛込競技 A級 新規登録
B級 公認審判員 更新登録 申請書
C級 昇格

フリガナ 氏名 印 男・女 (旧姓) 生年月日 年 月 日

〒 TEL ()
都・道 FAX ()
住所 府・県 e-mail @

e-mailによる更新案内の受信を希望する。(PCからのメールを受信できるように設定する必要があります)

勤務先 〒 TEL ()
所在地 都・道 FAX ()
府・県

現有資格 ▶ 公認競技役員登録番号
▶ 飛込競技公認審判員登録番号

		A・B・C					

公認審判員資格証の下4桁を除いた番号を記入してください。

競技役員並びに審判員実績 (○印をつけてください)

回数	年度	競技会	競技役員	審判員
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

審判研修会実績

年月日	会場
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	

申請者の主な競技実績 (更新登録者は記入不要です)

	年度	競技会	順位
1			
2			
3			

※公認競技役員登録をしていない方は公認審判員登録ができません。

有効期限内の昇格申請に登録料は必要ありません。

(「登録料4,000円を添えて」の部分をもで削除して申請してください)

(公財) 日本水泳連盟飛込競技公認審判員登録規定に基づき、登録料4,000円を添えて

新規登録 更新受録 申請いたします。
昇格

年 月 日

加盟団体会長 印

飛込競技責任者 印

本連盟 記入欄	受領日	年 月 日	承認印
	登録番号	A・B・C	
	公認日	年 月 日	

飛込競技 A級 新規登録
B級 公認審判員 更新登録 申請書
C級 昇格

フリガナ 氏名 印 男・女 (旧姓) 生年月日 年 月 日

〒 TEL ()
都・道 FAX ()
住所 府・県 e-mail @

e-mailによる更新案内の受信を希望する。(PCからのメールを受信できるように設定する必要があります)

勤務先 〒 TEL ()
所在地 都・道 FAX ()
府・県

現有資格 ▶ 公認競技役員登録番号
▶ 飛込競技公認審判員登録番号

		A・B・C					

公認審判員資格証の下4桁を除いた番号を記入してください。

競技役員並びに審判員実績 (○印をつけてください)

回数	年度	競技会	競技役員	審判員
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

審判研修会実績

年月日	会場
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	

申請者の主な競技実績 (更新登録者は記入不要です)

	年度	競技会	順位
1			
2			
3			

※公認競技役員登録をしていない方は公認審判員登録ができません。

有効期限内の昇格申請に登録料は必要ありません。

(「登録料4,000円を添えて」の部分をもで削除して申請してください)

(公財) 日本水泳連盟飛込競技公認審判員登録規定に基づき、登録料4,000円を添えて

新規登録
更新受録 申請いたします。
昇格

年 月 日

加盟団体会長 印

飛込競技責任者 印

本連盟 記入欄	受領日	年 月 日	承認印
	登録番号	A・B・C	
	公認日	年 月 日	

WORLD AQUATICS DIVING JUDGE LIST

	NAME	SURNAME	NAME	有効期限	Category
1	金戸 幸	KANETO	Yuki	—	A
2	浅田 雅子	ASADA	Masako	2025-12-31	A
3	毒島 めぐみ	BUSUJIMA	Megumi	2025-12-31	A
4	中川 真依	NAKAGAWA	Mai	2024-12-31	G
5	中島 勝司	NAKASHIMA	Masashi	2025-12-31	G
6	坂田 芳寛	SAKATA	Yoshihiro	2025-12-31	G
7	坂田 和也	SAKATA	Kazuya	2025-12-31	G
8	毒島 泰士	BUSUJIMA	Taishi	2025-12-31	G
9	中山 藍奈	NAKAYAMA	Ranna	2025-12-31	G
10	原口 進也	HARAGUCHI	Shinya	2025-12-31	G
11	茶木 康寛	CHAKI	Yasuhiro	2025-12-31	G
12	鈴木 義孝	SUZUKI	Yoshitaka	2025-12-31	G
13	西川 友章	NISHIKAWA	Tomoaki	2025-12-31	G
14	藤原 浩	FUJIHARA	Hiroshi	2025-12-31	G
15	笠井 学	KASAI	Manabu	2025-12-31	G

FUKUOKA 2023 World Aquatics Championship 報告

飛込国際審判員 浅田雅子

世界水泳福岡大会が7月14日より開幕した。この大会は新型コロナウイルスの影響で2度の延期が強いられている。オリンピック後2年ぶりの日本でのビックイベントに、注目度も高く飛込のチケットも完売状態だったようだ。World AquaticsではTDCも新体制となり、日本から金戸幸氏が加入し、メンバーも半分ほどが入替わり大きく様変わりした。それに伴いジャッジミーティングも今までのように話を聞くだけではなく、互いのディスカッション重視のミーティングが多く持たれた。初日のミーティングでは2人1組で互いを紹介しあうアイスブレイキングがもたれ、和やかな話しやすい雰囲気作りから始まった。毎朝1時間程度行われるミーティングでは、5~6人1組のグループに分かれビデオで演技を見ながらカテゴリーを決め、それぞれの意見をすり合わせて一つの答えを導き出す。そしてそれらの理由を発表する事を繰り返し行った。一つのイベントが終わるとジャッジはその試合を振り返り、自分たちの意見を話し合い、ジャッジに入っていない者はチームでイベントを観戦し、演技に対しての評価を話しあった。さらにジャッジが成長するために、自身の採点に関してオブザーバーと話をすることが出来る事がミーティングの中でも何度も繰り返し告げられ、試合もTDCがITOと共に演技についてディスカッションをしながら観戦するなど、今までよりTDCメンバーとジャッジの距離感が縮まったように感じた大会となった。

また今回のイベントの中で最も興味深かったのは、MIXチームイベントだった。最高4名、最低2名の同国男女のチーム編成で、1ラウンド目は3m同国の女子・男子の順、2ラウンド目は3mミックスシンクロ。3ラウンド目は10mで同国の女子・男子、4ラウンド目に10mミックスシンクロの順で行われた。会場の設定が3mと高飛込が向かい合わせとなっていたため、審判は2ラウンド終了後席を移動。本来であればジャッジナンバー通りに着席するところだが、見た目のスムーズさ



など考慮し、そのまま横にスライドする形で行われた。審判員は7名で、ミックスシンクロについては同調性に全体の印象を加え採点を行った。自身も審判に入っていたのだが、1本1本男女が入替わり、さらに種目も変わり、頭の中の切り替えが必要であったが、観覧者にとってはかなり面白い試合ではなかったかと思う。またチームとして戦っているため、盛り上がりも盛大で観客を巻き込んで会場中が沸き上がった。ジャッジも終わってみると緊張の中にも充実感があり楽しく務めることが出来たように思う。今後観るスポーツとしての魅力をもっと発信していこうとすると、このような取り組みにもチャレンジしていくことは、とても重要だと感じた。飛込競技も観るスポーツとしての変化を求められているのか？今後の方向性に注目していきたい。最後に日本で行われたこの大きなイベントに参加させていただき、沢山のことを学ばせていただいた事に感謝し、今後の日本の大会でも審判員として還元をしていきたい。

7月28日に開会式を迎えた FISU World University Games。2年間の延期を経て、中国の成都市で開会式を迎えた。空港から選手村までの高速道路は大会専用レーンが配備され、またホテルや会場では沢山のボランティアの方々が出迎えてくれ、成都空港での入国・出国までも手厚く案内してくれるなど、先に行われた福岡の世界水泳に負けないほどの素晴らしい歓迎ぶりにその舞台裏を思うと、感謝の一言では足りないほど胸が熱くなった。

大会の方は13のイベントをTDC3名(4名)とITO18名の体制で行った。今回は特にTDCはレフリー、アシスタントレフリー、オブザーバーが一人ずつ配置されたため、常に3人態勢で1日中休みなしという激務であった。試合の開始・終了時間は比較的余裕をもって組まれており、また審判員の宿泊所が会場から近かったため、朝・夕はリラックスできる時間が持てた。選手団の方は選手村と会場までがバスで1時間程の距離であり、どの国の選手・コーチ等も調整に苦労した。

また今大会は、ベルリンで行われているワールドカップ・スーパーファイナルともちょうど時期が重なったこともあり、幾つかキャンセルもあったようだ。その為参加人数も多少減り、レベルもそれほど高くはなかったのだが、その分審判員の技量が問われる大会になった。ミーティングでは世界水泳と同様、グループセッションがもたれ、試合開始ギリギリまでビデオを見て審判員同士の基準を確かめ合った。



日本選手団はメンバーであった、伊熊扇李選手が国内大会でアクシデントに見舞われ、辞退を余儀なくされるというハプニングがあったが「彼の方まで！」と、男子3名、女子2名の選手たちはより一層団結を固め大会に挑んだ。7/31 まず先陣を切って行われた男子3mシンクロには西田玲雄・山田周汰が出場。もう一つ力及ばず結果は第5位。翌日には女子1mに近藤花菜が出場。演技は悪くはなかったがもう一つ正確性が欲しいところで6位。女子高飛込に出場した山崎佳蓮は決勝で307Cの失敗が響き第5位にとどまった。しかし高難易度の種目を揃えており、十分メダルを狙える実力を持っていることを証明できた試合であった。3mMIXシンクロでは、山田・近藤組が徐々に順位を上げ4ラウンド目で4位につけていたところ、最終ラウンドでそれまで3位をキープしていた韓国チームのミスにより、銅メダルが転がり込んできた。これを皮切りに10m男子シンクロ山田・西田は一時ドイツを上回り2位に浮上するなど、安定した同調性で見事銅メダルを手にした。10mMIXシンクロ西田・山崎は始終3位のチームを上回りシンクロナイゼーションもGoodのカテゴリーをキープし、非常に良い出来栄で銀メダルを獲得。1m男子は金戸が第5位と大健闘。3m女子近藤は決勝11位で滑り込んだが、決勝では安定した演技で7位。10m男子では西田が207Bで一時順位を9位まで落としたが、その後もあきらめない演技で第5位。金戸は徐々に順位を上げ7位。そして今大会最後に行われたMIXチームイベントに西田・山崎が出場。今回は旧方式でMIXシンクロを行わない形式で行われた。それぞれ自分の演技に集中し銀メダルを獲得。最終的には男子団体第3位。女子団体第4位。このユニバーシアードにおいて全員がメダルを手にするという快挙を成し遂げた。キャプテンを務めた金戸はインタビューにおいて、飛込が出来る事への感謝・選手等をサポートしてくださる方々、大会運営をしてくださる方々への感謝を述べ、



胸にある銅メダルを握りしめた。またこの大会を迎えるまでにコロナにより一度選ばれた選手団の解散を余儀なくされるなど、幾度も困難を乗り越えて選手らをサポートしてきた瓶子・徳本両コーチには感謝しかない。選手の活躍に溢れんばかりの笑顔で応えたコーチ等にもメダルをかけてあげたい。最後に全員がメダルを手にした国際大会で審判が出来たことは、とても光栄なことであり、この場を与えてくださった方々に感謝申し上げます。

結 果

1m 男子 決勝	金戸 快	349.50	5 位
1m 女子 決勝	近藤花菜	224.10	6 位
3m 男子 準決勝	山田周汰	309.30	14 位
	金戸 快	307.65	15 位
3m 女子 決勝	近藤花菜	243.30	7 位
10m 男子 決勝	西田玲雄	405.30	5 位
	金戸 快	348.00	7 位
10m 女子 決勝	山崎佳蓮	250.25	5 位
	近藤花菜	202.85	10 位
3m 男子シンクロ	西田玲雄 山田周汰	324.60	5 位
10m 男子シンクロ	西田玲雄 山田周汰	380.76	3 位
3mMIX シンクロ	山田周汰 近藤花菜	254.40	3 位
10mMIX シンクロ	西田玲雄 山崎佳蓮	310.44	2 位
Mixed Team	西田玲雄 山崎佳蓮	342.15	2 位
男子団体	JAPAN 金戸・西田・山田	3095.20	3 位
女子団体	JAPAN 近藤・山崎	1409.09	4 位

アジア大会 2023 杭州 審判報告

2023年10月12日

中川 真依

【概要】

- 開催期間 9月30日～10月5日
- 参加国 13か国
- 参加人数 66名
- ジャッジ人数 14名
- ※ 内3名はニュートラルジャッジ
(スウェーデン、ギリシャ、ハンガリー)



【ジャッジミーティングの内容について】

(大会前日)

- 1回目のジャッジミーティングは大会前日のリーダーズミーティング後に行われた
- 前回同様、ジャッジはチームでファミリーだという事を何度も強調していた

(大会1日目)

- 7つのカテゴリーの重要性についての説明
 - ・7つのカテゴリーを瞬時に判断し、その枠内での High/Low を決定
 - ・7人のジャッジ全員が同じカテゴリー内になる事が目標
- 常にニュートラルな気持ちでジャッジする
- ジャッジの説明責任について
 - ・全ての演技において、なぜその点数を出したのかを聞かれたときに、全て説明できることが必要

(大会2日目)

- シンクロの試合についての注意事項の確認。
 - ・エキスキューションジャッジはシンクロに惑わされず1人の選手に集中すること
- ジャッジの注意点を再確認
 - ・前の演技や周りのジャッジは気にせず目の前の演技だけに集中すること

(大会3日目)

- ジャッジの注意点を再確認
- 4つのグループに分かれ、演技を見てグループディスカッション
 - ・カテゴリー、点数、理由を発表

(大会 4 日目)

- 前日の 1 m でのジャッジがかなり問題となった
 - ・全体の 8 本が 2 点以上の差、1 本は 3 点差もあったことで 3 つのカテゴリーに分かれてしまい、絶対にあってはならないことだと強く言われた
 - ・そのこともあり、ジャッジの練習を兼ねたグループディスカッションに時間をかけた

(大会 5 日目)

- 演技を見てグループディスカッション
 - ・特に逆立ちの姿勢とバランスについて
- 試合後にジャッジが 1 人ずつ別室に呼ばれ面接
 - ・今回の評価とコメント

【ジャッジをして感じたこと】

- 高さ、スピード、キレなどのインパクトがなければ最高 7 点止まり
- 高さのある演技への評価は高い
- ポジション(抱え、えび型)についても足の開きやひざの曲がりをしっかりとみられている
- 放物線(近い、遠い)についても点数にかなり影響する
- 板は助走からジャッジされているため、ハードルや踏切でバランスを崩して演技を決めても点数が伸びない

【最後に】

毎回のミーティングでカテゴリーについては何度も強調されていた。瞬時に判断しジャッジの全員が同じカテゴリー内に収まるのが目標であるが、今回はそれが特に難しく感じた。ジャッジは選手に対して絶対に平等でなくてはいけない。しかし、周りのジャッジの点数や、自国を応援する気持ちが邪魔をして混乱してしまうことが何度もあった。分からないジャッジについては、試合後に Mohamed OSMAN 氏(TDC)に聞きに行き確認した。たくさんの演技を見ているにも関わらず、どの演技に対してもきちんと説明して下さり、とても勉強になった。そして、ジャッジのあるべき姿を見せて頂いた。また機会があれば今回の経験を生かしていきたい。



World Aquatics Diving World Cup-Montreal 2023 審判報告

2023年5月11日

中川 真依

【概要】

- 開催期間 5月5日～7日
- 参加国 22か国
- 参加人数 117名
- ジャッジ人数 14名

【ジャッジミーティングの内容について】

（大会前日）

- 1回目のジャッジミーティングは大会前日のリーダーズミーティング後に行われた。

（大会1日目：8:30～9:10）

- 7つのカテゴリーの重要性についての説明
 - ✓ カテゴリーのカードを配布
 - ✓ 7つのカテゴリーを瞬時に判断し、その枠内でのHigh/Lowを決定
 - ✓ 7人のジャッジ全員が同じカテゴリー内になる事が目標
- グループディスカッション
 - ✓ 14人のジャッジが3グループに分かれ3mの演技を視聴
 - ✓ 演技の採点とその理由についてグループ討議
 - ✓ グループによって点数や意見が違った時にはかなり熱い議論に
- ジャッジの説明責任についての説明
 - ✓ 全ての演技において、なぜその点数を出したのかを聞かれたときに、全て説明できることが必要
- ジャッジ同士のコミュニケーションのため、翌日に向けた課題
 - ✓ 誰か一人の自己紹介を代わりにするよう課題が出された
 - ✓ チーム内で誰が誰の紹介をするか話し合った

（大会1日目：午後）

- シンクロの試合についての注意事項の確認。
 - ✓ シンクロは4つのボックスに大別。Good Synchro, Bad Dive > Bad Synchro, Good Dive

Good Synchro	Good Synchro
Bad Dive	Good Dive
Bad Synchro	Bad Synchro
Bad Dive	Good Dive



(大会 2 日目 : 8:30~9:10)

- 高飛込の注意点を中心に説明
 - ✓ 特に逆立ちの姿勢、静止時間、踏み切時の手が大きくずれていないかを重要視する
- 前日に出された課題の実施
 - ✓ 私の自己紹介は中国のラオ・リンが紹介、私はアメリカのエイミー・クワンの紹介

(大会 2 日目 : 午後)

- ジャッジの注意点を再確認

(大会 3 日目 : 9:15~9:45)

- ジャッジの注意点を再確認
 - ✓ 常にニュートラルな気持ちでジャッジする

(大会 3 日目 : 18:30~18:45)

- 最終試合 (チームイベント) の説明



【ジャッジをして感じたこと】

- 簡単には Very Good(8.5 以上)は出ない
- 大きな失敗がなくてもなんとなくの演技では最高 7 点止まり
- 入水が決まっても高さが低い演技の点数は伸びない、逆に高さのある演技への評価は高い
 - ✓ 女子ではサラ・ベーコン、男子では玉井陸斗のジャンプ力がジャッジ内で話題に
- 台に近いだけではなく遠い演技においても点数が出ない
 - ✓ 今回特に目立ったのはイギリスのジャック・ロー選手
- 逆にあまり入水が決まらなくても高さ、キレ、スピードがあれば高得点が出る

【最後に】

昨年 11 月にマレーシアで Certification school を受講したときの講師の 1 人 Mohamed OSMAN 氏に久々にお会いした。初めての国際審判に緊張していたが、「失敗は誰にでもあるから楽しんで」とアドバイスされた。それでも 1 本 1 本緊張したが、今回一緒だったジャッジのみんなが、とてもフレンドリーに接してくれたので心強かった。TDC の方が初めて「ジャッジはチーム」だと言っていたが、プール以外でも食事に行ったり、ホスピタリティールームに集まったりと日に日に親睦が深まった。今回ジャッジとして参加し、選手の時には見えなかった景色をたくさん見ることができた。今回学んだことを、今後にも活かしていきたい。



2024年度 飛込委員会名簿

役職	担当	専門委員会	氏名
委員長・日水連理事		競技者資格審査 アソド・ビュウ・倫理 中体連・指導者養成	野村 孝路
副委員長 委員長補佐			金戸 幸 大塚 奈保美
統括			野村 孝路 安田 千万樹
	強化・普及	施設用具	金戸 恵太 馬淵 崇英 松本 行夫 瓶子 勇治郎 坂田 和也
		科学	毒島 泰士 大塚 奈保美 畑岡 寿 関口 大輝
普及担当部長 普及担当 普及担当 普及担当		学生・生涯スポーツ/環境	後藤 福寿
競技部長		競技力向上コーチ	毒島 めぐみ
	競技	競技	戸田 洋
		情報システム	中島 直樹
		JO実行	矢作 貴則 伊地知 健
		競技	松野 輝美 斎藤 愛香
		JO実行	黒田 美恵子
審判部長	審判	アスリート・国際・競技	金戸 幸 大久保 一司 中川 真依 浅田 雅子
総務部長	総務		中山 藍奈 名東 真樹
		JO実行	寺前 恵子
		広報	池本 友馬 藤内 依理子
	学生		北村 夢/西川 輝星

ブロック長・各県連絡員

ブロック	都道府県	氏名	ブロック	都道府県	氏名
北海道	北海道	祖根 裕巳	近畿	ブロック長	山崎 雅夫
東北	ブロック長	寺田 裕樹		滋賀	増田 圭亮
	青森	青森県水泳連盟		京都	高山 優子
	岩手	小笠原 大輔		大阪	山崎 雅夫
	宮城	笠井 学		兵庫	三浦 房子
	秋田	寺田 裕樹		奈良	中島 勝司
	山形	藤原 浩		和歌山	段木 雅博
	福島	小野寺 光喜	ブロック長	安田 千万樹	
関東	ブロック長	鈴木 義孝	中国	鳥取	安田 千万樹
	茨城	畑岡 寿		島根	吉田 理知
	栃木	松本 行夫		岡山	森 重樹
	群馬	高橋 史倫		広島	内藤 直樹
	埼玉	山岸 勲		山口	山口県水泳連盟
	千葉	関口 大輝	四国	ブロック長	植村 佳員
	東京	伊藤 正明		香川	植村 佳員
	神奈川	坂井 弘靖		徳島	大西 道也
	山梨	平嶋 純		愛媛	藤野 貴央
				高知	瓶子 勇治郎
北信越	ブロック長	川城 智明	九州	ブロック長	原口 進也
	新潟	川城 智明		福岡	竹川 広子
	長野	長谷川 英治		佐賀	原口 進也
	富山	坂田 芳寛		長崎	伊地知 健
	石川	横山 健		熊本	山崎 香織
	福井	新良貴 優		大分	茶木 康寛
東海	ブロック長	湯浅 千鶴子		宮崎	柴岡 三郎
	静岡	内藤 英樹		鹿児島	山下 万喜子
	愛知	湯浅 千鶴子		沖縄	運天 緑
	三重	池田 庸祐			
		岐阜	高木 貴光		

その他

国際委員	坂田 芳寛
高体連	藤原 浩
参与	伊藤 正明

*ただし、上記名簿は、2023年12月現在のもの

2024年度飛込委員会日程

	委員会日程 (19:00~)	常務理事会 (18:00~)	委員長会議 (18:00~)	理事会 (14:00~)	評議員会 (11:00~)	備考
2024年 4月	18日(木)	10日(水)	17日(水)			
5月	16日(木)	8日(水)	15日(水)			
6月	20日(木)	12日(水)	19日(水)	8日(土)	23日(日)	審査会(日程調整中)
7月	11日(木)	3日(水)	10日(水)			
8月	-	-	-			
9月	19日(木)	4日(水)	18日(水)			9/14(土)有功章表彰式・ 加盟団体長懇親会
10月	17日(木)	9日(水)	16日(水)	19日(土)		
11月	14日(木)	6日(水)	13日(水)			
12月	21日(土)	4日(水)	11日(水)			12/5(木)委員総会
2025年 1月	23日(木)	15日(水) (16:00~)	22日(水) (17:00~)			1/27(月)感謝の夕べ
2月	13日(木)	5日(水)	12日(水)			2/20(木)11:00~ 財務委員会
3月	13日(木)	5日(水)	12日(水)	8日(土)	16日(日)	3/6(木)18:00~ 公認推薦企業懇談会

飛込委員会内規

第1章 審議・所管事項

第1条 委員会は、本連盟の飛込競技に関する専門事項を審議・所管し、常務理事会に意見を具申する。

2. 前項に揚げる専門事項とは、次の各号をいう。

- (1) 飛込競技の国際競技力向上及び選手強化施策に関すること
- (2) 飛込競技の普及及び指導者養成に関すること
- (3) 飛込競技会運営及び競技役員、審判員の指導、養成に関すること
- (4) その他、飛込競技関係諸事業の目的達成に必要なこと

第2章 委員

第1条 委員会に、小委員会を設けることができる。

2. 小委員会については、委員会で別に定める。

第3章 本内規の変更

第1条 本内規は、常務理事会の決議により変更することができる。

第4章 細則

第1条 本委員会は、4部で構成される。

2. 前項にあげる4部とは、次の各部をいう。

- (1) 強化・普及部
- (2) 審判部
- (3) 競技部
- (4) 総務部

第2条 本委員会の各部では、専門事項の計画・立案を行う。

2. 前項に揚げる専門事項とは、次の各号をいう。

- (1) 強化部の事業
 - ・競技力向上のため、シニア強化とジュニア強化としての強化事業
 - ・強化予算計画及び、報告。
国際大会派遣計画・国際大会実施報告を行う。
強化事業とともに選手層底辺拡大を目的とした普及事業も実施する。
 - ・普及事業として、飛込技術検定会・飛込巡回計画及び報告を行う。
 - ・指導者養成事業に関する企画・運営に関すること

(2) 審判部の事業

- ・主要競技会の審判団の構成及び、実務報告に関すること
- ・国際審判員の選考及び、実務に関すること
- ・飛込競技公認審判員規定に関すること
- ・国際審判研修会実施計画に関すること
- ・審判員研修会実施計画に関すること
- ・審判員伝達研修に関すること
- ・飛込競技規則に関すること

(3) 競技部の事業

- ・主要競技会の日程に関すること
- ・主要競技会の要項に関すること
- ・主要競技会の参加基準に関すること
- ・主要競技会の役員構成に関すること
- ・主要競技会の記録整理及び、管理に関すること
- ・競技会運営に関する役員養成講習の企画、運営に関すること
- ・競技役員の手引き及びプール公認規則に関すること

(4) 総務部の事業

- ・委員会招集の連絡、議事進行及び、議事録作成、発送に関すること
- ・委員会名簿作成、ブロック・各都道府県連絡網作成
- ・細事の計画、実施に関すること
- ・広報活動

第3条 委員の選出について

次期委員の選出は、各部長から推薦を受け委員長・副委員長で審議し決定する。

付則1.

本内規は、平成30年（2018）9月26日に遡及し施行する。

本内規は、令和3年（2021）5月12日に遡及し施行する。

審議事項(施設用具委員会)

飛込プール水深規定改正案

* 第1・2 回アンケートの内容から下記を提案します。

3m 飛板下

現		→	新	
基線上の水深	:3.80m		基線上の水深 :4.50m	
基線前方への距離と水深:6.00	で 3.70m	→	基線前方への距離と水深:6.00	で 4.40m
基線両端への距離と水深:2.50	で 3.70m	→	基線両端への距離と水深:2.50	で 4.40m

5m 固定台下

現		→	新	
基線上の水深	:3.80m		基線上の水深 :4.50m	
基線前方への距離と水深:6.00	で 3.70m	→	基線前方への距離と水深:6.00	で 4.40m
基線両端への距離と水深:3.50	で 3.70m	→	基線両端への距離と水深:3.50	で 4.40m

1m 飛板下

現		→	新	
基線上の水深	:3.50m		基線上の水深 :3.80m	
基線前方への距離と水深:5.00	で 3.40m	→	基線前方への距離と水深:5.00	で 3.90m
基線両端への距離と水深:2.00	で 3.40m	→	基線両端への距離と水深:2.00	で 3.90m

7.5m 固定台下 (現状維持)

基線上の水深	:4.50m
基線前方への距離と水深:8.00	で 4.40m
基線両端への距離と水深:4.50	で 4.40m

* 追記の提案

水底面に角ができないような文言を入れてもらえるように専門家に依頼。

↓

施設用具委員会を通じての回答

「底面に於いて水深が変化する部分は、選手の安全に十分に配慮し、緩やかに変化する形状とすること。」

以上

飛込委員会全国会議（北海道）ブロック報告資料

1. 2023年度競技会実績

（北海道ブロック関係）

大会名	2023年度北海道体育大会 兼 第78回北海道選手権飛込競技大会
日程	6月24日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール
参加県	未実施
参加人数	

大会名	第46回(2023年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会
日程	7月15日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール
参加県	未実施
参加人数	

大会名	2023年度北海道中学校体育大会 兼 第44回北海道中学校水泳大会飛込競技
日程	7月23日(日)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール
参加県	未実施
参加人数	

大会名	第76回北海道高等学校選手権水泳競技大会兼第91回日本高等学校選手権水泳競技大会北海道予選会
日程	7月2日(日)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール
参加県	未実施
参加人数	

（全国大会関係）

大会名	令和5年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会第91回日本高等学校選手権水泳競技大会
日程	8月17日(木)～19日(土)
開催場所	日環アリーナ栃木屋内水泳場
参加人数	49名

2. 2023年度ブロック合宿実績

合宿名	
日程	未実施
開催場所	

3. 2024年度競技会予定

（北海道ブロック関係）

大会名	2024年度北海道体育大会 兼 第79回北海道選手権飛込競技大会
日程	6月22日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール

大会名	第47回(2024年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会
日程	7月13日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール

大会名	2024年度北海道中学校体育大会 兼 第45回北海道中学校水泳大会飛込競技
日程	7月27日(土)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール

大会名	第77回北海道高等学校選手権水泳競技大会兼第92回日本高等学校選手権水泳競技大会北海道予選会
日程	7月7日(日)
開催場所	北海道立野幌総合運動公園プール

（全国大会関係）

大会名	
日程	
開催場所	
担当者	

4. 2024年度ブロック合宿予定

合宿名	
日程	未定
開催場所	

5. 諸会議
(実施)

会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

(計画)

会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

6. 各県の普及活動

北 海 道	9月10日（日）野幌総合運動公園プールでの特別泳力検定の昼休みの時間を利用して、金戸快選手によるダイビングデモンストレーションを行った。 10月21日（土）野幌総合運動公園プールで体験教室 参加者8名
-------	---

7. 各県の現状と課題

北 海 道	現在 小学生2名が6月より毎週練習している。

8. 要望、その他

--

飛込委員会全国会議（東北）ブロック報告資料

1. 2023年度競技会実績

（東北ブロック関係）

大会名	第71回東北高等学校選手権水泳競技大会 第91回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会
日程	令和5年7月13日（木）～14日（金）
開催場所	福島県・郡山カルチャーパーク飛込プール
参加県	岩手県 宮城県 山形県 福島県
参加人数	男子2校 女子4校（全6校） 男子2名 女子6名（計8名）

大会名	第78回東北水泳大会飛込競技
日程	令和5年7月15日（土）
開催場所	福島県・郡山カルチャーパーク飛込プール
参加県	秋田県 岩手県 山形県 福島県
参加人数	男子4チーム 女子5チーム（全7チーム） 男子9名（OP1含） 女子20名（OP4含）（計29名）

大会名	第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 東北ブロック予選会
日程	令和5年7月15日（土）～16日（日）
開催場所	福島県・郡山カルチャーパーク飛込プール
参加県	秋田県 岩手県 宮城県 山形県 福島県
参加人数	男子5チーム 女子7チーム（全9チーム） 男子9名 女子20名（OP1含）（計29名）

大会名	第43回北日本選手権飛込競技大会（予定）
日程	令和6年3月30日（土）～31日（日）
開催場所	秋田県立総合プール
参加県	—
参加人数	—

（全国大会関係）

大会名	なし
日程	
開催場所	
参加人数	

2. 2023年度ブロック合宿実績

合宿名	第一次東北ブロック合同合宿（予定）
日程	令和5年12月25日（月）～27日（水）
開催場所	秋田県立総合プール

合宿名	第二次東北ブロック合同合宿（予定）
日程	令和6年3月27日（水）～29日（金）
開催場所	秋田県立総合プール

3. 2024年度競技会予定

（東北ブロック関係）

大会名	第72回東北高等学校選手権水泳競技大会 第92回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会
日程	令和6年7月19日（金）～20日（土）
開催場所	福島県 郡山カルチャーパーク飛込プール

大会名	第79回東北水泳大会飛込競技
日程	令和6年7月19日（金）
開催場所	福島県 郡山カルチャーパーク飛込プール

大会名	第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 東北ブロック予選会
日程	令和6年7月20日（土）～21日（日）
開催場所	福島県 郡山カルチャーパーク飛込プール

大会名	
日程	
開催場所	

（全国大会関係）

大会名	なし
日程	
開催場所	
担当者	

4. 2024年度 ブロック合宿予定

合宿名	東北ブロック飛込選手育成合宿（令和5年12月末の東北ブロック委員長会議にて議論）
日程	令和6年10月または11月
開催場所	未定
合宿名	第一次東北ブロック合同合宿（令和5年12月末の東北ブロック委員長会議にて議論）
日程	令和6年12月
開催場所	未定
合宿名	第二次東北ブロック合同合宿（令和5年12月末の東北ブロック委員長会議にて議論）
日程	令和7年2月または3月
開催場所	未定

5. 諸会議 (実施)

会議名	臨時委員長会議
日程	令和5年5月27日（土）
開催場所	福島県教育会館
対象	東北各県飛込委員長
会議名	第1回委員長会議
日程	令和5年7月15日（土）
開催場所	福島県 郡山カルチャーパーク飛込プール
対象	東北各県飛込委員長
会議名	臨時委員長会議
日程	令和5年10月13日（金）
開催場所	オンライン
対象	東北各県飛込委員長・東北高体連飛込委員長

(計画)

会議名	第2回委員長会議
日程	令和5年12月26日（火）
開催場所	秋田県立総合プール
対象	東北各県飛込委員長
会議名	第3回委員長会議
日程	令和6年2月
開催場所	盛岡市内
対象	東北各県飛込委員長

6. 各県の普及活動

岩手県	例年6月中旬から8月末まで毎週土曜夏季限定のスポーツ少年団を開催し、新規会員を募集（チラシを作成し近隣の小学校に配布）その中から競技志向の選手を盛岡スイミングスクールの飛込Jr育成コースや飛込選手コースに移籍させている。順調に会員は増えている。
宮城県	現在は県内唯一の施設が修繕中で、室内練習場しか使えてない。 宮城県スポーツ協会と連携しタレント発掘事業を開催し、通年で数名が飛込競技に参加してる。
秋田県	通年で飛込体験可能としており、県スポーツ協会HPに募集案内を掲載している。また、小・中学生対象のトライアル事業（県スポーツ協会主催のスポーツ能力測定&スポーツ体験会）に参加し、多くの子供たちに飛込を体験してもらっている。飛込体験が出来る機会は比較的多く設定出来ている。
山形県	夏に体験会を実施（20名程度参加）。その人たちを対象に秋の体験会（陸上練習）を実施し練習内容を理解したうえでクラブに入会してもらっている。
福島県	郡山DCと会津DCがそれぞれの地域で普及活動を続けている。今年度は、東北ブロックの各大会を実施した。飛込教室は、郡山で開催されジュニアの子ども達が親しんだ。会津でも、市民水泳大会が開催され、会津DCの新しい小学生選手も参加した。

7. 各県の現状と課題

岩手県	小学生から競技を始めてJOCや全中、国体に出場しても、そこで区切りをつけて高校進学を機に辞める選手が多い。高校くらいから始めた選手は卒業までに技術的に全国レベルにはなれずフェードアウト。大学まで競技を続けてくれるようにしたい。
宮城県	指導者2名、高校女子1名、小学男子2名、小学女子1名 タレント発掘中学男子1名、中学女子2名 指導者の育成、競技役員の養成が課題である。
秋田県	今年は夏過ぎからの体験希望が多く、小学生が7名増えて、小・中合わせて11名になった。プールの使用環境は良く、陸上トレーニングの環境も改善しつつあるが、より安全に練習を進められるよう、スポッティングの設置要望を出している。 柔軟性強化・体幹強化を目的に、10～3月の間、月6回のペースで新体操競技の指導者招聘を継続中。 指導者・審判・競技役員が、高齢化・固定化している。選手引退後も、スタッフとして飛込に関わってほしいような環境を作りたい。
山形県	現在、米沢ダイビングクラブのみの活動。3,000円～10,000円の月会費を徴収して活動中。会費収入も少なく指導謝金は捻出できない。特殊な競技だが懇切丁寧に手間と時間がかかる指導なだけで徴収する金額をもっともっと上げて、しっかりと指導できる指導者に還元すべきだと思うし、指導をしたら相応の対価をもらえるようにしないと次世代を担う指導者も生まれてこないと思う。
福島県	国民体育大会4、JOCジュニアオリンピックカップ夏季全国大会5、全国中学2、インターハイ3名が参加した。技の難易度が上がらず上位入賞は難しい。上位大会へ出場選手を育てながら、普及選手もしっかりと育て、青森国体では入賞できるよう支援したい。

8. 要望、その他

上記の現状と課題でも記載したが、全国のクラブの会費を指導謝金が払えるくらいまで一斉に上げてはどうか。みんなで声をかけて5年くらいの間に上げていけば、「みんなで適正な金額に上げようとなったので・・・」と、説明もしやすくなるのではないだろうか。

飛込委員会全国会議（関東ブロック）ブロック報告資料

1. 2023年度競技会実績

（関東ブロック関係）

大会名	関東選手権
日程	7月1日（土）・7月2日（日）
開催場所	茨城県 山新スイミングアリーナ
参加県	
参加人数	136名※延人数（男31名・女子44名）

大会名	関東高等学校水泳競技大会
日程	7月21日（金）・22日（土）
開催場所	東京都 東京アクアティクスセンター
参加県	4県 栃木県・茨城県・群馬県・埼玉県
参加人数	男女合計 12名（男子4名（1名棄権）・女子8名）

大会名	全国J〇関東ブロック予選会
日程	7月16日（日）・17日（月）
開催場所	栃木県 日環アリーナ栃木屋内水泳場
参加県	1都6県（東京都・千葉・埼玉・神奈川・茨城・群馬・栃木）
参加人数	延62名

（全国大会関係）

大会名	第45回（2022年度）全国JOCジュニアオリンピック春季競技大会 飛込競技
日程	令和5年3月24日（金）～26日（日）
開催場所	東京都 辰巳国際水泳場
参加人数	延45名

大会名	日本高等学校水泳競技大会
日程	8月17日（木）～19日（土）
開催場所	栃木県 日環アリーナ栃木屋内水泳場
参加人数	49名※延人数（男子24名・女子25名）

大会名	日本選手権
日程	9月1日（金）～3日（日）
開催場所	栃木県 日環アリーナ栃木屋内水泳場
参加人数	155名※延人数

大会名	第54回東京スイミングセンター優秀選手招待水泳競技大会飛込競技
日程	11月2日（木）～5日（日）
開催場所	東京都 東京アクアティクスセンター
参加人数	79名 エントリー数：184+チームダイビング（前日申込）

2. 2023年度ブロック合宿実績

合宿名	
日程	関東ブロック合宿は実施なし
開催場所	

3. 2024年度競技会予定

（関東ブロック関係）

大会名	関東選手権
日程	7月6日（土）～7日（日）
開催場所	埼玉県 青木町総合運動場

大会名	関東高等学校水泳競技大会
日程	7月20日（土）～21日（日）
開催場所	茨城県 山新スイミングアリーナ

大会名	全国J〇関東ブロック予選会
日程	7月26日（金）・27日（土）
開催場所	栃木県 日環アリーナ栃木

（全国大会関係）

大会名	第46回（2023年度）全国JOCジュニアオリンピック春季競技大会 飛込競技
日程	3月29日（金）・30日（土）

開催場所	栃木県 日環アリーナ栃木
担当者	栃木県 鈴木

4. 2024年度 ブロック合宿予定

合宿名	未定
日程	
開催場所	

5. 諸会議 (実施)

会議名	関東ブロック飛込会議
日程	2023年11月11日(土)
開催場所	日環アリーナ栃木屋内水泳場会議室
対象	東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・栃木・山梨

(計画)

会議名	関東ブロック飛込会議
日程	2024年11月初旬予定
開催場所	
対象	

6. 各県の普及活動

東京	TACにて飛込教室開始予定（業務委託運用セントラルスポーツ） 東京SC主催飛込体験会 2022年10月～2023年9月 1年間の参加実績 延べ111名 タレント発掘：東京SCにて2022年3月より体操教室を開始。（4歳～小学3年まで）
神奈川	相模原グリーンプールでは、年間通して子供・大人教室を年間通して実施している。横浜は半期にて、教室を開催している。
千葉	年間の教室により選手を発掘するように考えている。
埼玉	今年は波乱の年となった。指導者2名が辞めたことによるシーズンスケジュール見直しは大久保コーチとしては大変な作業となった。シーズン最後の国体では7位と何とか結果を残し締めくくることができた。 選手の入替わりが激しい中での、強化・普及に大変苦労している。
茨城	県の事業を利用し、小学生の発掘育成を実施。
群馬	①水泳場主催の飛び込み教室を7・8月の休日に全6回開催。参加者は社会人・中学生・小学生で全20名程度。 ②スポーツ協会主催のチャレンジスポーツ教室を補助金をもらい、全2回、ゲストに村上和基を招いて実施。県内の小学生のべ50人が参加。そこから7名が継続参加している。
山梨	指導者不在のため活動できていません。
栃木	NSP宇都宮で週一回体験教室を実施。 松本先生も月4・5回の小学生対象飛込教室を実施。

7. 各県の現状と課題

東 京	<p>①東京SC選手登録人数：25名・マスターズ10名（内、マスターズ協会登録人数5名） ②2022年度から東京SC招待飛込競技大会を立ち上げ。正式な日本水泳連盟公認大会に向け最低3年間の実績を積む ※関連して競技役員育成、増員、若返り</p>
神 奈 川	<p>年間として、さがみはらグリーンプールにて、練習強化にあたっている。 横浜国際プール、令和7年度に閉鎖。 ジュニア選手の発掘・育成に取り組んでいくこと。</p>
千 葉	<p>例年通り、教室と一般公開で使用可能な時間に練習をしている。 指導者不足・施設の老朽化</p>
埼 玉	<p>指導者不足と、選手の入替わが激しいため、大会強化が思うように進んでいない。大会従事スタッフも不足している。来シーズンに向けては、中学・高校の大会がすべてクリアできることを目標に、父兄・OB/OGへ大会参加を呼びかけたい。 プール施設に関しては、新プール建設のため北スポの予約ができない状況で、プールジブシーが始まります。</p>
茨 城	<p>水戸：4～8月は山新スイミングアリーナでの練習。9月以降はドライランド・水戸市民体育館での練習。基本、水曜日が休養日としている。 土浦：練習拠点は、夏季は笠松プール・筑波大学のプールを利用。シーズンオフ中は、取手二高のドライランド等で練習。 ●IK!IK! Diving Club創設(R5.2.12) 詳細については、QRコード内のPDFに記載 ●IK!IK! Diving Club会員向け講義開催 ・自己理解及びワークショップ 選手確保と指導者の育成と環境作り</p> 
群 馬	<p>選手は現在7名+7名（普及あがり）。仕事や育休の関係で平日2回、休日1回の練習頻度で行っている。野村先生が週5日で指導。その他の選手も可能な限り一緒に指導していただいている。 来年度シーズン終了後に新プールの工事が始まる。練習場所の確保として、山新スイミングアリーナのドライランド同等のドライランドができる予定である。 今後の課題として ・強化と普及のそれぞれに専念した指導者の確保。 ・来年度以降の練習場所の確保。 ・近県への練習をせざるを得ない際の経費の確保 があげられる。</p>
山 梨	<p>指導者不在のため活動できていません。 指導者養成・施設建設が必要である。</p>
栃 木	<p>NSP宇都宮…週1回の体験コース・週4回の育成コースと選手強化コースに分けて活動 栃木DC…小学生対象の飛込教室・中、高校生の選手コース・トップ選手（大学生含む）に分かれて活動 指導者が不足している</p>

8. 要望、その他

要望

(東京都より)

- ①日水連HP飛込ページ内の全国各加盟団体飛込競技関連情報バナーを設置

【内容】

- ・審判講習会実施加盟団体日時・申込フォーム
- ・飛込体験開催日時・申込フォーム
- ・ニチレイ飛込検定日時・申込フォーム
- ・全国各都道府県別飛込チーム一覧およびホームページリンク掲載

- ②強化普及部主催イベント

【内容】

- ・コーチングクリニックの定期開催(年1回)
- ・ナショナル合宿見学または合同練習日の立ち上げ

- ③アスリート委員会主催イベント

【内容】

- ・飛込日本代表選手による普及イベント

- ④広報委員会への要望

【内容】

・全国の飛込チームに順番にスポットライトをあて、インスタ向け画像・動画・記事をアップしてもらい取り組み

- ⑤日本マスターズ協会との連携

【内容】

- ・日本マスターズ選手権飛込競技開催に向け、立ち上げチームを発足してほしい。

その他

(関東選手権について)

来年度の関東選手権は、埼玉県青木町プールで開催予定です。屋外プールの開催になるため、天候不順の場合、大会が中止になる事も予想されます。日本選手権や成年国体の予選会ですが、予めご承知おきください。

飛込委員会全国会議（北信越）ブロック報告資料

1. 2023年度競技会実績

（ブロック関係）

大会名	令和5年度北信越高等学校水泳競技大会 兼 北信越ジュニアオリンピック飛込競技大会
日程	令和5年7月21日（金）～23日（日）
開催場所	石川県 金沢プール
参加県	新潟県、長野県、富山県、福井県、石川県
参加人数	約40人

大会名	富山室内オープン
日程	令和6年2月17日（土）～2月18日（日）
開催場所	富山県総合体育センター 飛込プール
参加県	石川県、新潟県、福島県、愛知県（前年度参加）
参加人数	30名

大会名	
日程	
開催場所	
参加県	
参加人数	

大会名	
日程	
開催場所	
参加県	
参加人数	

（全国大会関係）

大会名	第6回中田周三杯飛込競技大会（日水連後援）
日程	令和5年12月9日（土）～10日（日）
開催場所	石川県 金沢プール
参加人数	約60人

2. 2023年度ブロック合宿実績

合宿名	北信越合宿
日程	10月21日（土）～10月22日（日）
開催場所	富山県総合体育センター 飛込プール

合宿名	
日程	
開催場所	

3. 2024年度競技会予定

（ブロック関係）

大会名	令和6年度北信越高等学校水泳競技大会 兼 北信越ジュニアオリンピック飛込競技大会
日程	令和6年7月19日（金）～21日（日）
開催場所	新潟県 ダイエープロビスフェニックスプール

大会名	富山室内オープン
日程	令和7年2月15日（土）～2月16日（日）
開催場所	富山県総合体育センター 飛込プール

大会名	
日程	
開催場所	

大会名	
日程	
開催場所	

（全国大会関係）

大会名	2024年度全国中学校水泳競技大会
日程	令和6年8月17日（土）～19日（月）
開催場所	石川県 金沢プール
担当者	横山

大会名	第7回中田周三杯飛込競技大会（日水連後援）
日程	令和6年12月7日（土）～8日（日）
開催場所	石川県 金沢プール
担当者	横山

4. 2024年度 ブロック合宿予定

合 宿 名	
日 程	
開 催 場 所	
合 宿 名	
日 程	
開 催 場 所	

5. 諸会議
(実施)

会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	
会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

(計画)

会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	
会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

6. 各県の普及活動

石 川 県	<ul style="list-style-type: none"> ・8月～10月の4回、石川県水泳協会主催で小学生飛込体験教室を開催し、延べ50名が参加した。その後、数名が練習継続を希望している。 ・ニチレイ飛込検定を、10月に開催した。約10名受検。 ・12月の中田周三杯飛込競技大会は、コロナ渦もほぼ収束し、選手導線や観客入場など、ほぼ制限なしで行う予定であり、広く県民、市民に飛込競技の広報を行っていく。
富 山 県	<p>夏季に体験教室を実施。小学生を対象とした体験教室で8人、大人を対象とした体験教室で6名参加した。 高岡総合プール主催のフェスティバルイベントで30名の体験教室に参加した。</p>
新 潟 県	<ul style="list-style-type: none"> ①こどもスポーツチャレンジ事業（10月7日、14日の2回実施：参加者数約30名） ②体操・トランポリン教室（DPPプール主催：通年・毎週土曜日：参加者数約20名） ③飛込教室（DPP主催：毎週土曜日：参加者数約10名） ④長岡DC 育成コース（毎週土曜日：15名在籍） ⑤長岡DC エンジョイダイビングコース（毎週金曜日：7名在籍）
長 野 県	<p>月に1度、飛込体験教室を開催している。毎回10名程度参加。直近開催した体験会では、小学生が8名、ご高齢の方が2名参加していただいた。プールにチラシを貼って周知している。呼びかけ方も工夫が必要。</p>
福 井 県	<ul style="list-style-type: none"> ・週に2回の飛込教室を継続しており小学生4名中学生1名が参加している。 ・教室参加者の内3名が大会参加を希望し、「育成コース」と位置づけ練習量を増やし、男子1名女子2名がとびうお杯に出場した。

7. 各県の現状と課題

石川県	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の全国中学校水泳競技大会の開催を控え、地元で出場の可能性のある小学6年生～中学2年生の強化に注力している。また、他の小学生の選手数も増加させるため、体験教室の開催など競技の普及に努めている。 ・大学生以上の選手の確保及び指導者の環境の整備を図っていききたい。 ・パリオリンピック開催に伴い、フランスチームが金沢で事前合宿を行う予定である。地元選手との合同練習の機会を確保し、地元選手のモチベーションの向上を期待する。
富山県	<p>競技役員として入っていた方達を審判として協力いただけるよう講習会に参加してもらい審判員の増加を図った。指導者数が減少したので定期的に指導できる指導者の増員が必要である。冬季も使用できる室内プールの料金体制が変わり、使いずらくなったため実質練習拠点が減少している。(近隣県外プールを使用してカバー) 新規で小学生の男女が一人ずつ加入。</p>
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・普及活動を通して競技人口が増えてきたが、コーチ不足であるため育成が必要。 ・大会運営について競技役員の育成が必要になっているため、若年層のOBやOGに協力要請を行っている。
長野県	<p>【現状】 シーズン：週3回～4回 平日3時間、土日5時間 オフシーズン：週3回～4回 平日3時間 土日3時間 クラブ加入：小学生8名、中学生2名、社会人（マスターズ）4名</p> <p>【課題】 指導者の時間確保が大きな課題。施設や設備については、徐々に充実してきているが、マットやトランポリン配置場所については、選手にとってストレスがかかる場所に設置されている。</p>
福井県	<p>福井県からとびうお杯に参加したのは十数年振りであり、大きな進歩だと感じる。体験会などのイベントが出来ていないので、競技人口は増えていない。今後、全中やJ0などの大会を目指していくが、飛込プールの公認がないので、県予選やブロック大会については本県で実施できない状況である。</p> <p>公認の取得については県水連・施設関係者と協議を進めており、現在日水連へ文書による連絡をした段階である。</p>

8. 要望、その他

--

飛込委員会全国会議（東海）ブロック報告資料

1. 2023年度競技会実績

（東海ブロック関係）

大会名	東海JOC予選大会
日程	7月16日（日）
開催場所	古橋広之進記念浜松市総合水泳場ToBiO（静岡県）
参加県	静岡県・愛知県・三重県
参加人数	20名

大会名	東海高等学校選手権大会
日程	7月23日（日）
開催場所	古橋広之進記念浜松市総合水泳場ToBiO（静岡県）
参加県	静岡県・愛知県・三重県
参加人数	9名

大会名	
日程	
開催場所	
参加県	
参加人数	

大会名	
日程	
開催場所	
参加県	
参加人数	

（全国大会関係）

大会名	とびうお杯 全国少年少女水泳競技大会
日程	8月6日（日）
開催場所	古橋広之進記念浜松市総合水泳場ToBiO（静岡県）
参加人数	52名

2. 2023年度ブロック合宿実績

合宿名	ブロックでの実施はありません。
日程	
開催場所	

合宿名	
日程	
開催場所	

3. 2024年度競技会予定

（東海ブロック関係）

大会名	東海JOC予選大会
日程	7月15日（月）
開催場所	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿水泳場（三重県） 担当者：池田 庸祐

大会名	東海高等学校選手権大会
日程	7月21日（日）
開催場所	長良川メモリアルプール（岐阜県） 担当者：高木 貴光

大会名	
日程	
開催場所	

大会名	
日程	
開催場所	

（全国大会関係）

大会名	とびうお杯 全国少年少女水泳競技大会
日程	8月4日（日）
開催場所	日本ガイシアリーナ（愛知県）
担当者	鈴木 羊子

4. 2024年度 ブロック合宿予定

合 宿 名	東海ブロック合宿
日 程	検討中
開 催 場 所	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿水泳場（三重県）

合 宿 名	
日 程	
開 催 場 所	

5. 諸会議
(実施)

会 議 名	東海ブロック委員長会議
日 程	7月16日（日）
開 催 場 所	古橋広之進記念 浜松市総合水泳場ToBi0（静岡県）
対 象	各県飛込委員長

会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

(計画)

会 議 名	東海ブロック委員長会議
日 程	7月21日（日）
開 催 場 所	長良川メモリアルプール（岐阜県）
対 象	各県飛込委員長

会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

6. 各県の普及活動

静 岡 県	富士、静岡、浜松の3施設で飛込体験や飛込教室を実施。 富士では、1期4回から8回の飛込教室（定員15名）を年間3期実施。定員は常に満員。 静岡では、1期4回から8回の飛込エンジョイ教室（定員20名程度）を4期実施。この他、無料体験イベントなどを実施。 浜松では、1期4回の飛込教室を5期実施。この他、無料体験会を希望者に合わせ随時開催。
-------	---

愛 知 県	2023年4月～日本ガイシアリーナプールの改修工事のため、今年度の名古屋市スポーツ協会・愛知県スポーツ協会の事業である飛込教室は開催できなかった。改修工事は2024年7月まで行う予定。8月からは普及活動をしていきたい。
-------	---

三 重 県	○10/1に県スポーツ協会の「スポーツ体験会」（小学生対象）を実施。約30名参加。継続者4名。 ○例年は12月に鈴鹿市及び鈴鹿市教育委員会後援の「飛込体験会」（鈴鹿市内小学生対象）を実施している。現在調整中。 ○飛込検定を6/4に実施。今後2回実施予定。日程調整中。
-------	---

岐 阜 県	“飛込教室5回1クール（7人）を開催した。経験者にさらなる上達を望んで2クール目を実施したが、想定した人数に集まらず実施できなかった。他県さんの普及活動を参考に来年度また企画して普及活動していきたい。 水泳コーチ1・2の方を対象にした更新講座では水泳について視野を広げてもらう為に今年度は飛込で実施し、約40名近いコーチに体験していただいた。”
-------	---

7. 各県の現状と課題

静岡県	<p>施設としては、県内3つの飛込施設（富士、静岡、浜松）は、通年で利用が可能な施設である。しかし、来年5月から浜松のプールが改修により2シーズン利用ができない。3施設で分散して開催していた大会、合宿等が2施設に集約され土日祝日の利用が制限される。</p> <p>普及、強化については、コロナにより大会がなかったり、体験会や教室を開催できなかった2年間で大きく影響している。やめたり、引退する選手はいるが、新たに始める選手はなく選手が少ない。県内の選手は3施設で高校生が1名、中学生0名、小学生が15名程度である。</p> <p>永続的な課題としては、指導者の後継者がいない。OB,OGの大半が一般企業に就職しており、定期的、計画的に時間を割くことが難しい。また、少ない自分の時間や家族との時間を消費しても割に合うほどの謝金等がなく、概ねボランティアで行っている飛込の指導は現在の若者には理解されない。</p>
愛知県	<p>県内唯一の施設である日本ガイシプールが2023年4月～2024年7月まで改修工事で使用できない。今年度はインターハイ予選・全中予選を静岡県にお世話になり、一緒に競技会を開催してもらった。2024年度も静岡県にお世話になる予定。また、選手育成・強化については三重県・静岡県のプールにお世話になっている。普及活動はしばらくできない。常に課題である競技役員・審判員の増員、昇格・指導者育成には引き続き力を入れていく。</p>
三重県	<p>○三重交通Gスポーツの杜鈴鹿が1年中使用できる為、拠点として活動をしています。普及を中心に活動を行っており、飛込体験会など飛込競技の普及に努めています。</p> <p>○課題・指導者の育成、確保。</p> <p>○派遣審判員の確保。平日開催のためなかなか確保できない。</p>
岐阜県	<p>来年東海高校総体に向けて飛板3枚について購入していただくことが決まりました。3月下旬には新しい板が設置される予定です。</p> <p>教室となると参加者が少なくなってしまうので、体験会などを実施して競技自体に興味を持ってもらえるように活動していきたい。</p>

8. 要望、その他

- ・J0の派遣審判について、チーム負担金を出すことで派遣を免除していただける制度を作ってください。【東海ブロック全体】
- ・全国会議の資料共有への対応ありがとうございます。（三重県）

飛込委員会全国会議（近畿）ブロック報告資料

1. 2023年度競技会実績

(近畿ブロック関係)

大会名	関西選手権
日程	2023年6月23日（金）・24日（土）・25日（日）
開催場所	大阪市・Asue 大阪プール
参加県	シニア42団体 ・ ジュニア19団体
参加人数	シニア77名（男子36名女子41名）・ジュニア43名（男子14名女子29名）

大会名	関西ジュニア選手権兼JOC近畿ブロック大会
日程	2023年7月27日（木）
開催場所	大阪市・Asue 大阪プール
参加県	大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・和歌山県
参加人数	15名

大会名	近畿高等学校選手権
日程	2023年7月23日（日）
開催場所	大阪市・Asue 大阪プール
参加人数	2校2名（男子1名女子1名）

大会名	近畿中学校選手権
日程	2023年8月6日（日）
開催場所	大阪市・Asue 大阪プール
参加人数	5団体5名（男子3名女子2名）

(全国大会関係)

大会名	第46回（2023年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
日程	2023年8月21日（月）22日（火）23日（水）24日（木）25日（金）※21日公式練習日
開催場所	大阪市・Asue 大阪プール

大会名	第99回日本学生選手権水泳競技大会（飛込競技）
日程	2022年9月7日（木）8日（金）9日（土）10日（日）※8・9日公式練習日
開催場所	大阪市・Asue 大阪プール

2. 2023年度ブロック合宿実績

実施なし

3. 2024年度競技会予定

(近畿ブロック関係)

大会名	関西選手権
日程	2024年6月28日（金）29日（土）30日（日）
開催場所	京都アクアリーナ

大会名	近畿高等学校選手権
日程	2024年7月21日（日）
開催場所	京都アクアリーナ

大会名	関西ジュニア選手権兼JOC近畿ブロック大会
日程	2024年7月28日（日）
開催場所	京都アクアリーナ

大会名	近畿中学校選手権
日程	2024年8月10日（土）
開催場所	京都アクアリーナ

(全国大会関係)

大会名	第47回（2024年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
日程	2024年8月21日（水）22日（木）23日（金）24日（土）25日（日）※21日公式練習日
開催場所	仮称：草津市立プール
担当者	（一財）大阪水泳協会 徳本奈保美

大会名	第100回日本選手権水泳競技大会 飛込競技
日程	2024年8月28日（水）29日（木）30日（金）31日（土）9月1日（日）※28・29日公式練習日
開催場所	仮称：草津市立プール
担当者	（一財）大阪水泳協会 徳本奈保美

4. 2023年度 ブロック合宿予定
実施なし

5. 諸会議
実施なし

6. 各県の普及活動

大阪府	Asue 大阪プールにおいて5月～9月まで、飛込教室を実施。10月1日飛込検定を実施。
兵庫県	特に無し
京都府	全8回(単発4回、短期4回)今年度は1日最大7名で、例年よりも少数でした。
奈良県	飛込教室やニチレイ検定を行っておらず、現状の選手の育成を行っている。
和歌山県	体験教室の実施(参加者6名)
滋賀県	県内に施設がなく本年度も積極的な普及活動は行っていない。

7. 各県の現状と課題

大阪府	大阪では夏季のプール使用については管理者の理解も良く、使用させてもらっている。しかしながら、通年での使用が出来ないため他府県での練習を余儀なくされている。遠征による時間や費用などコーチ、選手に不便をかけている。そのよう中、他府県の施設管理者の皆様や連盟等関係の皆様には深く感謝しています。
兵庫県	2027年をもって兵庫県から高飛込の設備があるプールが取り壊される。
京都府	未登録者 小学生3名、選手 小学6年生女子1名、 中学3年生1名、大学生1名であり、選手不足とコーチ不足が課題です。
奈良県	天理プールを拠点としていたが、2024年度以降使用ができなくなる。活動拠点、指導者、選手の育成をどうしていくかが今後の課題である。
和歌山県	今年度も体験教室を実施したが、日程調整及び広報の準備に手間取ったため、事前準備が整わず思ったような体験教室とはならなかった。飛込競技に関わる人材がないためである。 数年以内に次期世代を担う指導者及び指導体制を整えなければ、本県における競技の継続は困難と考えているため、若い指導者の確保に努めたい。
滋賀県	近県の関係者の方々のご協力のもと、練習場所を確保できたことがありがたかった。 彦根のプールが閉鎖されてからは、滋賀県スポーツ協会の育成事業として小学生から中学生を対象に体験教室を実施してきた。しかし、本拠地として活動できる場所やプールがないことから定着せず、本格的に飛込競技を続ける選手がおらず、現在は中学男子2名のみ在籍している。 練習計画を立てても選手の参加ができないため実施できない日が多くあった。成年の選手二名は特別に強化をしていただいている現状から、結果を残すことができたことは良かった。

8. 要望、その他

<p>(京都府) 選手数も未登録者も少ないため、活性化のためにも他府県との合同練習を望みます。その練習を見て、やってみたいと思う子ども達を取り込みたい。</p> <p>(滋賀県) 2024年滋賀県に新しく飛込プールが完成するので関係者は安堵している。 待望のものではあるが、水深不足の不備により全国の皆様にご心配とご迷惑をお掛けし申し訳なく、深くお詫び申し上げます。</p> <p>これに関しては、日水連の野村飛込委員長をはじめ多くの方々のご尽力により、改善策を承認いただき無事に建設の目的がたちご協力に感謝いたします。</p> <p>今後は、年間を通じて利用できるプールとして、多くの選手・コーチの方々に使用して頂けるよう努力してまいります。</p>	
--	--

飛込委員会全国会議（中国）ブロック報告資料

1. 2023年度競技会実績

（中国ブロック関係）

大会名	第74回 中国五県対抗水泳競技大会
日程	6月17日（土）・18日（日）
開催場所	島根県・島根県立水泳プール
参加県	島根県・広島県・岡山県・鳥取県
参加人数	男子16名・女子17名、合計33名

大会名	JOC全国ジュニアオリンピック中国ブロック予選
日程	7月23日（土）・24日（日）
開催場所	岡山県・児島マリンプール
参加県	島根県・広島県・岡山県・鳥取県
参加人数	男子10名・女子11名、合計21名

大会名	第71回中国高等学校選手権水泳競技大会・JOC全国ジュニアオリンピック中国ブロック予選
日程	7月23日（土）・24日（日）
開催場所	岡山県・児島マリンプール
参加県	島根県・広島県・岡山県・鳥取県
参加人数	男子2名、女子3名、合計5名

（全国大会関係）

大会名	実施なし
日程	
開催場所	
参加人数	

2. 2023年度ブロック合宿実績

合宿名	実施なし
日程	
開催場所	

3. 2024年度競技会予定

（中国ブロック関係）

大会名	第75回 中国五県対抗水泳競技大会
日程	6月22日（土）・23日（日）
開催場所	鳥取県・鳥取県県営東山水泳場

大会名	第72回中国高等学校選手権水泳競技大会・JOC全国ジュニアオリンピック中国ブロック予選
日程	7月20日（土）・21日（日）
開催場所	島根県・島根県立水泳プール

（全国大会関係）

大会名	実施予定なし
日程	
開催場所	
担当者	

4. 2024年度 ブロック合宿予定

合宿名	中国五県ブロック合宿
日程	令和6年5月3日（金）～6日（月）
開催場所	広島県・福山ローズアリーナ

5. 諸会議

（実施）

会議名	中国五県込委員長会議
日程	未定
開催場所	オンライン会議（ZOOM）
対象	中国五県（広島県・岡山県・島根県・鳥取県）

6. 各県の普及活動

島根県	夏の体験会では50人の参加があった。地元大学で競技を続ける学生にも指導スタッフとして協力してもらっており、助かっている。体験会からクラブへ加入する人数が少ない。
広島県	7月29・30日飛込講習会=寺内選手を招聘し、初心者小学生から一般の方たちの飛込教室 参加者67人 7月30日ふくやまダイビングフェスティバル=初心者対象の演技会 参加者38人 夏休み飛込教室=夏休み中に10回の教室 午前の部16人 午後の部10人
岡山県	活動できていません。
鳥取県	今年は、普及活動にも取り組み体験会と短期教室が行うことが出来た。体験会では、7月の鳥取県選手権の観覧を一般開放にして、飛込競技に興味関心を持ってもらえるように努めた。大会後は、飛込体験会を開き総勢40名の参加者があり盛大に盛り上がった。短期教室は、近隣の小学校に教室案内を配って参加者を募り、7月～8月にかけて1年生2年生を対象とした全7回の教室を開催した。10年後の鳥取国スポに向けた選手発掘に取り組み、この教室から3名の育成選手が誕生した。来年は、年齢幅を広げ1年生から5年生を対象とした教室開催を考えている。
山口県	活動状況はなし

7. 各県の現状と課題

島根県	競技力を高めることを目指しながら、飛込競技に携わる人材をより多く残すことも目指しながら取り組んでいる。学年が進むにつれて先細っていく現状をどうすれば変えていけるのか、模索中です。
広島県	指導者不足 広島県だけではなく、近県に屋内プールがなく冬季の練習場所の確保
岡山県	現状としては、シーズン中は児島マリプールで練習出来ますが、シーズンオフの間は練習場所がありません。よって毎週、週末のみ県外に遠征して練習をしています。課題としては、シーズンオフの間の平日の練習場所の確保と、指導者不足もあり普及活動も出来ていないので、指導者の育成です。
鳥取県	2024年は、選手4名（中学生女子2名、小学生女子2名）・育成3名で活動予定。少数精鋭で強化を行い成果を出してきたが、区切りの歳で競技から離れていく選手が続いている。指導者を育成し、選手を増やすこと課題である。10月～4月末までは、月に2回を目標に県外で合宿を行い競技力向上に努めている。依然、地元の冬季練習環境に乏しく、強化・普及面の向上が難しい状況にある。
山口県	活動状況なし

8. 要望、その他

2点ほどお願いします。

1点目は、国体の参加人数枠の減少についての各県への情報提供がなされていないということ。水球もブロック枠が来年から減になるそうですが、同様に情報提供が遅れているそうです。国体に関する規則などの変更については、日スポ協と連携して連盟からも早めに情報提供していただきたいです。また、少年に比べて成年選手の方が標準得点に対する達成率が低くなる傾向があり、国体に出場しにくいということがありました。参加枠が減少することに伴って、それはさらに強まるのではないかと懸念しています。成年選手の標準得点を下げるとか、成年選手の対象大会を増やすとか、トップアスリート枠を減らすとか、何らかの方策によって公平性が保てるような取り組みをご検討いただきたいです。

2点目は、審判資格の新規取得条件にシンクロ競技の模擬審判が含まれるようになりましたが、地方大会でシンクロ競技が実施されることは少なく、C級審判は全国大会でジャッジをすることは基本的にはないため、C級審判員がシンクロ競技のジャッジをすることはほぼないと思います（あるとすればジュニアオリンピック大会のシンクロ競技）。地方の大会で審判をお手伝いしてもらうために資格を取得してもらうような人にとっては、資格取得のためのシンクロの審判実績は不要だと思います。シンクロ競技の模擬審判の義務づけは、B級への昇格の際で十分だと思います。審判員の数を増やしていくことは地方の県にとって必要なことであり、審判資格取得の入口段階でハードルを上げる必要はないかと思っておりますので、ご検討いただきたいです。

飛込委員会全国会議（四国）ブロック報告資料

1. 2023年度競技会実績

（四国ブロック関係）

大会名	JOCジュニアオリンピックカップ四国予選会
日程	2023.7.15
開催場所	香川県立総合水泳プール
参加県	高知県・徳島県・香川県
参加人数	21名（延べ人数）

大会名	四国高校総合体育大会水泳競技大会
日程	2023.7.16
開催場所	高知県立春野総合運動公園水泳場
参加県	高知県
参加人数	4名

（全国大会関係）

大会名	全国中学校水泳競技大会
日程	2023.8.17～8.19
開催場所	香川県立総合水泳プール
参加人数	80名（延べ人数）

2. 2023年度ブロック合宿実績

合宿名	なし
日程	
開催場所	

3. 2024年度競技会予定

（四国ブロック関係）

大会名	JOCジュニアオリンピックカップ四国予選会
日程	2024.7.13
開催場所	高知県立春野総合運動公園水泳場

大会名	四国高校総合体育大会水泳競技大会
日程	2024.7.14
開催場所	高知県立春野総合運動公園水泳場

（全国大会関係）

大会名	予定なし
日程	
開催場所	
担当者	

4. 2024年度 ブロック合宿予定

合宿名	予定なし
日程	
開催場所	

5. 諸会議

（実施）

会議名	四国ブロック会議
日程	1月下旬
開催場所	オンライン
対象	各県飛込委員長

（計画）

会議名	四国ブロック会議
日程	1月下旬
開催場所	オンライン
対象	各県飛込委員長

6. 各県の普及活動

高知	飛込教室4～8名程度 体験教室 年2回実施
徳島	なし
香川	なし

7. 各県の現状と課題

高知	小学生4名、中学生2名、高校生5名、大学生1名 冬場のプール練習に苦慮する
徳島	森岡さくら（四国大学3年） 坂東心花（入田小学校5年）
香川	中学女子1名、小学女子5名で活動中。 指導者不足が永遠の課題である。 また、男子選手がいない為、今後は男子選手の普及にも注力したい。

8. 要望、その他

香川全中学では、台風と猛暑の中、皆様にお力添えいただいたおかげで無事に終わることが出来ました。ありがとうございました。

飛込委員会全国会議（九州）ブロック報告資料

1. 2023年度競技会実績

（ブロック関係）

大会名	第25回 全九州高等学校選手権（末弘杯）飛込競技大会
日程	令和5年6月10日（土）
開催場所	佐賀県・SAGAアクア
参加県	福岡県・佐賀県・大分県・鹿児島県・沖縄県
参加人数	男子6名・女子4名

大会名	令和5年度 第52回全九州高等学校総合体育大会
日程	令和5年7月8日（土）～9日（日）
開催場所	佐賀県・SAGAアクア
参加県	福岡県・佐賀県・大分県・鹿児島県・沖縄県
参加人数	男子6名・女子4名

大会名	全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会九州ブロック予選
日程	令和5年7月8日（土）～9日（日）
開催場所	佐賀県・SAGAアクア
参加県	福岡県・佐賀県・大分県・鹿児島県・沖縄県
参加人数	男子13名・女子8名

大会名	九州ダイビングカップ
日程	令和5年度10月1日（日）
開催場所	佐賀県・SAGAアクア
参加県	福岡県・佐賀県・大分県・鹿児島県
参加人数	男子20名・女子16名

（全国大会関係）

大会名	特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体
日程	9/17～9/20
開催場所	鴨池公園水泳プール
参加人数	77名

2. 2023年度ブロック合宿実績

合宿名	夏季強化九州合宿
日程	8/2～8/6
開催場所	佐賀アクア

合宿名	
日程	
開催場所	

3. 2024年度競技会予定

（ブロック関係）

大会名	第26回 全九州高等学校選手権（末弘杯）飛込競技大会
日程	令和6年6月8日（土）
開催場所	福岡県・福岡県立総合プール

大会名	令和6年度 全九州高等学校総合体育大会
日程	令和6年7月13日（土）～14日（日）
開催場所	沖縄県・奥武山運動公園水泳プール

大会名	第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会九州ブロック予選会
日程	令和6年7月13日（土）～14日（日）
開催場所	沖縄県・奥武山運動公園水泳プール

（全国大会関係）

大会名	全国高等学校総合体育大会
日程	令和6年8月17日（土）～20日（火）
開催場所	大分県・別府市宮青山プール
担当者	茶木康寛

大会名	国民スポーツ大会
日程	令和6年9月14日（土）～16日（月）
開催場所	佐賀県・SAGAアクア
担当者	崎戸史也

4. 2024年度 ブロック合宿予定

合 宿 名	夏季強化九州合宿
日 程	夏休み期間
開 催 場 所	未定
合 宿 名	
日 程	
開 催 場 所	

5. 諸会議

(実施)

会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	
会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

(計画)

会 議 名	九州ブロック飛込委員会
日 程	令和6年2月3日(土)
開 催 場 所	オンライン
対 象	九州各県飛込委員長及び各部長
会 議 名	
日 程	
開 催 場 所	
対 象	

6. 各県の普及活動

福 岡 県	毎年、施設主催の飛込教室を行っているが、本年度は、5月～9月末まで施設の利用ができなかったため、未開催。2024年4月より、再開予定。
鹿 児 島 県	5月から8月まで毎月1回、計4回飛込体験教室を行い、計50名の参加者が集まりました。対象は、小学生から大人まで、親子での参加が3組ありました。県水泳連盟のHPやチームInstagram、新聞で体験教室の告知を行いました。また、Instagramで随時新規獲得へ向けて情報発信をしています。
佐 賀 県	佐賀県スポーツ協会主催による飛込教室を3回開催した。参加者の延べ人数は119名。この教室から3名がクラブへ入会した。
沖 縄 県	体験希望者がいれば、シーズン中の毎週土曜日10:00～12:00の施設の子ども使用料無料の時に行っている。しかし、台風や指導者が大会遠征の指導者不在で体験希望者とのタイミングが合わないことも多く、ほとんど実施できていない。
大 分	今年度は活動拠点である別府市営青山プールで告知(募集案内)を行ったが、連絡は無かった。知人からの紹介により、飛込教室を実施。延べ6名が参加し、うち1名が選手コースとして加入した。

7. 各県の現状と課題

福岡県	<p>現在、高校生2名、中学生1名で活動している。選手の人数がかなり減ってきているので、小学生を中心に選手を獲得できるようにしたい。練習は、4月下旬～10月末までプール練習、他期間はスケートリンクが設置されプール練習はできない為、プールサイドにて陸上練習を行っている。</p> <p>競技役員は、世界水泳でたくさんのOBが新規登録をしていただいたので、今後も資格を継続し競技に関わっていただけるようにしていきたい。</p>
鹿児島県	<p>指導者4名、高校生2名、中学生4名、小学生3名の計9名で活動しています。今年度行われた、かごしま国体を無事に終了し、2年後の鹿児島島全中へ向けてまた、準備を始めています。</p>
佐賀県	<p>指導者3名・選手8名（高校生2名、中学生1名、小学生4名、成人1名）で活動している。</p> <p>4月末から10月末まで加温設備とナイター設備を利用しながら練習し、11月から4月までは50m室内プールに設置している1m飛板とドライランドで練習している。</p> <p>活動はコース制にしており、指導者3名が担当しているコースの選手を指導する形をとっている。</p> <p>来年度の国民スポーツ大会を控え、競技役員も充実してきている。</p>
沖縄県	<p>今年度は、夏休み中の台風襲来でほとんど地元での練習が行えず県外に出ることが多かったので、費用面でかなり苦労した。また、台風による被害で10m固定台のマットが全部剥がれてしまう等、施設面での課題も多い。</p>
大分県	<p>選手5名（高校生2名、中学生1名、小学生2名）</p> <p>週6日で活動し、夏季は別府市営青山プール、冬季はプールに隣接の別府翔青高校を中心に練習を行っている。</p> <p>令和6年インターハイに向け、現在準備を行っている。インターハイに向けて、県内競技役員の拡充ができた。飛込競技単独開催であり、スペースは充分確保しているが、荒天時や熱中症への対策・対応については現在も検討中である。</p>
熊本県	<p>宮崎県開催の国スポの会場が熊本になっているので、全国規模の大会が開催できるように交渉中です。選手育成については、指導者がいないため行えていません。</p>

8. 要望、その他

--